

教 育 委 員 会

点検・評価報告書

《平成 29 年度対象》

平成 30 年 11 月

横須賀市教育委員会

目 次

◆ はじめに	1
1 点検・評価の目的	1
2 点検・評価の方法	1
3 留意事項	2
参考【市立学校数】	2
◆ 教育振興基本計画の概要	4
1 第2期実施計画の策定にあたって	6
2 体系図	7
3 子どもの教育に関する考え方	8
4 重点課題（平成26年度～平成29年度）	10
5 第2期実施計画の事業一覧	12
◆ 重点課題に対応する主な事業	20
○ 点検・評価報告書の見方（重点課題に対応する主な事業）	22
1 重点課題に対応する主な事業	24
◆ 目標指標	68
○ 点検・評価報告書の見方（目標指標）	70
1 目標指標（学校教育編）	72
2 目標指標（社会教育編）	79
3 目標指標（スポーツ編）	83
◆ 参考資料	88
○ 目標・施策に基づく関連事業	90
1 目標・施策に基づく関連事業（学校教育編）	90
2 目標・施策に基づく関連事業（社会教育編）	116
3 目標・施策に基づく関連事業（スポーツ編）	140
○ 教育委員会の概要	152
1 教育委員会委員	152
2 教育委員会の動き	153
3 教育委員会会議の開催状況	154
4 教育委員会事務局等の組織図と事務分掌	157
○ 用語解説	160

◆はじめに

1 点検・評価の目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条において、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、公表することとされています。

横須賀市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たしていくことを目的に、「横須賀市教育振興基本計画 第2期実施計画（平成26年度（2014年度）～平成29年度（2017年度））」で示した施策体系に基づいて、「教育委員会点検・評価報告書（平成29年度対象）」を作成いたしました。

報告書において、前年度の施策・事業の実績から効果や課題を検証し、課題や学識経験者等の意見に対する今後の改善策を示し、現在実施している第3期実施計画の事業に反映させています。

この報告書をご覧いただき、横須賀市教育委員会の取組にご意見をいただくことで、今後の教育行政に活かしてまいります。今後も、計画に掲げた目標の達成に向けて着実に施策・事業を展開してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2 点検・評価の方法

「横須賀市教育振興基本計画 第2期実施計画（平成26年度（2014年度）～平成29年度（2017年度））」における重点課題に対応する主な事業を中心に、「学校教育編」、「社会教育編」、「スポーツ編」と3つに区分された各編の関連事業、目標指標の計画に対する実績を基に、教育委員会で点検・評価を行っています。評価に当たっては、客観性を確保するために、外部の学識経験を有する方から施策や事業についてご意見をいただいております。

【ご意見をいただいた学識経験者の方】 ※五十音順

小林 宏己 先生（早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授）

蛭田 道春 先生（大正大学 名誉教授）

山本 巧 先生（防衛大学校 総合教育学群体育学教育室 教授）

3 留意事項

- * この点検・評価は、教育委員会が管理・執行している事務が対象になっています。
- * この点検・評価に対するご意見等がございましたら、巻末に添付しております「横須賀市教育委員会の点検・評価についてのご意見」により、お寄せください。

「横須賀市教育委員会の点検・評価についてのご意見」は、以下のホームページからも入手できます。

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/tenken.html>

参考【市立学校数】

学校種別	27年度	28年度	29年度	備考
幼稚園	2	2	2	
小学校	46	46	46	
中学校	23	23	23	
高校	1	1	1	全日制・定時制
特別支援学校	2	2	2	ろう学校、養護学校

◆ 教育振興基本計画の概要

- 1 第2期実施計画の策定にあたって
- 2 体系図
- 3 子どもの教育に関する考え方
- 4 重点課題（平成26年度～平成29年度）
- 5 第2期実施計画の事業一覧

1 第2期実施計画策定にあたって

(1) 実施計画の概要

横須賀市教育委員会は、横須賀市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、平成23年3月に『横須賀市教育振興基本計画』（以下、「基本計画」という。）を策定しました。

実施計画は、この基本計画の実現に向けた3年間または4年間の具体的な施策や事業を示す計画です。

(2) 実施計画の期間

基本計画の11年間で3年・4年・4年に区分し、事業の実施計画期間としています。第2期実施計画の計画期間は、平成26年度から29年度までの4年間です。



*本市全体の施策体系を示した計画である「横須賀市基本計画（2011～2021）」および本市の主な実施事業を示す「横須賀市実施計画」と計画期間を合わせています。

(3) 実施計画の対象範囲

実施計画は、原則として、対象範囲を教育委員会の所管する施策や事業に限定しています。

計画の対象範囲に含まれない施策・事業で、教育委員会が関係するものについては、「横須賀市実施計画」および他の分野別計画などに基づき、関係部局と連携し、推進していきます。

(4) 実施計画の構成

実施計画は、基本計画で3つに区分した学校教育編、社会教育編、スポーツ編ごとに目標・施策・事業を体系別に掲載しています。

また、基本計画に掲げた「横須賀の子ども像」と「目指す子どもの教育の姿」の実現のために、解決すべき重点課題に対応する主な事業を示しています。

(5) 実施計画の進行管理

実施計画に位置付けた目標の達成状況や施策・事業の実施状況、重点課題への対応状況などについて、各編に掲げた目標指標や各事業の行動計画を基に、「教育委員会の点検・評価」の中で進行管理を行います。

2 体系図

学校教育編では「『生きる力』の育成」を、社会教育編では「いつでも、どこでも、だれでも学べる社会の実現」を、スポーツ編では「豊かなスポーツライフの実現」を目指し、各編ごとに定めた目標と、その実現に向けた施策の体系を示しています。

横須賀市教育振興基本計画

学校教育編
「『生きる力』の育成」

目標		施策
1	子どもの学びを豊かにします	(1) 教育活動の充実 (2) 支援教育の充実
		(3) 国際教育の推進と英語教育の充実
		(4) 情報教育の推進 (5) 校種間連携の推進
2	学校の組織力や教職員の力を高めます	(6) 学校運営改善の充実 (7) 教職員の研究・研修の充実
		(8) 学校における校内研究・研修への支援の充実
		(9) 教員が子どもと向き合う環境づくりの推進
3	学校・家庭・地域の連携を深めます	(10) 開かれた学校づくりの充実 (11) 家庭との連携による生活・学習習慣の確立
		(12) 地域教育力の活用の充実 (13) 放課後等児童対策の推進
4	教育環境を整備し、充実させます	(14) 学校の適正規模・適正配置の推進 (15) 就学支援などの充実
		(16) 学校の安全・安心の推進 (17) 学校施設・設備の充実 (18) 学校緑化の推進

社会教育編
「いつでも、どこでも、だれでも学べる社会の実現」

目標		施策
1	市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図ります	(1) 多様な学習の機会の提供 (2) 「人権教育・啓発」の推進
		(3) 学習の場の提供 (4) 学習情報・学習相談の充実
2	学びの成果が生かせる社会を目指します	(5) 学びの成果を地域に生かす活動の支援
		(6) 学びの成果を評価する仕組みづくりの検討
3	家庭や地域における教育力の向上を図ります	(7) 「学社連携・融合」事業の推進
		(8) 学校・家庭・地域の連携強化による家庭教育力の向上
4	文化遺産の保存と活用を推進します	(9) 横須賀らしい文化遺産の保存、活用・継承
		(10) 近代化遺産の調査と保護・活用の推進 (11) 伝統文化の保存と継承の推進
5	図書館・博物館・美術館の活動を充実させます	(12) 図書館活動の充実 (13) 博物館活動の充実
		(14) 美術館活動の充実

スポーツ編
「豊かなスポーツライフの実現」

目標		施策
1	子どもの生活習慣を改善し、体力の向上を図ります	(1) 生活習慣の改善および健康・体力づくりの推進 (2) 体育・健康教育の充実
		(3) 運動部活動の活性化
2	だれもが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる機会を充実させます	(4) 市民の健康・体力づくりの推進 (5) 市民が主体となる活動の支援
		(6) スポーツ施設の整備と円滑な管理運営の推進 (7) スポーツ情報提供の充実
3	競技者の活動を支援するとともにスポーツ愛好者の裾野を拡大します	(8) 国際大会や全国大会で活躍する競技者の育成と支援
		(9) ホームタウンチームなどとの連携強化
		(10) 各種スポーツ団体への協力と支援 (11) スポーツ指導者の育成と確保

3 子どもの教育に関する考え方

平成23年3月に策定した基本計画では、子どもは未来を担うとても大切な存在であることや、子どもの現状や社会的背景に鑑みて、子どもの教育を重点的に捉えることとしています。第2期実施計画でも、子どもの教育に重点を置いた施策・事業を推進していきます。

子どもは、家族や教師、地域の人々など、多くの人と出会い、支えられ、さまざまな影響を受けることにより成長し、社会を担う人となっていきます。それゆえ社会全体で子どもの成長・発達に関わっていくことが不可欠です。

そのために、基本計画では、11年間を通じての「横須賀の子ども像」と「目指す子どもの教育の姿」を示し、学校教育はもとより、社会教育、スポーツにおいても、学校・家庭・地域が共通の意識を持ち、相互に連携を図って、子どもの教育に取り組むということに重きを置いて、各編の施策・事業を推進していきます。

【横須賀の子ども像】 『人間性豊かな子ども』

自ら進んで学び、問題解決する力を身に付けている

生命や人権を尊重し、他者との豊かな関わりを持っている

心と体の健康を意識し、健やかな体を持っている

自らの可能性を信じ、夢や目標に向かって努力している

社会の一員としてルールを守り、主体的に社会に貢献している

郷土を愛し、豊かな国際性を身に付けている

これまで、横須賀市では目指す子ども像を『人間性豊かな子ども』とし、子どもの豊かな人格形成に向けて取り組んできました。

これまでの経緯や子どもの現状を考え合わせ、「横須賀の子ども像」として、引き続き『人間性豊かな子ども』を位置付けることとしました。また、教育基本法を踏まえ、学習指導要領における「生きる力」や横須賀の子ども像の現状と課題を勘案し、特に大切にしたい6つの要素を掲げます。

【目指す子どもの教育の姿】

『学校・家庭・地域が、それぞれの役割を果たすとともに、
信頼し、協力しながら、横須賀の子どもを育てている』

学 校

家庭や地域に積極的に関わりを求め、教育活動への協力体制を築くとともに、さまざまな教育活動を通して、子どもの「生きる力」を育成している。

家 庭

教育の原点であり、学校や地域に積極的に関わりとともに、子どもが、基本的な生活習慣を身に付けられるよう、また、自立心や思いやりの心などを持てるよう、子どもを育てている。

地 域

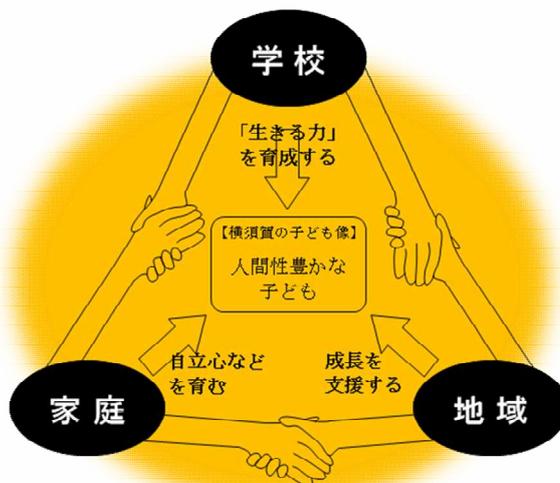
日常生活はもとより、行事、生涯学習、スポーツ、企業活動など様々な場面において、子どもや家庭に積極的に関わり、学校と連携して、子どもの成長を支援している。

近年、家庭や地域の教育力の低下が指摘されていることを特に重大な課題と捉え、学校・家庭・地域が本来の教育機能を発揮し、連携して、子どもを育てている状態を「目指す子どもの教育の姿」としました。

また、学校・家庭・地域が、主体的に子どもに関わる意識を持ち、役割を果たせるよう、子どもを育てているそれぞれの姿を示しました。

なお、教育委員会は、学校・家庭・地域が「目指す子どもの教育の姿」に向かって進めるよう、積極的に支援や仕組みづくりを行っていきます。

「目指す子どもの教育の姿」イメージ図



4 重点課題(平成26年度～平成29年度)

「横須賀の子ども像」「目指す子どもの教育の姿」の実現に向けて、解決すべき課題をあらためて捉え「重点課題」として位置付けました。

重点課題1 学校・家庭・地域の連携推進

食事、睡眠、あいさつなどの基本的な生活習慣、家庭学習や読書、運動の習慣、社会のルールを守るといった規範意識^(注1)などを子どもに身に付けさせるには、学校・家庭・地域が共通の認識を持って子どもを育てることが重要です。そのために、学校・家庭・地域の連携をさらに推進することを目指して、学社連携・融合^(注2)や地域スポーツの充実、家庭向けリーフレットの配布など、学校・家庭・地域が、共に子どもの教育に関わる仕組みや場、機会を充実させます。また、家庭や地域の教育力の向上を目指して、学習の機会および各種情報を提供します。

重点課題2 学力・体力の向上

子どもの「学力や体力」に関する課題の解決に向けて、「思考力・判断力・表現力」「学習意欲や持続性」「体力・運動能力」の向上を目指し、各学校の「学力向上プラン」の充実や、子どもの「健康・体力向上」のための対策に取り組みます。また、義務教育9年間においては、学びの系統性・連続性を重視した教育の充実を図ります。

重点課題3 いじめ・暴力・不登校の未然防止と早期解決

子どもの心の一面を映し出しているともいえる「いじめや暴力行為の発生率」「不登校^(注3)の出現率」が高いという状況を改善し、未然防止と早期解決を目指して、相談体制の整備を進めるほか、総合的な支援策や関係機関とのさらなる連携を進めます。また、小学校教育と中学校教育の滑らかな接続を図ることにより、子どもの過度な心の負担を減らします。

重点課題4 学校の教育力向上

教員が子どもと向き合う時間が十分に確保できていないことや、経験年数の少ない教員の割合が増えていることによるさまざまな課題に対応し、学校の教育力の向上を目指して、教員が子どもと向き合う環境づくりや人材育成などの支援策を進めます。

重点課題5 社会教育施設による学習支援の推進

子どもの感性を磨き、創造性を培い、個性を伸ばせるような展示や体験的教育プログラムを社会教育施設^(注4)の多様性、専門性を生かして提供します。

重点課題に対応する主な事業

学校教育編、社会教育編、スポーツ編の事業のうち、重点課題に対応する主な事業を示しました。

重点課題 No					事業名	掲載編	頁
1	2	3	4	5	子ども読書活動推進事業	学校教育編	24
1	2	3	4	5	「輝け！よこすかの子どもたち（市民向け広報紙）」の発行	学校教育編	26
1	2	3	4	5	学校いきいき事業	学校教育編	27
1	2	3	4	5	学校支援ボランティア・コーディネーター導入の検討	社会教育編	29
1	2	3	4	5	家庭教育講演会の開催	社会教育編	31
1	2	3	4	5	総合型地域スポーツクラブ ^(注5) 育成事業	スポーツ編	32
1	2	3	4	5	家庭との連携による生活習慣、学習習慣の確立	学校教育編	34
1	2	3	4	5	児童生徒健康・体力向上推進事業	スポーツ編	36
1	2	3	4	5	学校評価推進事業	学校教育編	38
1	2	3	4	5	学力向上事業	学校教育編	40
1	2	3	4	5	小中一貫教育 ^(注6) 推進事業	学校教育編	43
1	2	3	4	5	支援教育 ^(注7) 推進事業	学校教育編	45
1	2	3	4	5	いじめ・不登校 ^(注3) 対策事業	学校教育編	47
1	2	3	4	5	人材育成推進支援	学校教育編	56
1	2	3	4	5	子どもと向き合う環境づくりの推進	学校教育編	58
1	2	3	4	5	子ども読書活動推進事業	社会教育編	60
1	2	3	4	5	子ども向け博物館教育普及活動の推進	社会教育編	62
1	2	3	4	5	美術館展覧会の充実	社会教育編	64
1	2	3	4	5	美術館教育普及活動の推進	社会教育編	66

※網掛けの番号は、事業が対応する重点課題の番号を示します。

5 第2期実施計画の事業一覧

※「再」は、再掲事業です。

【学校教育編】

※ 担当課は、平成29年度の担当課です。カッコ内は、現在の課名又は現在の担当課を示しています。

目標	施策	事業	担当課
1 子どもの学びを豊かにします			
(1) 教育活動の充実			
		学力向上事業	教育指導課 教育研究所 教育政策担当（教育政策課・ 教育情報システム室）
		キャリア教育推進事業	教育指導課
		防災教育推進事業	教育指導課
		子ども読書活動推進事業	教育指導課
		学校人権教育推進事業	教育指導課
		道徳教育推進事業	教育指導課
		食教育の推進	学校給食担当
		安全、安心な学校給食の提供と充実	学校給食担当
		（仮称）横須賀給食弁当の実施	学校給食担当
		喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する教育の推進	保健体育課
		教育課程研究会の実施	教育指導課
		幼児教育充実事業	教育指導課
		横須賀総合高等学校教育改革事業	教育政策担当（教育政策課）
		教育施策調査研究事業	教育政策担当（教育政策課）
		芸術鑑賞会の開催	教育指導課
		子どものための音楽会の開催	教育指導課
		児童生徒研究推進事業	教育研究所
		児童生徒指導行事事業	教育指導課 支援教育課
		文化部各種大会派遣事業	教育指導課
		中学校文化部指導者派遣事業	教育指導課
		高等学校文化部育成事業	教育指導課
		吹奏楽部活動奨励事業	教育指導課
再		高等学校国際交流支援事業	教育指導課
再		学校教育との連携の強化	生涯学習課
再		子ども読書活動推進事業	中央図書館 児童図書館
再		博物館による学習機会の支援事業	博物館運営課
再		子ども向け博物館教育普及活動の推進	博物館運営課
再		美術館教育普及活動の推進	美術館運営課
再		児童生徒健康・体力向上推進事業	保健体育課
再		学校体育授業サポート事業	スポーツ振興課
再		新体力テスト測定員養成事業	スポーツ振興課
再		運動部活動指導者派遣推進事業	保健体育課
再		全国大会出場などへの支援事業	保健体育課

(2) 支援教育の充実		
	支援教育推進事業	支援教育課
	いじめ等課題解決支援事業	支援教育課
	いじめ・不登校対策事業（※詳細を①～④に掲載）	支援教育課
	①相談員等派遣事業	支援教育課
	②相談教室運営事業	支援教育課
	③いじめ対策事業	支援教育課
	④教育相談充実事業	支援教育課
	日本語指導推進事業	支援教育課
(3) 国際教育の推進と英語教育の充実		
	国際コミュニケーション能力育成事業	教育指導課
	高等学校国際交流支援事業	教育指導課
(4) 情報教育の推進		
	教員の情報活用能力の育成	教育研究所 教育指導課 教育政策担当（教育政策課・ 教育情報システム室）
(5) 校種間連携の推進		
	小中一貫教育推進事業	教育指導課（教育指導課及び 教育政策課）
	就学前教育と小学校教育の連携推進事業	教育指導課
	就学前児童学校給食交流体験事業	学校給食担当
2 学校の組織力や教職員の力を高めます		
(6) 学校運営改善の充実		
	学校評価推進事業	教育指導課（教育指導課及び 教育政策課）
	学校支援員派遣事業	支援教育課
(7) 教職員の研究・研修の充実		
	人材育成を促進する教職員研修体系の構築	教育研究所 他
	基本研修や専門研修の実施	教育研究所 他
	経験の浅い教員を対象にした研修の充実	教育研究所
	理科センターの充実	教育研究所
	教員の I C T 活用研修の充実	教育研究所
	選択研修の推進	教育研究所
	「よこすか教師塾」の実施	教育研究所
	カリキュラムセンター機能の充実	教育研究所
	研究会による教育課題研究の充実	教育研究所
(8) 学校における校内研究・研修への支援の充実		
	学校委託研究への指導・助言の充実	教育指導課
	研究委託事業	教育指導課
	人材育成推進支援	教育研究所

(9) 教員が子どもと向き合う環境づくりの推進		
	校務支援システムの活用推進	教育研究所
	子どもと向き合う環境づくりの推進	教育政策担当（教育政策課）
	学校法律相談事業	支援教育課
再	中学校文化部指導者派遣事業	教育指導課
再	高等学校文化部育成事業	教育指導課
再	運動部活動指導者派遣推進事業	保健体育課
3 学校・家庭・地域の連携を深めます		
(10) 開かれた学校づくりの充実		
	「学校へ行こう週間」の実施	教育指導課
	「輝け！よこすかの子どもたち（市民向け広報紙）」の発行	教育政策担当（教育政策課）
再	学校評価推進事業	教育指導課（教育指導課及び教育政策課）
(11) 家庭との連携による生活・学習習慣の確立		
	家庭との連携による生活習慣、学習習慣の確立	教育指導課 支援教育課 保健体育課 学校給食担当
再	学力向上事業	教育指導課 教育研究所 教育政策担当（教育政策課・教育情報システム室）
再	食教育の推進	学校給食担当
再	家庭教育講演会の開催	生涯学習課
再	家庭教育学級の開催	生涯学習課 他
再	児童生徒健康・体力向上推進事業	保健体育課
(12) 地域教育力の活用の充実		
	学校いきいき事業	教育指導課
(13) 放課後等児童対策の推進		
	放課後等児童対策の推進	教育政策担当（教育政策課）
4 教育環境を整備し、充実させます		
(14) 学校の適正規模・適正配置の推進		
	学校規模・配置適正化事業	教育政策担当（教育政策課）
(15) 就学支援などの充実		
	就学奨励扶助事業	支援教育課 保健体育課 学校給食担当
	奨学金支給事業	支援教育課
(16) 学校の安全・安心の推進		
	学校の施設整備・維持管理	学校管理課
	学校事故等緊急時の体制づくり	保健体育課
	市立学校用防災備蓄品整備事業	総務課
(17) 学校施設・設備の充実		
	学校トイレ改修事業	学校管理課
(18) 学校緑化の推進		
	校庭の芝生化事業	学校管理課

【社会教育編】

目標	施策	事業	担当課
1 市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図ります			
(1) 多様な学習の機会の提供			
		市民大学事業	生涯学習課
		生涯学習の啓発事業	生涯学習課
		学習機会の提供	生涯学習課 他
		高齢者や青少年など各世代に対応した事業の提供	生涯学習課 他
		学習サークル支援事業	生涯学習課 他
再		レファレンスと情報提供の充実	中央図書館
再		博物館教育普及活動の推進、学習機会の提供	博物館運営課
再		美術館展覧会の充実	美術館運営課
再		美術館教育普及活動の推進	美術館運営課
(2) 「人権教育・啓発」の推進			
		人権教育啓発事業	生涯学習課
		人権学習推進事業	生涯学習課
(3) 学習の場の提供			
		学校施設等の開放事業	生涯学習課
		生涯学習センター運営管理事業	生涯学習課
		コミュニティセンターの運営管理	生涯学習課 他
		生涯学習センターなどの専門性向上	生涯学習課 他
		社会教育施設などの相互連携	中央図書館 博物館運営課 美術館運営課 生涯学習課 他
再		地域研究を基盤とした博物館の専門性の向上	博物館運営課
(4) 学習情報・学習相談の充実			
		学習情報収集・提供事業	生涯学習課
		広報活動の充実	生涯学習課
		生涯学習に係る学習相談事業	生涯学習課
		「横須賀市生涯学習ホームページ」の充実	生涯学習課
再		博物館の広報活動の充実	博物館運営課
2 学びの成果が生かせる社会を目指します			
(5) 学びの成果を地域に生かす活動の支援			
		登録講師の学習成果の地域還元事業	生涯学習課
		講座企画運営ボランティア事業	生涯学習課
		学習成果地域活用の普及啓発事業	生涯学習課
再		博物館による学習機会の支援事業	博物館運営課
(6) 学びの成果を評価する仕組みづくりの検討			
		学習成果の地域還元を評価する仕組みづくりの検討	生涯学習課

3 家庭や地域における教育力の向上を図ります		
(7) 「学社連携・融合」事業の推進		
	学校支援ボランティア・コーディネーター導入の検討	生涯学習課
(8) 学校・家庭・地域の連携強化による家庭教育力の向上		
	家庭教育講演会の開催	生涯学習課
	P T A活動振興事業	生涯学習課
	横須賀市P T A協議会との事業連携の見直し	生涯学習課
	家庭教育学級の開催	生涯学習課 他
	市民大学における家庭教育支援講座の開催	生涯学習課
再	食教育の推進	学校給食担当
再	家庭との連携による生活習慣、学習習慣の確立	教育指導課 支援教育課 保健体育課 学校給食担当
4 文化遺産の保存と活用を推進します		
(9) 横須賀らしい文化遺産の保存、活用・継承		
	重要文化財の保存管理と公開活用	生涯学習課
	埋蔵文化財の保護と調査	生涯学習課
	市民団体との協働による文化遺産の活用	生涯学習課
	学校教育との連携の強化	生涯学習課
	よこすかの文化財などの展示事業	生涯学習課
再	自然誌資料歴史資料の保存と活用	博物館運営課
(10) 近代化遺産の調査と保護・活用の推進		
	近代化遺産の調査と保存・活用	生涯学習課
	旧横須賀製鉄所・東京湾要塞跡に関する資料の収集と保存・公開	生涯学習課
再	近代歴史資料の調査と保存・活用	博物館運営課
(11) 伝統文化の保存と継承の推進		
	民俗芸能・伝統文化の保護と継承	生涯学習課
	民俗芸能大会、民俗芸能地域公開事業の開催	生涯学習課
5 図書館・博物館・美術館の活動を充実させます		
(12) 図書館活動の充実		
	図書館資料の収集、整理、保存	中央図書館
	図書館情報サービス事業	中央図書館
	レファレンスと情報提供の充実	中央図書館
	子ども読書活動推進事業	中央図書館 児童図書館

(13) 博物館活動の充実		
	展示の充実および付属施設の運営と調査研究事業の推進	博物館運営課
	近代歴史資料の調査と保存・活用	博物館運営課
	博物館教育普及活動の推進、学習機会の提供	博物館運営課
	博物館による学習機会の支援事業	博物館運営課
	子ども向け博物館教育普及活動の推進	博物館運営課
	自然誌資料歴史資料の保存と活用	博物館運営課
	地域研究を基盤とした博物館の専門性の向上	博物館運営課
	博物館の広報活動の充実	博物館運営課
(14) 美術館活動の充実		
	美術館展覧会の充実	美術館運営課
	美術館教育普及活動の推進	美術館運営課
	美術品の収集、保存、活用	美術館運営課
	「市民に親しまれる美術館」を目指した活動の推進	美術館運営課
	美術館維持整備事業	美術館運営課
	美術館10周年記念事業	美術館運営課

【スポーツ編】

目標	施策	事業	担当課
1 子どもの生活習慣を改善し、体力の向上を図ります			
(1) 生活習慣の改善および健康・体力づくりの推進			
		児童生徒健康・体力向上推進事業	保健体育課
	再	食教育の推進	学校給食担当
	再	家庭との連携による生活習慣、学習習慣の確立	教育指導課 支援教育課 保健体育課 学校給食担当
(2) 体育・健康教育の充実			
		学校体育授業サポート事業	スポーツ振興課
		新体力テスト測定員養成事業	スポーツ振興課
	再	食教育の推進	学校給食担当
	再	喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する教育の推進	保健体育課
(3) 運動部活動の活性化			
		運動部活動指導者派遣推進事業	保健体育課
		全国大会出場などへの支援事業	保健体育課
2 だれもが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる機会を充実させます			
(4) 市民の健康・体力づくりの推進			
		市民スポーツ教室事業	スポーツ振興課
		学区体育振興会育成事業	スポーツ振興課
(5) 市民が主体となる活動の支援			
		総合型地域スポーツクラブ育成事業	スポーツ振興課
(6) スポーツ施設の整備と円滑な管理運営の推進			
		学校体育施設開放奨励事業	スポーツ振興課
		体育会館運営方法の検討	スポーツ振興課
(7) スポーツ情報提供の充実			
		横須賀市スポーツ行政に関するホームページの充実	スポーツ振興課
		広報よこすか掲載内容の充実	スポーツ振興課
		マスコミへの情報提供の充実	スポーツ振興課
		スポーツ・レクリエーションマップの充実	スポーツ振興課
3 競技者の活動を支援するとともにスポーツ愛好者の裾野を拡大します			
(8) 国際大会や全国大会で活躍する競技者の育成と支援			
		各種大会選手派遣支援の推進	スポーツ振興課
(9) ホームタウンチームなどとの連携強化			
		よこすかドリーム・スポーツプロジェクト推進事業	スポーツ振興課
(10) 各種スポーツ団体への協力と支援			
		各種スポーツ団体支援の推進	スポーツ振興課
		各種競技大会開催、支援の推進	スポーツ振興課
		各種スポーツ団体の自立化事業	スポーツ振興課
(11) スポーツ指導者の育成と確保			
		スポーツ指導者育成交流事業の推進	スポーツ振興課
		横須賀市スポーツ指導者協議会などとの連携強化	スポーツ振興課
		市スポーツ推進委員育成事業	スポーツ振興課
		神奈川県スポーツリーダーバンク利用促進事業	スポーツ振興課

◆ 重点課題に対応する主な事業

- 点検・評価報告書の見方
(重点課題に対応する主な事業)
- 1 重点課題に対応する主な事業

○点検・評価報告書の見方(重点課題に対応する主な事業)

1 重点課題に対応する主な事業

横須賀市教育振興基本計画では、「横須賀の子ども像」「目指す子どもの教育の姿」の実現に向けて、解決すべき課題をあらためて捉え「重点課題」として位置付けております。この重点課題に対応する主な事業について、その執行状況を測ります。

横須賀市教育振興基本計画の各事業のうち重点課題に対応する主な事業で、19事業あります。

事業名を記載しています。

No. 1	事業名	子ども読書活動推進事業
-------	-----	-------------

事業ごとに、対応する重点課題、掲載編、関連目標、関連施策、事業を担当する課を明記し、基礎情報としました。

事業の概要について記載しています。

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題1:学校・家庭・地域の連携推進
掲載編	学校教育編
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
関連施策	施策(1):教育活動の充実
担当課	教育指導課

2. 事業の概要

児童生徒の読書への関心や主体的な学習の力を高めるために、学校図書館機能の充実を目指し、学校図書館コーディネーター(いわゆる学校司書)等の配置や蔵書情報のデータベース化、教職員の研修の充実、市立図書館との連携を強化します。

平成29年度の主な計画に対しての実績を記入しています。計画と実績が異なる場合は、下記の枠にその理由を記載しています。

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校図書館コーディネーター(いわゆる学校司書)等	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置
市立図書館の資料活用	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
ボランティアの養成	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

(計画と実績が異なる場合の理由)

前回の課題や学識経験者の意見を受けて平成29年度に改善した点等を記載しています。

4. 前回の課題及び改善点

平成29年度の具体的な取組を記載しています。

5. 実施内容

実施内容の成果、効果及び課題を記載しています。

6. 成果、効果及び課題

本事業1～6について学識経験者等からいただいたご意見を掲載しています。

7. 学識経験者等の意見

今回の課題及び学識経験者等の意見に対する今後の改善策を記載しています。

8. 今後の改善策

1 重点課題に対応する主な事業

横須賀市教育振興基本計画では、「横須賀の子ども像」「目指す子どもの教育の姿」の実現に向けて、解決すべき課題をあらためて捉え「重点課題」として位置付けております。この重点課題に対応する主な事業について、その進捗度を測ります。

No. 1	事業名	子ども読書活動推進事業
-------	-----	-------------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題1:学校・家庭・地域の連携推進	児童生徒の読書への関心や主体的な学習の力を高めるために、学校図書館機能の充実を目指し、学校図書館コーディネーター(いわゆる学校司書)等の配置や蔵書情報のデータベース化、教職員の研修の充実、市立図書館との連携を強化します。
掲載編	学校教育編	
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします	
関連施策	施策(1):教育活動の充実	
担当課	教育指導課	

2. 事業の概要

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校図書館コーディネーター(いわゆる学校司書)等	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置
蔵書情報のデータベース化	計画	検討	検討	検討	検討
	実績	検討	検討	検討	検討
司書教諭研修講座	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
市立図書館の資料活用	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
ボランティアの養成	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校司書23名がより専門的な視点で学校図書館運営に関わるための研修等の体制が必要である。 ○データベース化が進みにくい。 ○中学校への学校司書配置への手立てを検討する必要がある。 <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校司書の専門性の向上を図る研修会等を実施した。 ○蔵書情報データベース化を図った学校の効果的な運用やシステム導入の効果について聞き取りを行った。 ○学校司書の配置拡充に向けて具体的な方向性を探った。

5. 実施内容

- 学校司書が市内全小学校(46校)に2週で3日勤務した。中学校への司書派遣を検討した。
- 毎月の学校司書連絡会では、学校司書の経験に合わせた実務的な研修を行った。また、国際子ども図書館への視察等も行った。
- 市立図書館の資料活用については、教科外総会に児童図書館長を招き、取組方法を周知した。
- 司書教諭研修講座では、全国図書館協議会の藤田利江氏を講師として調べ学習のスキルを研修した。また、学校図書館ボランティア養成講座では、さわださちこ氏を講師として図書館展示の工夫を研修し、図書館運営の活性化を図った。
- 各学校の蔵書情報データベース化の実態について、情報収集を行った。

6. 成果、効果及び課題

【成果、効果】

- 学校司書の専門性が向上している。
- 小学校において、全校で学校司書による学校図書館の利用指導が実施された。
- 「横須賀市の児童・生徒の読書実態調査」において、学校図書館を「よく利用する」「ときどき利用する」児童の割合が前回調査より増加し、特に、「よく利用する」割合が前年度の3.5%より18.4%へと約15%増加した。
- 小学生の読書実態は向上した。

【課題】

- 中学生は一か月に1冊も本を読まない生徒が増えるなど、課題がある。
- 蔵書情報データベース化に向けて情報収集はしたものの、各学校の導入ソフトや進捗状況がまちまちであり、市としての今後の具体的な方針が定まらない。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

- 学校司書の専門性向上に向けた研修の充実、市内全小学校での学校図書館の利用指導の実施などを通して、小学生の学校図書館利用が促進され、その結果読書実態が向上するという成果を生み出している。一方中学生の読書実態は低迷しているといわざるを得ない。小学生以上に中学生にとってこそ、情報リテラシーの習得と活用を図ることはキャリア教育など将来にわたって重要な影響を及ぼす問題でもある。同時に今日的な学びの在り方として注目されている探究的な学習能力の形成にも深く関与する。中学校における学校司書の配置と学校図書館の利用指導の充実は喫緊の課題である。あわせて懸案となっている蔵書情報データベース化の促進を図ることも至急実施する方向で検討を進めていくべきである。

8. 今後の改善策

- 中学校への学校司書配置を段階的に進める。配置が実現した中学校においては、その効果を検証する。また、すべての学校において、新しい時代に求められる「情報活用能力」の育成に資する学校図書館の在り方について、学校司書だけでなく、司書教諭や学校図書館担当を巻き込んだ研修、啓発等を行っていく。
- 蔵書情報データベース化に当たっては、図書館用パソコン整備の予算化等も必要になるため、まずは、一校でも多くの中学校に学校司書を配置し、中学生が本と親しめる環境を整えることを優先する。

No. 2	事業名	「輝け！よこすかの子どもたち(市民向け広報紙)」の発行
-------	-----	-----------------------------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題1:学校・家庭・地域の連携推進	市民に向けて、学校の取組や学校での子どもたちの様子、教育委員会の取組を「輝け！よこすかの子どもたち」を通して発信します。
掲載編	学校教育編	
関連目標	目標3:学校・家庭・地域の連携を深めます	
関連施策	施策(10):開かれた学校づくりの充実	
担当課	教育政策担当(教育政策課)	

2. 事業の概要

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
輝け！よこすかの子どもたち	計画	発行	発行	発行	発行
	実績	発行	発行	発行	発行

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <p>○見やすさや読みやすさについて、さらなる工夫が必要であるという意見があった。</p> <p>【改善点】</p> <p>○広報課に配置される「発行物等のデザインを支援するアドバイザー」と連携を図り、さらに読みたくなるような見やすい広報紙を作成した。</p>

5. 実施内容

<p>○学校の取組や学校での子どもたちの様子、教育委員会の取組を紙面8ページにまとめ、10月と2月の年間2回、32,500部ずつ発行した。</p> <p>○発行物は、市立小学校・中学校・高校の児童生徒の保護者や教職員、市内の保育園・幼稚園に在籍する次年度小学校入学予定園児の保護者に配布し、各行政センターに配架した。</p>

6. 成果、効果及び課題

<p>【成果、効果】</p> <p>○広報課に配置された「発行物等のデザインを支援するアドバイザー」と連携を図ることで、より魅力的な紙面を構成することができ、より市民が読みたくなるような広報紙を発行することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>○本事業の充実を図るために、読者の意見を把握する必要がある。</p>

7. 学識経験者等の意見

<p>(学識経験者の意見)</p> <p>○デザイン支援アドバイザーとの連携から「見やすく、読みやすい」魅力的な紙面構成を実現させた点は評価できる。今後は記事内容そのものの一層の充実を努めていただきたい。</p>

8. 今後の改善策

<p>○引き続き広報課のデザイン支援アドバイザーとの連携を図り、魅力的な紙面構成とし、タイムリーで充実した記事内容の精選により、さらなる充実を図る。</p> <p>○平成31年度に、読者の意見を把握するためのアンケートを実施する。</p>

No. 3	事業名	学校いきいき事業
-------	-----	----------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題1:学校・家庭・地域の連携推進	学校と保護者・地域との連携や校種(注12)間の連携を一層図ることにより、地域で子どもを育てていく体制を構築することを目指します。
掲載編	学校教育編	
関連目標	目標3:学校・家庭・地域の連携を深めます	
関連施策	施策(12):地域教育力の活用の充実	
担当課	教育指導課	

2. 事業の概要

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校教育支援ボランティア(注48)の活用の支援	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
地域の教育力の活用の支援	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
小中連携の取組	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
学校評議員(注13)の活用の支援	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <p>○全市的に小中の連携において、互いの取組の内容や学校の状況、児童生徒のニーズ等、具体的な情報や課題意識の共有が得られず、今後の連携の在り方の見通しが明確に持てないことがある。</p> <p>【改善点】</p> <p>○各中学校ブロックに2名の担当指導主事を配置し、助言を行った。また、小中一貫教育の取組の効果について、学校訪問等での聞き取りを通じて検証するよう努めた。</p>

5. 実施内容

<p>○学校教育支援ボランティア及び地域の教育力の活用については、学校教育支援チューターにおいて、小学校34校、中学校6校、養護学校1校が活用した。また、地域人材の活用においては、小学校46校、中学校23校、高等学校1校、ろう学校、養護学校、幼稚園2園が活用し、地域人材の活用回数は、小学校10,443回、中学校3,609回、高等学校196回、ろう学校・養護学校154回、幼稚園123回であった。</p> <p>○小中連携については、小中の交流活動や幼少の交流活動など、各学校の状況に応じた取組が行われている。</p> <p>○学校評議員の活用については、全学校において行われている。</p>

6. 成果、効果及び課題

<p>【成果、効果】</p> <p>○学校支援に係るボランティアや地域の教育力を活用し、子ども一人一人へのきめ細かい支援や指導が実践されている。</p> <p>○小中連携においては小学生と中学生の交流活動などを行い、小学生にとっては中学生活への希望や中学生への憧れを持つことができ、中学生にとっては自己有用感を持つことができています。</p> <p>【課題】</p> <p>○管理職のみならず、小中一貫担当者が中心となって小中の交流が具体化されてきている一方で、交流の目的や視点を明確にすることが今後一層必要になる。</p>

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

○地域人材の活用に関する数量把握とは別に、その内容の質的な状況把握が必要となるのではないか。「チーム学校」の充実が求められ、今後はさらにコミュニティ・スクール化を目指した動きがますます重視されていく。学校評議員、学校教育支援ボランティアをはじめとした地域の教育力の活用とともに、「地域の文化的な拠点」としての学校の在り方が問われていく。小中連携の取組も学校間の内部的な交流・連携面ばかりでなく、中学校区として地域とのつながりがどう充実しているか、学校外部との関係性の在り方についても検討する必要がある。

8. 今後の改善策

○「学校教育支援ボランティアの活用」「地域の教育力の活用」「小中連携の取組」「学校評議員の活用」が、それぞれ個々に取り組みられるのではなく、校長の長期的なビジョンやリーダーシップのもと、新学習指導要領で目指されている「社会に開かれた教育課程」の実現とのつながりを意識した取組とできるように助言を行う。

○それぞれの地域の課題や子どもの実態に即した取組を展開できるよう、「学校いきいき予算」の有効な活用を促す。

○小中連携の取組においては、教員が地域の課題に即した問題意識を共有しながら交流を推進するように助言する。

No. 4	事業名	学校支援ボランティア・コーディネーター導入の検討
-------	-----	--------------------------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題1:学校・家庭・地域の連携推進
掲載編	社会教育編
関連目標	目標3:家庭や地域における教育力の向上を図ります
関連施策	施策(7):「学社連携・融合」事業の推進
担当課	生涯学習課

2. 事業の概要

地域の人々が、社会教育で学んだ成果を学校教育に生かし、学校の教育活動を充実させるための学校支援ボランティアの導入を検討します。さらに、学校と地域がより密接な連携をするための橋渡し役となる、学校支援コーディネーター(注61)の導入も併せて検討します。このことにより、保護者及び地域の人々が連携し、ボランティアとして学校を支援する活動を推進し、学校及び地域の活性化を図ります。

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ボランティア活用のための学校との連携	計画	検討	検討	検討	検討
	実績	検討	検討	検討	検討
学校支援ボランティア講座	計画	検討	検討	検討	検討
	実績	検討	検討	検討	検討
学校支援コーディネーターの導入	計画	検討	検討	検討	検討
	実績	検討	検討	検討	検討

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】 ○学校の多忙な状況と要望を十分に理解し、無償ボランティアとして協力していただける人材の確保が難しい。 ○学校からの要望に応じ、その実情にあった相談を行うことができる学校教育と地域活動の経験が豊富な人材が求められている。 ○学校ボランティアが必要な知識・技術を得て向上していくためには、全校を対象とした一律の内容の講座を開設しても効果は薄いと考えられる。ボランティア活用のため、今後は、さらに学校の協力を得ながら、学校の実情把握と情報交換に努めることが必要である。 ○学校の多忙な現状を踏まえた学校支援ボランティアとコーディネーターの導入について、学校との連携が最も重要な課題であるとする。学校側のニーズと学校支援ボランティアのやりたいことやできることとの調整には、まず信頼関係が不可欠である。</p> <p>【改善点】 ○社会教育等で学んだ地域人材が学校教育支援に関わる上での課題の共有を指導主事と図った。</p>

5. 実施内容

○ボランティア活用のための学校との連携

・前年度に引き続き、地域と学校とを結ぶコーディネーターの役割や連携の在り方の意義を学ぶための研修に参加し、地域とともに学校を支援する事例を学ぶことにより、学校支援ボランティア等に関する情報収集を実施した。

・学校で活躍している地域のボランティアに話を聞くことにより学校ごとのニーズの違いや学校支援ボランティア活動への関心が地域によって異なっていることがわかった。市PTA協議会の広報誌の記事より地域と学校とのつながりを拾い出すことにより、学校ごとに地域との密着の度合いが様々であることが確認できた。

○学校支援ボランティア講座

・学校で活躍している地域のボランティアに状況を聞いた内容を踏まえ担当課内で検討した。ボランティアの心構え、学校がボランティアに望むこと等、全校が共通で受講可能な部分は、同講座の導入部分だけであり、その後は各校が、その状況に応じて、各校ごとに対応していく必要があるという、昨年度の結論を再確認した。学校・地域の連携は、ボランティアと教員や子どもたち、ボランティア同士の出会いの場を提供し、それぞれが信頼関係のもとにつながる機会を提供することが大切であり、一律の養成講座ではその役割を担うことが難しいとの結論に至った。

○学校支援コーディネーターの導入

・地域とともに学校を支援する事例を学ぶ研修を受け、課内で情報を共有することにより、コーディネーターの役割等を再確認した。

6. 成果、効果及び課題

【成果、効果】

○数年間の検討から、学校支援ボランティアについては、すでに各学校で地域との関わりの中で、様々な形で取り組んでいることや、登下校時の児童の見守りや花壇の清掃など、地域住民による日常的な学校支援の活動は、教育委員会で画一的な養成や研修を行うことが学校現場から必要とされていないことが確認できた。

【課題】

○社会教育等で学んだ多様な知識や経験を有する市民が、学校教育における子どもたちの社会体験や自己肯定感を高める様々なプログラムに、様々な形で関わるのが可能となるような学校教育支援ボランティアの推進及び地域人材のコーディネート機能の強化に焦点を合わせていく必要がある。

○教育委員会内の課長会議など、学校・家庭・地域の連携についてさらに検討を深める場を設け、学校側のニーズなどの情報の共有を図り、導入の在り方についてさらに検討を行う必要がある。

○他都市の学校教育支援ボランティアの体制を調査する必要がある。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

○学校と地域の連携は各学校と地域相互における多様で独自なニーズに基づきながら行われており、学校支援ボランティアの導入とその体制の在り方も各学校と地域に応じて個別の対応と検討が必要となる。各校区あるいは地域ごとにニーズのありようがどのようなものであるか、引き続き実態調査を進めていただきたい。

○学校支援ボランティアの体制や仕組みをさらに研究していくことが求められる。

○今までの現状からそれなりの成果が生まれている。コーディネーターの導入・養成制度関係はさらなる発展を期待したい。

○学校・家庭・地域の三者連携に関わる仕組みづくり・連携や、それら相互の関係、さらに学校教育と社会教育の連携の在り方などが検討・研究されることが求められる。

8. 今後の改善策

○学校現場のニーズを踏まえながら、地域で社会教育や生涯学習の活動を行う方々の中から、ボランティアの形で子どもたちの学びに協力をいただける方々を、生涯学習センターのコーディネート機能を活用して情報提供し、マッチングを充実させていく。

○登下校時の見守り活動等、各学校や各地域で学校運営上必要な学校支援ボランティアについては、すでに取組が進んでいるところであり、今後は、市民の学習成果や社会経験を子どもたちの「学び」にどのように生かすことができるのかという観点から、支援に取り組んでいく。

No. 5	事業名	家庭教育講演会の開催
-------	-----	------------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題1:学校・家庭・地域の連携推進	保護者に対する学習の機会、情報の提供及び家庭教育の支援のため、家庭教育講演会を実施し、保護者の意識向上を目指します。
掲載編	社会教育編	
関連目標	目標3:家庭や地域における教育力の向上を図ります	
関連施策	施策(8):学校・家庭・地域の連携強化による家庭教育力の向上	
担当課	生涯学習課	

2. 事業の概要

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
家庭教育講演会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <p>○近年、共働き世帯やひとり親世帯が増加しており、親の多忙化から家庭教育に充てる時間が十分に取れず、また核家族化や地域とのつながりの希薄化といった状況もみられる。家庭教育支援の重要度は増しているが、本当に来てほしい保護者の参加が難しいと思われる。</p> <p>【改善点】</p> <p>○市PTA協議会と協議し、個々の保護者へ開催情報が行き渡るようにした。</p>

5. 実施内容

<p>○平成29年6月5日(月)「親子のコミュニケーション～もっと分かり合うために～」参加者151名</p> <p>○平成29年6月27日(火)「『みんなの学校』上映会～“一緒に学ぶ”をリアルに映した話題作、あなたはどうか見る?～」参加者171名</p> <p>○平成29年9月22日(金)「子どもが本を手にとってくれる 読み聞かせ パートⅡ」参加者95名</p> <p>○平成29年9月29日(金)「子どもたちに読書と学びの楽しさを伝える学校図書館づくり」参加者55名</p>

6. 成果、効果及び課題

<p>【成果、効果】</p> <p>○市PTA協議会に委託したことにより、学校や家庭における課題に即した内容の講演会が開催でき、家庭と学校の連携強化につながった。</p> <p>【課題】</p> <p>○より多くの保護者が学べるよう、引き続き情報提供の方法等を工夫する必要がある。</p> <p>○市PTA協議会等と情報共有を図り、変わっていく家庭教育の課題や学習ニーズを把握する仕組みを構築する必要がある。</p>

7. 学識経験者等の意見

<p>(学識経験者の意見)</p> <p>○保護者のための学習機会の保障は、やはり保護者目線から内容の吟味が必要となる。昨年度実施されたものでは、親子のコミュニケーションの在り方のような日常家庭生活に直結する内容、映像上演という比較的理解しやすい印象を与えるものが好評のようであった。こうした点を参考に、講座内容と形式の吟味検討を進められたい。</p> <p>○保護者へのそれなりの支援がなされ、充実してきている。これからもその成果を崩さずに振興させていただきたい。</p>

8. 今後の改善策

<p>○より多くの保護者に参加してもらえるように、市PTA協議会等と連携、情報共有を行い、保護者の興味を引くテーマや開催形式について、検討を進めていく。</p> <p>○引き続き、市PTA協議会を通じ、各保護者へ開催情報が行き渡るようにしていく。</p>

No. 6	事業名	総合型地域スポーツクラブ(注5)育成事業
-------	-----	----------------------

1. 基礎情報

2. 事業の概要

対応する重点課題	重点課題1:学校・家庭・地域の連携推進	いつでも、どこでも、いつまでも、より多くの人が生涯を通してスポーツやレクリエーションを楽しめる地域コミュニティである総合型地域スポーツクラブを育成します。
掲載編	スポーツ編	
関連目標	目標2:だれもが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる機会を充実させます	
関連施策	施策(5):市民が主体となる活動の支援	
担当課	スポーツ振興課	

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市民の認知度の向上のための情報提供の充実	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
創設支援のための調整会議の開催及び情報の提供	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
既存団体の活動拠点の確保	計画	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
	実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
各種目スポーツ団体に対する研修会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
指導者派遣に関する情報	計画	提供	提供	提供	提供
	実績	提供	提供	提供	提供

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <p>○新たに総合型地域スポーツクラブ設立に向け、直接活動を支援できる団体・クラブは今のところない。</p> <p>【改善点】</p> <p>○総合型地域スポーツクラブの新規活動拠点場所の検討を行った。また、横須賀市体育協会で開催している講習会等を活用し、市内スポーツ指導者の拡充及び能力向上に努めた。</p>

5. 実施内容

<p>○馬堀スポーツクラブ(平成16年総合型設立)、NPO法人横須賀シーガルズスポーツクラブ(平成21年総合型設立)、NPO法人よこすか総合型地域スポーツクラブ(平成24年3月設立、平成25年11月20日NPO法人成立)の市内3クラブに対する育成支援を以下のとおり実施した。</p> <p>○市民の認知度の向上に係る情報提供の充実・・・地元町内会・小中学校等への広報活動支援に努めた。</p> <p>○既存団体の活動拠点場所確保の支援を行った。</p> <p>○各種目スポーツ団体に対する研修会・・・横須賀市体育協会を通して、講習会を開催した。</p> <p>○指導者派遣に関する情報・・・神奈川県立体育センターなどから本市に送付される指導者派遣について周知した。</p> <p>○その他、運営会議等の開催及び情報の提供・・・定期的で開催する運営委員会等の会議に出席し、県内の状況の報告や運営に関する助言を行った。</p>

6. 成果、効果及び課題

【成果、効果】

○市ホームページへの市内3クラブの紹介記事掲載や会報等の配架を行うことで、効果的な市民への情報発信を図れた。

○NPO法人よこすか総合型地域スポーツクラブの活動場所である旧上の台中学校体育施設等が、平成26年度から鴨居中学校に編入された。引き続き同クラブ及び鴨居中学校との調整を行い、中学校部活動と一緒に練習するなど、広域的な施設利用ができた。

【課題】

○県内の総合型地域スポーツクラブの特徴として、「各クラブによって活動状況に格差がある」ことが挙げられるが、横須賀市においてもその傾向は顕著である。格差をなくすべく、県とも連携を図る必要がある。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

○総合型地域スポーツクラブの育成は市民の健康で文化的な生活の充実に通じる重要な課題であり、そうした団体・クラブへの支援が実施できるようになったことは大きな前進である。今後とも地域市民活動の一環にスポーツ文化が根付くよう、学校「部活動」の在り方などを見直し、「開かれた教育課程」と連動する方向で地域市民スポーツが開花するよう検討を進めていただきたい。

○総合型地域スポーツクラブの紹介は、市ホームページ等を通じて行われているが、さらなる活動の活性化を図るために体育協会、学区体育振興会等関連団体と連携しながら情報発信することが効果的と思われる。

○関連事業として市民スポーツ教室事業、学区体育振興会育成事業があるが、こうした事業を入口として総合型地域スポーツクラブにおける世代間の交流を促進できるのではないだろうか。

○NPO法人よこすか総合型地域スポーツクラブの中学校部活動との連携した活動は、総合型地域スポーツクラブの運営の典型的事例として評価できる。今後、総合型地域スポーツクラブの運営については、特に中学校運動部活動や地域特性をいかしたコミュニティ形成と連携した視点から検討することが重要と考える。

○活動状況の格差を改善し、また情報発信、他事業との連携を促進するためには、クラブ外に地域スポーツコーディネーターを設置することが今後の課題と考える。

8. 今後の改善策

○引き続き横須賀市体育協会と連携し、情報発信を続けていく。また協会主催の講習会にも積極的に参加を促し、指導者の拡充及び能力向上に努める。

○総合型地域スポーツクラブの存在が浸透していない地域を中心に新規活動拠点場所の検討を行う。

○神奈川県主催の市町村スポーツ主管課総合型地域スポーツクラブ会議を活用し、県・他市から活動の格差の問題について意見を賜り、その情報を各クラブにフィードバックしてクラブ間格差の解消に努める。

No. 7	事業名	家庭との連携による生活習慣、学習習慣の確立
-------	-----	-----------------------

1. 基礎情報

2. 事業の概要

対応する重点課題	重点課題1:学校・家庭・地域の連携推進 重点課題2:学力・体力の向上	児童生徒の保護者に、啓発のためのリーフレットを配布するなど、児童生徒の望ましい生活習慣、学習習慣の確立を目指します。
掲載編	学校教育編	
関連目標	目標3:学校・家庭・地域の連携を深めます	
関連施策	施策(11):家庭との連携による生活・学習習慣の確立	
担当課	教育指導課・支援教育課・保健体育課・学校給食担当	

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
子どもの生活状況の把握と分析	計画	—	—	実施	—
	実績	—	—	実施	—
家庭学習啓発リーフレット	計画	配布	配布	配布	配布
	実績	配布	配布	配布	配布
横須賀子どもスタンダード(注47)	計画	配布 小1	配布 小1	配布 小1	配布 小1
	実績	配布 小1	配布 小1	配布 小1	配布 小1
教育フォーラム	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
保健だより、給食だよりなどを通じた意識啓発	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <p>○家庭学習啓発リーフレットの活用について、保護者に浸透させることが困難である。</p> <p>○横須賀子どもスタンダードについて、学識経験者から横須賀子どもスタンダード自体が自己目的化していないか注視すべきとのご意見をいただいた。</p> <p>【改善点】</p> <p>○家庭学習啓発リーフレットについては、継続して配布するとともに、教育フォーラム等で保護者に向けて発信を行っていくこととした。</p> <p>○横須賀子どもスタンダードについては、子どもを取り巻く環境の変化や、各学校の抱える問題が複雑化、多様化している今、学校の現状を把握し、取組の見直しが必要であると考え、各学校の現状把握に努めた。</p>

5. 実施内容

<p>○家庭学習啓発リーフレットについては継続して配布を行った。また、学校に対してもその活用の仕方について啓発を行った。</p> <p>○横須賀子どもスタンダードについては、小学校1年生は新入生保護者説明会で配布し、説明を行った。2年生から6年生についても懇談会等を活用し、継続して配布した。また、教職員には、職員会議等において児童指導の指針として共通して理解を深めるために活用した。</p> <p>○保健だよりは養護教諭が、給食だより(食育だより)は栄養教諭等が各校で作成し、児童生徒及び保護者あて配布した。</p>

6. 成果、効果及び課題

【成果、効果】

○家庭学習啓発リーフレットについては、学校への啓発によって、配布するだけでなく、懇談会や個人面談等において、説明と共に配布することで、その活用が図られた。

○児童生徒及び保護者の意識啓発により児童生徒の望ましい生活習慣、学習習慣の確立に向けた各家庭との連携を図ることができた。

【課題】

○児童生徒に対しての家庭学習の啓発については一定程度の成果は得られているが、保護者に向けては、学校ごとに違いがあり、引き続き啓発していく必要がある。

○横須賀子どもスタンダードの取組が始まってから5年が経過するため、小学校校長会や児童指導担当者の意見も参考にしながら平成30年度に改訂を行う必要がある。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

○横須賀子どもスタンダードの取組を効果のあるものにするため、配布と説明をセットにして各家庭に周知し、継続的に進めたことは評価できる。今後もその効果に関する検証を図り、柔軟な姿勢で改善を重ねていくために、家庭と学校の双方の生活が具体的に変化したり良好に維持されたりする事例、状況を調査し把握していく必要がある。

8. 今後の改善策

○横須賀子どもスタンダードの取組の効果について、学校や横須賀市PTA協議会を通して保護者から情報を得ながら検証を図る。

○横須賀子どもスタンダードについて平成30年度に改訂し、周知を図る。

No. 8	事業名	児童生徒健康・体力向上推進事業
-------	-----	-----------------

1. 基礎情報

2. 事業の概要

対応する重点課題	重点課題1:学校・家庭・地域の連携推進 重点課題2:学力・体力の向上	市内全体の児童生徒の健康体力、運動習慣の状況について把握します。それぞれの調査結果を検証、対策について検討し、それぞれの調査結果や相関関係を児童生徒及び保護者に提供します。
掲載編	スポーツ編	
関連目標	目標1:子どもの生活習慣を改善し、体力の向上を図ります	
関連施策	施策(1):生活習慣の改善及び健康・体力づくりの推進	
担当課	保健体育課	

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
横須賀市児童生徒健康・体力向上推進委員会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
体力・運動能力調査	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <p>○調査結果をもとに様々な方策を検討し取り組んだ結果、本市児童生徒の体力は緩やかな上昇傾向にあるが、依然として全国平均値と比較すると劣っている。</p> <p>○新体力テスト(注:66)実施時に、事前に十分指導したり、実施環境を整えるなど、児童生徒が能力を最大限発揮しやすいようにするための指導法が定着していない。</p> <p>○自校の児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の実態を分析し、学校教育全体で取り組んでいるところが少ない。</p> <p>【改善点】</p> <p>○研究委託校の実践の中で、効果が立証された事例について、各研究会と協力して市内へ波及させた。</p> <p>○本市独自調査を継続して実施し、本市全体の傾向を分析して市内に情報発信した。</p> <p>○各学校における「体力向上プラン」の作成を推進するため、資料提供した。</p>

5. 実施内容

<p>○平成27年度から実施している、市内公立学校の小学校3年生から中学校3年生までの全児童生徒を対象とした本市独自調査である「横須賀市児童生徒体力・運動能力、運動習慣等調査」を平成29年度も実施した。結果は、各個人、各学校(学年)、市全体の別に集計分析し、それぞれに還元した。</p> <p>○学識経験者を交えた「横須賀市児童生徒健康・体力向上推進委員会」を開催し、健康・体力向上に係る課題とその解決のための方策について協議した。さらに、4つの担当部会で具体的な取組について検討し、その内容について「横須賀市体力づくり実践研究発表大会」で報告した。</p>

6. 成果、効果及び課題

【成果、効果】

○平成26年度以前は、国や県が実施する特定の児童生徒のみ(指定された学年や抽出された児童生徒)を対象とした調査結果から状況を分析するしかなかったが、本市独自調査を行うようになり、本市の児童生徒の実態をより正確に把握することができるようになってきている。

○体力等調査の結果からは、学年や男女の別によって相違はあるものの、総じて緩やかな上昇傾向が見られた。特に女子においては、多くの学年で本市独自調査開始以来最も高い値を示した項目が多くあった。

○運動やスポーツ、体育・保健体育科の授業に対する肯定的な捉え(好き、大切、楽しい等)は、全国の平均値と比較するとほぼ同水準であった。

【課題】

○全国的にも指摘されている運動習慣の二極化については、本市においてもその傾向が顕著であった。

○運動やスポーツ、体育・保健体育科の授業に対する肯定的な捉え(好き、大切、楽しい等)は、全国の平均値と比較するとほぼ同水準であるが、学年が上がるとその割合が減少する傾向があった。

○朝食の摂食状況や睡眠時間など、望ましい生活習慣が確立されていない児童生徒の割合は、全国の平均値と比較すると高い傾向が見られた。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

○児童・生徒の体力・運動能力、運動習慣等の二極化、あるいは基本的な生活習慣の未確立の実態が報告されている。特に後者の問題は学校教育からのアプローチには限界があり、各家庭・保護者の自覚と継続的な働きかけが不可欠である。他市の取組等を積極的に参照するとともに、持続的な取組を期待したい。

○体力・運動能力、運動習慣等調査は、児童生徒の実態把握、目標設定、課題解決、評価において有効であり、体力上昇を確かなものとするためにも本年度と同規模の調査を継続実施することが必要である。

○総合判定不能率を低下させることによって、調査結果をさらに有効活用できると考える。小学校から中学校移行時に大幅に上昇することについて検討が望まれる。

○調査結果から、小中学生共に体育授業の充実、中学生においては朝食の摂取状況が体力向上の重要な要素であることがうかがえる。

○学力、生活習慣、活動の場等の学校・家庭・地域が抱える他のテーマと体力・運動能力調査結果の関連についての分析結果を学校のみならず保護者を含め広く共有することが重要と考える。

(教育委員の意見)

○体育の授業では、例えば繰り返しタイムを計るのみではなく、走り方や練習方法を指導する等、子どもがより興味を持って取り組めるように指導法を工夫していただきたい。

○小学校入学前の外遊びの実施状況がその後の運動習慣につながるという分析もある。幼児期へのアプローチを行う必要があるのではないか。

○小学校においては、近隣の中学校の教員も含め、専門の指導者を授業に呼ぶことも効果があるのではないか。

8. 今後の改善策

○児童生徒の健康・体力に関する課題解決を図るための取組を、学校教育全体を通じて計画的に行うよう推進し、望ましい運動習慣の定着を図る。

○体育的活動の充実と、体育・保健体育科の授業改善に取り組み、児童生徒の「運動やスポーツに対する肯定的な捉え」を涵養する。

○学校が主体となって家庭や地域と連携・協働し、児童生徒の望ましい生活習慣の定着を図る。

No. 9	事業名	学校評価推進事業
-------	-----	----------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題1:学校・家庭・地域の連携推進 重点課題4:学校の教育力向上	学校が学校評価を適切に実施し、教育活動や学校運営の充実・改善を図ることができるよう、学校評価の推進に努めます。
掲載編	学校教育編	
関連目標	目標2:学校の組織力や教職員の力を高めます	
関連施策	施策(6):学校運営改善の充実	
担当課	教育指導課(教育指導課及び教育政策課)	

2. 事業の概要

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校評価に関する指導・助言	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
学校評価の在り方の検討・実施	計画	検討	実施	実施	実施
	実績	検討	実施	実施	実施
学校評価アンケート調査集計業務委託	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校評価への理解や意識において、学校間の差が見られ、一部の学校では取組が形骸化してしまっていた。 ○担当者が年度末に実施されており、外部アンケート活用推進等の視点で時期に課題があった。 <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○担当者会の開催時期を5月に変更した。 ○担当者会において優れた取組の紹介や夏季研修講座の実施等を通して、取組に対する啓発を図った。

5. 実施内容

<ul style="list-style-type: none"> ○各学校から提出された学校評価に係る報告書を基に学校訪問を行い、学校の捉えている課題に対しての指導助言を行った。また、各学校から提出された学校評価の報告書を基に、優れた取組を発信した。 ○学校評価に関する夏季研修講座を設定し、外部講師を招いた講義・演習を行った。 ○学校評価に係る外部アンケートの集計業務について業務委託を行った。

6. 成果、効果及び課題

<p>【成果、効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○担当者会の実施、開催時期の変更や夏季研修講座の実施により、学校評価の取組に対しての理解を深めると共に、啓発を図ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校評価への理解や意識については、学校間の差がまだ見られるので、引き続きその解消に向けての方策を検討する必要がある。 ○外部アンケート集計に関して、学校によっては年間2回(中間検証・年度末検証)の集計を希望する学校があり、今後その傾向が強まる場合には予算要求をしていく必要があると考えられる。 ○学校評価の在り方について検討を行っていく必要がある。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

○中間検証と年度末検証を踏まえた評価を希望する学校が増えてきたことは望ましい傾向である。こうした積極的な姿勢を支持し、完全実施できるよう予算措置を図る必要がある。学校評価は何のためにあるのか、その目標設定を焦点化させる際に、その調査の目的と効果の見通しについて学校関係者が自覚し、教職員間で共有化を図っていくことが肝要である。校長会を通じて課題を共有し、各学校でも教職員間で一層の共通理解を図るよう進めていってほしい。

8. 今後の改善策

○担当者会の在り方も考えた上で、管理職や総括教諭といった学校運営を中心的に担う立場の職員への啓発を十分に図る。

○必要と考える学校がすべて中間検証、年度末検証の2回のアンケート集計ができるよう、業者委託の予算措置について検討する。

○担当者会や研修の持ち方、実施の仕方の改善・充実を図る。(現状は学校評価の概説を中心とした講義中心の研修になっているが、各学校における学校評価の成果と課題を踏まえたディスカッション等の実施など、参加する教員にとって、より効果の期待できるものとしていけるように検討したい。)

No. 10	事業名	学力向上事業
--------	-----	--------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題2:学力・体力の向上
掲載編	学校教育編
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
関連施策	施策(1):教育活動の充実
担当課	教育指導課・教育研究所・教育政策担当(教育政策課・教育情報システム室)

2. 事業の概要

「横須賀市学力向上推進プラン」に基づき、学力向上の取組の充実を図ります。また、教員の授業力向上や人材育成を進めるための学校組織の活性化を推進します。

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
各学校が作成する「学力向上プラン」充実のための指導主事(注24)の派遣	計画	派遣	派遣	派遣	派遣
	実績	派遣	派遣	派遣	派遣
学力向上推進担当者会(総括教諭等学校運営推進者連絡会)	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
学力向上推進モデル校	計画	設置	設置	設置	設置
	実績	設置	設置	設置	設置
学力向上サポートティーチャー(注25)	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置
家庭学習啓発リーフレット	計画	配布	配布	配布	配布
	実績	配布	配布	配布	配布
家庭学習用データベースバンク	計画	整備	整備	整備	整備
	実績	整備	整備	整備	整備
横須賀市学力向上推進委員会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
教育フォーラム	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
横須賀市学習状況調査(注26)	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
横須賀の学力向上について調査・研究(研究会(注27))	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
学力向上をねらいとした研修体系	計画	充実	充実	充実	充実
	実績	充実	充実	充実	充実
教師力アップ(注28)プロジェクト	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
横須賀総合高等学校でのサテライト授業	計画	開設	開設	開設	開設
	実績	開設	開設	開設なし	開設なし

(計画と実績が異なる場合の理由)

横須賀総合高等学校でのサテライト授業については、受験サプリに変更後、学校側の使用状況を踏まえ、平成29年度は事業として行っていない。(サテライト授業は外国語と小論文の授業について実施されていたが、受験サプリは全教科が配信されており、また、サテライト授業よりもはるかに安価であることから、サテライト授業のニーズがなくなった。)

4. 前回の課題及び改善点

【前回の課題】

- 各事業・学力向上に関わる学校の取組がどのようにつながり、構造化されているかといったことが明確でないため、各事業の趣旨等が学校に十分に理解されていない。
- 学校重点プランの精度について、学校間で差がある。
- 学力向上推進委員会の位置付けが曖昧である。
- 横須賀の学力向上の調査・研究については、全国学力学習状況調査の結果分析より、「一般化につながらない知識」「条件を読み取る力の不十分さ」「課題・問題に逃げずに挑もうとする意欲の低さ」といった課題がある。

【改善点】

- 学力向上推進プランを中心として、横須賀市の学力向上の取組について、その詳細がわかるものを作成した。
- 学校重点プランについては、担当者会や学校訪問において、各学校への指導・助言を行った。
- 学力向上推進委員会の開催目的について再度整理した。
- 横須賀の学力向上に関する調査・研究については、国語科を中心に研究を進める中で、各学年の指導事項を整理し、一覧表にした。
- 学力向上をねらいとした研修体系については、経験年数に応じた研修に、より学力向上につながるような授業づくりについての内容が入るように、研修内容の見直しをした。

5. 実施内容

- 学校重点プランへの指導・助言について、年間3回ある学校担当指導主事の学校訪問において、教育指導課内で共通理解のもと、指導・助言を行った。また、学力向上担当者会において、市内の進んだ取組について紹介し、各学校の取組の推進につなげた。
- 家庭学習用データベースバンクについては、平成24年度の小学校PC教室更改時に、4教科(国語、算数、理科、社会)を整備したのを始めとして、平成27年度には中学校、特別支援学校に5教科(国語、社会、数学、理科、英語)を整備し、全校への整備を完了した。
- 学力向上推進委員会については、横須賀市の学力向上の取組の中心となる学力向上推進プランの策定を行う委員会として位置付けた。それに伴い、学力向上推進プランの策定を諮問し、横須賀市の実態を踏まえた学力向上の全体構想図及び目標指標の答申が行われた。学力向上推進プランを作成し、平成29年度末に各学校に配布を行い、その取組への理解を図っている。
- 横須賀の学力向上に関する調査・研究については、児童生徒主体の授業づくりの中で言語活動を充実させ、実績をあげた学校の元校長を講師として招聘し、授業実践につなげた。
- 学力向上をねらいとした研修体系については、夏季の選択研修の中に、学力向上をねらいとしたものを位置付けた。また、基本研修でもよりよい授業づくりの実践につなげられるような講義を実施した。

6. 成果、効果及び課題

【成果、効果】

- 学力向上推進プランについては、横須賀市の目指す方向性として目標が具体的に示され、その目標実現に向けて、学校の取組、市の施策・事業が位置付けられ、構造化が図られた。
- 学校重点プランへの指導・助言によって、プランの精度が上がった学校が増えている。
- 学力向上推進委員会について学力向上推進プランの策定を目的とし、位置付けを明確にすることで、委員会内の協議も焦点化され、横須賀市の実態を踏まえた学力向上全体構想図及び目標指標の答申が行われ、学力向上の方向性が明確となった。
- 横須賀の学力向上について調査・研究については、授業実践を行うことで全市に発信すべき内容を検討し、次年度完成させる授業づくりガイドの検討につながった。
- 学力向上をねらいとした研修体系については、よりよい授業づくりのための視点が明らかになり、受講者が自分の授業を見直すポイントが明らかになった。

【課題】

- 学力向上推進プランを中心として、横須賀市の学力向上の取組について、教職員一人一人にしっかりと理解を図ることが課題となる。
- すべての学校へ啓発しきれていないことから、学校重点プランを中心として、課題と捉えられる学校へのアプローチの仕方を考えていく必要がある。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

○学校重点プランへの指導主事によるきめ細やかな指導・助言体制が確立され、校内授業研究の推進者及び研究授業者などが資質・能力を伸ばし、授業力をはじめ教職専門性を更新させていく事例は多い。しかし、各学校内には依然としてベテラン教員層の研究姿勢の低調さ、若手教員層の研究的姿勢の不足などが指摘されている。教職員一人一人への啓発をいかに図るか、校内研究も「チーム学校」としての取組が求められていることを前提に、その実現に向けた検討を進めていただきたい。

(教育委員の意見)

○指導主事による学校訪問時の指導を、できるだけ全教員に対して行っている点はとても良い。現場の教員同士がディスカッションできる時間があればさらに良い。
○学校間で学力向上の取組に差があるということだが、個別の学校に対して踏み込んでいくためには「他の学校はここまでやっている」という資料やデータを示した方が、各学校の気づきも早いのではないかと。
○授業のチェック表(授業の視点)はせっかくあるものなので、指導主事や教員が使用を徹底し、充実し、広めていくべきである。また、授業の最後の振り返りの部分を活用し、授業評価につなげていくという取組もあるので、検討してもらいたい。
○子どもの自己肯定感などに関する調査は、1度だけでなく、回を重ね、どのように変化しているかが重要。また、子どもの意識と教員の意識が違う場合には、その理由をきちんと精査することに意味がある。

8. 今後の改善策

○学力向上に関する教職員一人一人への啓発については、学力向上推進プランについて、学校担当指導主事がそれぞれの学校を訪問し、教職員に向けた説明を行い直接伝える機会を持つことによって、学力向上に対する意識を高める。また、校内研究への姿勢については、授業の指導助言ということだけではなく、学校の研究組織に直接かわり、研究の進め方、取組の価値づけを行うことによって、校内研究をもとにした「チーム学校」の取組につなげていく。
○校内研究の「チーム学校」としての取組の一助として、基本研修のプログラムの中に位置付けているペア・グループでのOJT研修の推進を継続していく。また、基本研修内での授業づくりについての研修内容や、校内研修推進者・ミドルリーダーを育成するための研修内容の更なる充実を図る。夏の選択研修では、引き続き、学力向上を狙ったテーマを設定していく。

No. 11	事業名	小中一貫教育(注6)推進事業
--------	-----	----------------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題2:学力・体力の向上 重点課題3:いじめ・暴力・不登校の未然防止と 早期解決	小中学校の教職員が義務教育9年間で児童生徒を育てるという意識をもち、児童生徒や地域の実態をもとに共通の教育方針を設定するなど、小中で一貫した教育の充実に取り組みます。
掲載編	学校教育編	
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします	
関連施策	施策(5):校種間連携の推進	
担当課	教育指導課(教育指導課及び教育政策課)	

2. 事業の概要

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小中一貫教育推進校	計画	設置	設置	—	—
	実績	設置	設置	—	—
ブロックにおける小中で一貫した教育の充実	計画	—	—	実施	実施
	実績	—	整備	実施	実施

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員や保護者には小中一貫教育の理解が進んでいるものの、市民への理解が進んでいない。 ○ブロックによって、その取組に差が見られる。 ○児童生徒の発達を理解した指導が十分に行われているとは言えない。 <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民に向けたリーフレットを作成し、発信した。 ○中学校ブロックごとに担当指導主事が関わる中で、取組の充実を図った。 ○「小中の学びをつなぐ指導資料」を活用し、取組に対しての指導・助言を行った。

5. 実施内容

<ul style="list-style-type: none"> ○「輝け！横須賀の子どもたち」等の広報紙において、小中一貫に関わる記事を掲載し、市民に向けた発信を行った。また、小中一貫及び新学習指導要領に関わる市民向けリーフレットの作成を行った。 ○担当指導主事が各ブロックの小中一貫教育の取組だけでなく、その推進委員会等に関わり、それぞれのブロックの取組に対して、助言を行った。

6. 成果、効果及び課題

<p>【成果、効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○担当指導主事の関わりによって、市内ブロック全体的にその取組が充実してきている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民に向けた小中一貫教育の理解については、浸透しているとは言えず、作成したリーフレットの配布やその活用方法について今後検討していく必要がある。 ○各ブロックが作成している小中一貫教育全体構想図への担当指導主事による助言をし、中長期的な見通しを持たせる必要がある。

7. 学識経験者等の意見

<p>(学識経験者の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○なぜ小中一貫教育が必要であるか。さらに9年間の成長・発達の見通しの中で児童・生徒一人一人に対する丁寧な見とりと支援が必要不可欠であるという点が、必ずしも十分には教職員に浸透していないことが危惧される。また、ブロック間の取組と意識の差異は大きく、具体的な効果をあげているブロックの実践事例を市内全校に直接的に公開し紹介する機会を図るなど、小中一貫教育が形骸化しないよう注視し続ける必要がある。また市民への広報活動、さらには学校公開活動など積極的な工夫が必要な時期に来ているように考えられる。

8. 今後の改善策

- ブロック担当指導主事(以下「ブロック担当」という。)が小中一貫教育全体構想図への助言を含め、各ブロックの進め方の部分についても関わり、小中一貫教育の価値について理解を深めることにつなげていく。
- 取組が進み形骸化するというのが一番の課題と捉え、ブロック担当が各ブロックの状況について把握し、その状況にあった指導助言につながるよう、ブロック担当同士の情報共有を綿密に行っていく。
- 市民への広報活動については、引き続き「輝け！横須賀の子どもたち」等の広報紙を活用したり、積極的に保護者への周知を図るよう、ブロック担当から各学校へ働きかけをしていく。

No. 12	事業名	支援教育(注7)推進事業
--------	-----	--------------

1. 基礎情報

2. 事業の概要

対応する重点課題	重点課題3:いじめ・暴力・不登校の未然防止と早期解決	支援や配慮を必要とするすべての子どもの教育的ニーズに対応し、一人一人の子どもの学校生活を充実させることで、総合的な支援教育を推進します。
掲載編	学校教育編	
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします	
関連施策	施策(2):支援教育(注7)の充実	
担当課	支援教育課	

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
横須賀市支援教育推進委員会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
相談支援チーム連絡会議	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
各種介助員(注21)	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】 ○学識経験者から、障害者の権利に関する条約「第二十四条 教育」において位置付けられている「個人に必要なとされる合理的配慮が提供されること」を実現させるために、継続的に人的物的資源の確保と活用が必要であるとのご意見をいただいた。また、就労に関する充実した協議・検討の必要性に関してもご意見をいただいた。 ○各種介助員については、一層の増員など優先的な課題として取り組む必要があるとのご意見をいただいた。</p> <p>【改善点】 ○横須賀市支援教育推進委員会では、よりよい学校教育の取組につなげるため、「支援教育推進プラン(後期)」の策定にあたり、専門的な視点からの幅広い意見をいただくことができた。相談支援チーム連絡会議では、乳幼児期から学校卒業後にわたって配慮の必要な子どもを支援するため、教育・福祉・保健・医療・労働等からメンバーを選出し、各機関が一体となってネットワークづくりや具体的な方策について協議が行えるようにした。また、特別支援学級担任の「就労」に向けての意識の向上が必要であり、特別支援学級担当者会で相談支援チーム就労部会より「就労に向けての早期からの取組」というテーマでの研修を実施した。 ○各種介助員については、学校の実情に合わせて途中で配当時間数を増やす等、柔軟な対応を行った。</p>

5. 実施内容

<p>○横須賀市支援教育推進委員会は、本市の児童生徒の実態やいじめ・不登校の現状を踏まえ、支援教育推進プラン行動計画の進行管理を行った。また、支援教育推進プラン(後期)の策定に向けた協議を行った。</p> <p>○相談支援チームの取組の一環として、特別支援学級担当者会では「就労に向けての早期からの取組」というテーマで就労相談部のメンバーが早期からの大切さを伝える時間を設けた。</p> <p>○各種介助員については、特別支援学級介助員、教育支援臨時介助員、宿泊を伴う学校行事の臨時介助員の配置を行った。各学校で研修を実施するなどして、児童生徒の理解を深めるようにし、一人一人の教育的ニーズに寄り添う支援ができるように努力した。</p>

6. 成果、効果及び課題

【成果、効果】

- 支援教育推進プラン(後期)の策定に向けた協議では、専門的な視点からの幅広い意見を伺い、「支援教育プラン(後期)」の策定に反映させることができた。
- 相談支援チーム連絡会議では、特別支援学級担当者会で、就労相談部から、「就労に向けての早期からの取組」というテーマで研修を実施し、教職員の知識や意識を高める一助となった。

【課題】

- 今後も特別支援学級担当者会等を利用し継続的な研修が必要である。
- 引き続き、インクルーシブ教育システムの構築に向けた具体的な取組の検討や発信をしていく必要がある。
- 各種介助員の増員や配当時間数の増加に関する要望は大変多い。効果的な運用や活用ができるように今後も検討を続けていくとともに、人数や時間数の充実をさらに図っていく。
- 支援教育推進委員会では、今後も専門的な視点からの幅広い意見をいただきながらプランの実現に向け、進行管理を行っていく必要がある。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

- 「就労に向けての早期からの取組」を基調にした研修の実施は今後も継続していく必要がある。学校と保護者の双方から強く要望されている各種介助員の増員や配当時間数の増加など、予算化を図りつつ優先課題として取り組んでいく必要がある。

8. 今後の改善策

- 「企業見学会」と「就労支援のための合同学習会」を実施し、特別支援学級担任が就労に向けた意識をもつことができるように進める。
- 支援教育推進委員会や相談支援チーム連絡協議会については、すべての子どもに対する支援教育の推進及び充実を図るため、医療、保健、福祉、教育、労働等の各機関や専門家など、幅広い分野から委員として参加していただいている。引き続き、支援教育推進プランに基づいた施策の具体的な方策についてご意見をいただき、総合的な検討を行っていく。
- 要望が出ている介助員の増員や配置時間数の増加については、実態に応じた配置ができるよう取り組んでいく。
- 個々の教育的ニーズに対応し、校内資源の上手な活用や関係諸機関との連携等も含めて今後も充実した支援体制を整えていくことができるよう、指導助言を行っていく。

No. 13	事業名	いじめ・不登校(注3)対策事業
--------	-----	-----------------

1. 基礎情報

2. 事業の概要

対応する重点課題	重点課題3:いじめ・暴力・不登校の未然防止と早期解決	いじめ・不登校等の未然防止、不登校状態の改善及び学校内外での児童生徒の居場所づくりを目指し、NPO(注29)などと連携を図った活動を展開し、総合的ないじめ・不登校対策を推進します。
掲載編	学校教育編	
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします	
関連施策	施策(2):支援教育(注7)の充実	
担当課	支援教育課	
備考	詳細は①～④に掲載	

No. 13-①	事業名	①相談員等派遣事業
----------	-----	-----------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題3:いじめ・暴力・不登校の未然防止と早期解決	子どもとの日常的なふれあいや相談等を通じ、いじめ等の問題行動や不登校の未然防止、早期発見、早期対応、学校内での児童生徒の居場所づくりを目指し、総合的な支援策を推進します。
掲載編	学校教育編	
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします	
関連施策	施策(2):支援教育(注7)の充実	
担当課	支援教育課	

2. 事業の概要

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ふれあい相談員(注10)	計画	全小学校に配置	全小学校に配置	全小学校に配置	全小学校に配置
	実績	全小学校に配置	全小学校に配置	全小学校に配置	全小学校に配置
登校支援相談員(注10)	計画	全中学校に配置	全中学校に配置	全中学校に配置	全中学校に配置
	実績	全中学校に配置	全中学校に配置	全中学校に配置	全中学校に配置
小中学校スーパーバイザー(注32)	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置
学校・フリースクール(注33)等連携協議会	計画	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
	実績	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
ハートフルフォーラム 進路情報説明会・不登校相談会	計画	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催
	実績	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <p>○依然として不登校の出現率は、国・県と比べて高い状態にあり、不登校に対する各学校、教職員の意識の向上が必須である。</p> <p>○学識経験者からは、不登校児童生徒の出現率の高い学校にみられる特徴や実態を明らかにするとともに、改善に効果をあげた学校の具体例を全教職員で共有することから支援教育の共通基盤形成に努めていくことが重要であるとのこと意見をいただいた。</p> <p>【改善点】</p> <p>○教職員と連携して不登校児童生徒を生まない学校づくりを推進した。</p> <p>○支援会議等で個別対応が必要な児童生徒の支援の方向性まで決定することや、特に不登校傾向のある児童生徒の居場所づくりの改善に努めた。</p>

5. 実施内容

<p>○相談員・学校スーパーバイザーについては、学校スーパーバイザーによる相談員研修を行い、相談員の資質向上に努めた。また、相談員と支援教育コーディネーターの合同研修を行い、不登校児童生徒を生まない学校体制づくりについて理解を深める機会を設けた。</p> <p>○不登校児童生徒への対応で成果を上げている学校の取組について、支援教育コーディネーター連絡会で実践報告をした。</p>

6. 成果、効果及び課題

【成果、効果】

- 教員や相談員に対する研修を通して、不登校児童生徒に対する理解と具体的な対応策を学ぶことができた。
- 効果のあった取組を各校の支援教育コーディネーターが共有し、それぞれの学校の実態に応じた取組を考えることができた。

【課題】

- 学校スーパーバイザーによる相談員訪問の時間が不足した。理由は、経験の浅い相談員が増えたこと、学校スーパーバイザーの他の業務に携わる時間が増えたことが挙げられる。
- 引き続き、不登校を生まない学校づくりの視点での取組の強化が必要である。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

- 不登校児童生徒の出現率の高い学校、一方その改善に効果をあげた学校の取組の事例双方の周知を図る必要がある。内容の公開にはプライバシー保護等の十分な配慮を要するが、こうした具体事例を全教職員で共有し、支障解消や条件整備を全市的に進めるべきである。また、学校スーパーバイザーによる相談員訪問の時間不足、相談員自身の経験不足にどう対処するか、至急検討・改善を図る必要がある。

(教育委員の意見)

- 支援教育コーディネーターの動きがあまり見えない。
- 支援教育コーディネーターと相談員の研修会は、ただ講義を聞くだけではなく、研修方法をもう少し工夫した方がよい。
- 支援会議の質をもう少し高められるよう、力を入れてもらいたい。
- 子どもの居場所づくりという点で相談員は重要。ただ、月8回という派遣回数には少ない。教員がお願いしたいときに相談員がいない、という状況でなかなかつながっていかない。時間や日数が増えると良い。
- 不登校の問題について、友達が迎えに行ったら登校したという事例もある。子ども達を迎えに行かせることは教員にとっても難しいことだと思うが、積極的にトライしてほしい。
- 不登校の大きな要因が小学校と中学校のギャップであるということは以前から問題となっている。解決策がなかなか見つからない中で、対処的な施策と抜本的な施策をどう選り分けていくかが課題だと思う。
- どの小学校からどの中学校に進むと不登校の出現率が高いのか、ということが分かれば、小学校、中学校それぞれで気をつけなければならない事などの課題がはっきりしてくるのではないかと。

8. 今後の改善策

- 学校スーパーバイザーによる学校訪問の時間を確保する。
- 各校に横須賀市全体と自校の不登校の出現率を伝え、現状の把握をし、自校における不登校対策の取組に活かせるよう、指導助言を行う。
- コーディネーター連絡会や児童生徒指導担当者会等で、不登校対策の取組の共有とともに、新たな不登校を生まない学校づくりという視点での研修を実施する。
- 支援教育コーディネーターの経験年数の差が大きいので、講義形式の研修方法もやむを得ないこともある。講義形式以外では、他職種でグループを組み情報交換を行ったり、子どもの例を挙げて支援の対応方法を検討する事例検討を行ったりもしている。今後も支援教育コーディネーターが学校の支援の中心として活躍できるような研修を実施していく。
- 相談員の資質向上については、研修の持ち方や内容について検討する。
- 相談員の派遣回数については、学校や子ども、保護者の相談ニーズに応えられるよう、時間や日数が適当か検討する。

No. 13-②	事業名	②相談教室運営事業
----------	-----	-----------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題3:いじめ・暴力・不登校の未然防止と早期解決	不登校(注3)の児童生徒が通室する相談教室(注34)を市内5カ所で運営し、不登校状態にある児童生徒の支援を推進します。
掲載編	学校教育編	
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします	
関連施策	施策(2):支援教育(注7)の充実	
担当課	支援教育課	

2. 事業の概要

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
相談教室	計画	7教室運営	7教室運営	7教室運営	7教室運営
	実績	7教室運営	7教室運営	7教室運営	7教室運営
相談教室担任、相談員	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置
相談教室カウンセラー	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】 ○不登校児童生徒の中で、相談教室につながる児童生徒が少ない点、また、つながっても通室ができない児童生徒がいる点が課題であり、相談教室の周知並びに担任及び相談員の資質向上が必要である。 ○学識経験者からは、相談教室の各担任・相談員に適切な相談・支援の手当てをすることは重要で、ようやくつないだ児童生徒が継続して教室に通えるかは各担任・相談員のスキルはもとより資質能力の向上と精神的な余裕が不可欠である、今後も担当指導主事やカウンセラーの教室訪問や研修によって、支援方法等に対する指導助言と日常的な相談を重視してほしい旨のご意見をいただいた。</p> <p>【改善点】 ○相談教室紹介ファイル(写真入り)を作成し、全小中学校に配布し、教職員・児童生徒・保護者に教室の具体的なイメージを持ってもらえるように努めた。また、担当指導主事と相談教室カウンセラーが教室訪問をし、支援方法等に指導助言を行ったり、全体での研修を実施し、相談教室の担任、相談員の資質向上に努めた。</p>

5. 実施内容

<p>○相談教室紹介ファイル(写真入り)を作成し、全小中学校に配布した。 ○相談教室全体研修で相談教室の役割や子どもとの関わりを学んだり、教室ごとに通室している児童生徒の支援方法についての事例検討会を開催した。</p>

6. 成果、効果及び課題

<p>【成果、効果】 ○相談教室紹介ファイル(写真入り)を作成し、教職員・児童生徒・保護者に教室の具体的なイメージを持ってもらえるようになり、それがもとで通室につながった児童もいた。 ○相談教室全体研修と教室ごとの事例検討会を通して、担任・相談員の資質の向上を図ることができた。</p> <p>【課題】 ○相談教室紹介ファイル(写真入り)が更に活用されるよう、内容や活用方法の見直しを行う必要がある。</p>

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

○相談教室紹介ファイルの工夫など、その場が支援を必要とする児童生徒にとって必要で快適な居場所ともなることを積極的に伝えていきたい。また事例研究会の成果、その内容等は教室担当教員・相談員ばかりでなく、市内全教員の専門的知識・見識として共有されるような広め方が工夫されるとよい。支援を要する児童生徒への合理的配慮と相談的な関わりは、教員としての最低限の資質・能力として受け止められなければならない。

8. 今後の改善策

○外部機関につながる事が難しい児童生徒や保護者に対して、相談教室紹介ファイルの活用や、相談教室の見学受け入れ等を積極的に行い、まずはどこかにつなげるようにする。

○教室ごとに行っている事例検討会を、相談教室全体研修や他の相談員研修等で共有できるよう検討する。

No. 13-③	事業名	③いじめ対策事業
----------	-----	----------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題3:いじめ・暴力・不登校の未然防止と早期解決	「いじめ問題」に関して、子ども一人一人の教育的ニーズに対応する支援教育(注7)の視点でシステム作りを進めます。特に学校での児童生徒の相談窓口の設置、カウンセリングなどを中心に、いじめ暴力等の問題行動の未然防止、早期発見、早期対応を目指します。
掲載編	学校教育編	
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします	
関連施策	施策(2):支援教育(注7)の充実	
担当課	支援教育課	

2. 事業の概要

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校スクールカウンセラー(注9)	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置
中学校スクールカウンセラー	計画	配置(県費)	配置(県費)	配置(県費)	配置(県費)
	実績	配置(県費)	配置(県費)	配置(県費)	配置(県費)
高等学校スクールカウンセラー	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置
スクールソーシャルワーカー(注23)	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <p>○小学校スクールカウンセラーについては、小学校4校にしか配置されていないため、十分に対応できていない。また、スクールカウンセラーを十分に活用していない学校がある。</p> <p>○スクールソーシャルワーカーについては、それぞれのケースに対して、タイムリーにより丁寧に対応できるように増員するとともに、スクールソーシャルワーカーの資質の向上を図る必要がある。また、配置の充実が不可欠であり、予算と人材の確保が必要である。</p> <p>○学識経験者からは、現場が求める確かなニーズに基づき、より必要とされる人材を優先的に考えていくことが不可欠であるというご意見をいただいた。</p> <p>【改善点】</p> <p>○スクールカウンセラーもスクールソーシャルワーカーもそれぞれに専門性があり、どちらもニーズが高い。</p> <p>○スクールソーシャルワーカーについては、スーパーバイザーを配置並びに市の連絡会において事例検討会を実施し資質の向上に努めた。</p>

5. 実施内容

<p>○スクールカウンセラーについては、学校スーパーバイザーや神奈川県教育委員会から派遣されるスクールカウンセラーアドバイザーの学校訪問を実施し、コンサルテーションや研修を通してスクールカウンセラーの資質向上を図った。</p> <p>○スクールソーシャルワーカーについては、スーパーバイザーを配置し、年2回他のスクールソーシャルワーカーを訪問し指導助言を行った。また、事例検討会を実施し、それぞれの資質向上に努めた。</p>

6. 成果、効果及び課題

【成果、効果】

- スクールカウンセラーについては、スクールカウンセラーがカウンセリングやアセスメント、コンサルテーション等を行い、児童生徒、保護者、学校が抱えている問題を解決へと導いている。
- スクールソーシャルワーカーについては、平成28年度からの増員により、以前よりもタイムリーに訪問することができるようになった。

【課題】

- スクールカウンセラーについては、児童生徒、保護者、学校が抱えている問題が多様化、複雑化しており、配置校や活動日数の増加が必要であると考ええる。
- スクールソーシャルワーカーについて、増員の具体的な効果検証が必要である。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

- 各学校でのニーズに応じて、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの派遣・配置を適切に進めていくよう、今後も予算措置を含めた効果的取組が望まれる。

(教育委員の意見)

- スクールソーシャルワーカーの増員については効果検証をしっかりと行う必要があるが、必要事案が多い学校には状況を見極めながら配当時間を増やすなど、弾力的な運用も必要ではないか。
- 不登校の問題は家庭環境の問題が大きく影響する。それを教員だけで解決することは難しい。だからこそスクールソーシャルワーカー等を活用するのであり、教員はむしろクラスの問題として子ども達と解決方法を話し合うなどに重点を置く方が良いのではないか。教員とスクールソーシャルワーカーや地域社会などと役割分担のバランスを考えながら取り組むのがよい。

8. 今後の改善策

○スクールカウンセラーについて

- ・平成30年度からスクールカウンセラーを4名から6名に増員し、対象となる学校も増やしたので、その効果検証を行うことで、適切な派遣・配置を考えていく。
- ・スクールカウンセラーの役割や活用について、管理職や支援教育コーディネーターに周知していく。

○スクールソーシャルワーカーについて

- ・増員の効果検証を行い、それを基に今後の増員を検討する。
- ・6名が市内の学校を6ブロックに分け担当制で各学校の支援を行っているが、個々の教育的ニーズや発達の段階に寄り添った支援体制が推進されるよう、各学校の状況を把握し、適切な派遣・配置を考えていく。
- ・役割の周知を管理職だけでなく、支援教育コーディネーターや児童生徒指導担当等にも一層進めていく。

No. 13-④	事業名	④教育相談充実事業
----------	-----	-----------

1. 基礎情報

2. 事業の概要

対応する重点課題	重点課題3:いじめ・暴力・不登校の未然防止と早期解決	いじめや不登校等のほか、学校生活における不安や悩み等を解決するための相談を充実させます。
掲載編	学校教育編	
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします	
関連施策	施策(2):支援教育(注7)の充実	
担当課	支援教育課	

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
こどもの悩み相談ホットライン	計画	設置	設置	設置	設置
	実績	設置	設置	設置	設置
相談員(臨床心理士等)	計画	—	配置	配置	配置
	実績	—	配置	配置	設置

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <p>○教育相談について周知され始めているが、家庭と学校との連絡が十分に取れない事への不安や、学校への不満(検査を受けてくるように伝えられたが、納得できていないことなど)を抱えて相談するケースが多い。</p> <p>○相談教室通室までに時間がかかる。</p> <p>【改善点】</p> <p>○教職員へ様々な研修を行い、家庭との話し合いの重要性や教育相談につなげるまでの校内支援の在り方等について、周知を図った。</p> <p>○不登校の相談については、本人・保護者からの話を丁寧に聞き、相談教室を含めた適切な支援を考えた。また、本人・保護者と共に課題を認識しながら、安心して次に進むことができるよう支援することを考え、児童生徒の状況に合わせ、素早く通室につなげられるよう努めた。</p> <p>○関係諸機関との連携を今まで以上に強めた。</p> <p>○相談室の有効利用や相談員の対応時間調整等に努めた。また、相談員の増員も考えた。</p>

5. 実施内容

<p>○平成29年度も、「学校との連携」を教育相談の目標の一つに掲げ、電話連絡、会議等を積極的に行い、各ケースの支援方法について共通理解を図ることを心掛けた。</p> <p>○家庭との話し合いの重要性や教育相談につなげるまでの校内支援の在り方等について、教職員へ様々な研修を行い、周知を図った。また、相談教室通室までの手順については、児童生徒の状況、ニーズに合わせ、見学を先に行う、関係諸機関、医療につながっている場合など、ケースにより手順を変え希望にそえるようにした。</p> <p>○こどもの悩み相談ホットラインの相談は、月・水・金 午前9時より午後5時まで専用電話で小中学生とその家族を対象に専用電話で相談を受けている。希望により学校へ連絡をし、教育相談の来所相談へつなげている。</p>

6. 成果、効果及び課題

【成果、効果】

○平成29年度の相談対応件数は4,690件であった。本人・保護者との面接は1,827件、電話での対応は2,636件、学校や関係諸機関とのケース会議は93件であった。

○こどもの悩み相談ホットラインには91件の相談があった。その約半数は、匿名を望む母親からで、相談内容は子育て、友人関係、担任の先生との関係についてであった。傾聴してくれる人に話せたことで落ち着いて電話を切る保護者が多いが、学校への対応等、教育委員会から学校への指導を求める方もいた。

【課題】

○児童生徒、家庭の状況等を事前に教育相談に連絡する学校が少しずつ増えてきたが、校内での支援会議が十分に行われず、校内資源が活用されぬまま、外部機関に検査や相談を保護者に紹介する学校が多い。そのことが学校と保護者との関係性に影響しているため、平成30年度は、「校内支援体制の充実」を目標とし、「校内委員会」で見立てや支援方法を検討し、組織的に対応することの重要性を学校に周知していく必要がある。

○昨年度、面接室3部屋を新設したが、面接以外の業務と共用しているため、なるべく早く面接を行うことができるよう、面接室の使用について細かい調整を行う必要がある。また、壁を隔てて隣りの部屋の声や電話の声が聞こえてしまうため、相談者への配慮が必要である。

○週3、4日勤務の教育相談員は、面接のみならず、学校と電話での情報交換を行うことで連携を深める必要がある。しかし、その十分な時間を確保することが難しい現状にある。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

○保護者等から伝えられる「学校、教員への不満」の具体的事例を教職員研修で丁寧にフィードバックすることは極めて重要な取組となる。さらに「校内支援体制の充実」「校内委員会」での組織的な対応を図ることも必要なことであろう。ただし、そうした業務が結果として教員の授業に専念する時間を圧迫してしまうことのないよう、本来の役割を担うべき人員の確保については一層の充実に努めていただきたい。

8. 今後の改善策

○「校内支援体制の充実」「校内委員会」で組織的な対応を図るに関しては、各学校の実態に合わせて取り組むことができるように、課内のリソースを利用してもらえるよう働きかける。

○平成29年度は1部屋を他課の業務で利用していたが、平成30年9月より相談業務で3部屋の利用ができるようになるため、保護者と児童生徒との並行面接をできるだけ早く入れることができるよう調整する。また、検査等静かな空間が必要な際は、引き続き、はぐくみかん内の面接室を利用していく予定である。

○相談員が電話で連携を取る時間を学校訪問に利用し、ケース会議の中で役割分担をし、支援の方向性を共に考え、そのケースから他の生徒への支援に応用していくことができるようにする。

No. 14	事業名	人材育成推進支援
--------	-----	----------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題4:学校の教育力向上
掲載編	学校教育編
関連目標	目標2:学校の組織力や教職員の力を高めます
関連施策	施策(8):学校における校内研究・研修への支援の充実
担当課	教育研究所

2. 事業の概要

横須賀市教職員人材育成プランに基づき、集合研修、校内研修、自己啓発などを通して、学び続ける教師の育成を目指します。また、研修の場の充実、学校を訪問しての研修など総合的な指導・助言を図ります。

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
訪問研修	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

4. 前回の課題及び改善点

【前回の課題】

- 英語・外国語活動、道徳科、支援教育、保護者対応などの新たな課題に対する対応が必要である。
- 校内研修を通じたOJTのますますの活性化が必要である。

【改善点】

- 英語・外国語活動、道徳科についてはパワーアップ研修やスキルアップ研修で講座を設け、支援教育については校長・教頭を対象者とした研修を行った。
- 基本研修において校内研修の内容の充実・OJTの活性化に向けての内容を実施した。

5. 実施内容

- 横須賀市フロンティア研究発表会に参加して学ぶ機会を選択研修として設けた。
- 中堅教諭が初任者研修の研究協議に関わり、協議の進め方を学んだ。
- 中堅教諭の研修内容として、校内での還元研修の機会を設けた。
- 1年経験者研修で、校内で自主的に学ぶための研修を位置付けた。

6. 成果、効果及び課題

【成果、効果】

- 別の学校で行われている横須賀市フロンティア研究発表会に参加することで、学校全体で研究を進めていく意識の向上につながった。
- 中堅教諭と初任者の学び合いの機会を設けたことで、双方の学びにつながった。経験年数の違う教諭が同じ授業を見て学び合う研修の良さを実感することができた様子が、受講者の評価用紙の記述からも伺われた。

【課題】

- OJTの推進については、基本研修で「やらなければならない」状態にしているが、効果を感じて自発的に校内で学び合うよう促したい。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

○各学校の教員年齢構成の急激な変化に対応した、総合的な教員研修体系の見直しとその実施が急務となるなか、これまで別々の研修であったものを共同組織化して、異年齢経験者相互の学び合いの場に変換したり、校外の授業研究会への参加を容易にして、自他の授業実践を省察したりする機会を保障するなど、今後もこうした取組を強化すべきである。学び続ける教員の育成は、何よりも教員本人の自律的な姿勢・態度に根差さねば効果は期待できない。市内外各所で、さらに多様な経験者相互に「学びたい」という意欲と向上心を持つことが必ず報われるようなシステムづくりを総合的に構築する時期に来ている。

8. 今後の改善策

○異年齢経験者相互の学びあいの場としての、協同組織化の一例として、本年度は教科指導員の授業を経験年数の異なる教員と一緒に参観し、協議する取組を追加している。他の年次でもそのような取組が可能かどうか、見直しを図っていく。

○多様な経験者が相互に「学びたい」という意欲向上心を高めるために、校内でのOJTの推進を引き続き校内研修に位置付けて、効果の検証を行っていく。

No. 15	事業名	子どもと向き合う環境づくりの推進
--------	-----	------------------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題4:学校の教育力向上	子どもと向き合う時間を確保するために、事務的な業務の効率化を図る手立てを講ずるなど、学校と教育委員会が一体となって取り組むための方策について検討会議などにおいて検討し、教員が子どもと向き合う環境づくりに取組ます。
掲載編	学校教育編	
関連目標	目標2:学校の組織力や教職員の力を高めます	
関連施策	施策(9):教員が子どもと向き合う環境づくりの推進	
担当課	教育政策担当(教育政策課)	

2. 事業の概要

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
子どもと向き合う環境づくりに向けての検討会議など	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	未開催	開催	開催	開催
子どもと向き合う環境づくりに向けた方策の実施	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもと向き合う時間を生み出すために、事務作業の簡素化や効率化、人的支援等を行ってきているが、教職員にとって実感できるほど反映されていない。 ○本市教職員の勤務実態について、具体的な把握がなされていない。 <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員のタイムマネジメントの意識改善につながる取組を進めた。 ○教職員の働き方の実態を把握する調査を行った。

5. 実施内容

<p>○これまでの取組を教職員の『実感』に結びつけていくための方策を検討するため、各学校関係者による「学校業務改善検討会議」を4回開催し、「学校業務改善に向けて」という報告書にまとめた。それを各学校に配布し、教職員のタイムマネジメントの意識向上のために、活用するよう依頼した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市勤務実態調査を実施し、出勤及び退勤時間を把握した。 ○学校で事務作業の効率化を図るために、市教委による依頼や提出文書等をまとめるなどの工夫を行った。

6. 成果、効果及び課題

<p>【成果、効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの取組や平成28年度に作成した「学校業務改善ガイドブック」の活用等によって、学校での事務は簡素化されてきている。 ○事務作業の効率化を図る意識が進んでいる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもと向き合う環境や時間は十分に生み出しているとは言えないため、実態調査を分析し、各校種・職種における課題を明確にする必要がある。 ○本市の教職員の勤務実態は、休憩時間を取得できないほど過密であること、超過勤務の割合が非常に高いこと等が示されたため、業務の精選及び各教職員のタイムマネジメントへの意識向上を図る必要がある。 ○特に、教頭や総括教諭・教諭は多様な業務を行っていることから、本来の職務が十分に行えるような取組を検討する必要がある。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

○教員の働き方改革は急務である。「学校業務改善ガイドブック」等に示されてきた諸点が実際にどのようにして業務改善につながっているのか、子どもに向き合う時間の確保に通じているのか、それが広汎性のあるものとして機能しているのか等々、さらに精緻に実態調査していく必要がある。校長、教頭、総括教諭、教諭の別に、あるいは小学校、中学校等の校種別に、さらに「部活指導」のような問題性が指摘されている領域での精緻な調査など、今後の改革に必要な不可欠な基礎資料を作成して、検討を深めていかなければならない。

(教育委員の意見)

○教頭の補佐として人員を配置している自治体や、書類のコピー、行事の準備、片づけ等を教員でなく業務アシスタントが行っている自治体もある。そのあたりも考える必要がある。

○教員の多忙さは社会的な認識があるので、「午後何時以降は、よほど重大な場合以外は連絡しないでください」と発信し、保護者に理解していただく、ということができるとよい。

○教員は、長時間でも「やりがいがある」と感じている人が多いと思う。教員が悩んだ時に一人に負担がかからないように考えてもらいたい。

8. 今後の改善策

○平成29年に実施した勤務実態調査の結果を、校種・職種別に分析することで長時間勤務の要因を明確にする。

○「学校業務改善ガイドブック」や「子どもと向き合う環境づくり」等で示された取組を再度周知する。

○超過勤務の改善、業務の精選に向け、教職員の働き方改革検討会議及び4分科会(管理職、教員、部活動、事務職員)を設置し、それぞれの立場での具体的な取組を協議する。

No. 16	事業名	子ども読書活動推進事業
--------	-----	-------------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題5:社会教育施設による学習支援の推進
掲載編	社会教育編
関連目標	目標5:図書館・博物館・美術館の活動を充実させます
関連施策	施策(12):図書館活動の充実
担当課	中央図書館・児童図書館

2. 事業の概要

子どもたちを取り巻く家庭・地域・学校などと連携し、子どもの読書活動を推進するための様々な事業を実施します。

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
家庭・地域における子どもの読書活動の推進	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
学校への資料の提供及び情報発信	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
『子ども読書の日』等に合わせたの行事開催やPR活動	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
児童図書館の環境整備	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
(仮称)子ども読書活動推進計画策定検討委員会	計画	—	—	検討準備	第3次計画策定
	実績	—	—	検討準備	第3次計画策定

4. 前回の課題及び改善点

【前回の課題】

○子ども向けの行事やPRによって、児童書の貸出冊数・児童図書館の来館者数は増加してきているが、行事については、子どもたちがより関心を持てるようなものを厳選し、実施していくことが重要である。また、来館者をさらに増やしていくには、子どもたちが居心地がよく、また来たくなるような図書館づくりを目指していくことが重要である。

【改善点】

○行事を厳選し、子どもたちが関心を持ち楽しめるものを実施した。
○館内の飾りつけを季節に合ったものにしたり、絵本などを手に取りやすくするなどの工夫を行った。

5. 実施内容

○家庭・地域における子どもの読書活動の推進について、乳児の保護者にブックスタートパックの配布、保育園・幼稚園・小学生・中学生向けにブックリストの配布等を行った。
○学校への子ども読書活動に関する資料の提供及び情報発信を行った。
○『子ども読書の日』等に合わせた、子どもや親子連れを対象とした行事の開催やPR活動を行った。
○児童図書館の環境整備として、書架整理・絵本の部屋のカーペット部分除菌、外壁塗装及び屋上防水工事等を実施した。

6. 成果、効果及び課題

【成果、効果】

- 横須賀市学校図書館研究会会議や学校図書館担当者会議で市立図書館利用手引の配布や学校特別貸出の説明を行ったので、学校特別貸出の利用校数と利用冊数が増加した。
- 各種イベントの開催や企画展示により、図書館の魅力や読書の楽しさ等をアピールできたため、児童書の貸出冊数増につながった。
- 書架整理・絵本の部屋のカーペット部分除菌等を行うことによって、子どもたちが居心地がよく、また来たくくなるような図書館づくりを推進することができた。

【課題】

- 学校図書館との連携を高めるため、各学校への配送便化により学校特別貸出利用を促進する必要がある。
- ブックスタート時期(幼児期)と学齢期の間を埋める、読書推進活動を実施する必要がある。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

- 放課後や休日、休業期間等に子どもたちが安心して一定時間過ごす場ができ、しかも文化的な経験を豊かにしていくことも可能となるような図書館(博物館、美術館)づくりを目指していただきたい。将来的には、学校図書館よりも中央図書館や児童図書館(学校内併設という形態を含め)の役割の方が予算効率や社会的な公開原則の上からも重要になる。
- それなりの努力がなされ、展開されている。これからも読書推進活動を推進し、課題を克服していくことが当然であろう。
- 乳幼児・児童など発達の度合いによるサービスをめぐって、ヒト・モノ・カネの組み合わせのさらなる発展を期待したい。
- 全国各市との比較をして検討することが求められる。
- 学級・講座から誕生したグループサークル活動と関係する資料提供やレファレンス体制の充実が重要である。そのため生涯学習センター、コミュニティセンターなどとのネットワークの仕組みや連携の内容・方法を常に検討しておく必要がある。

8. 今後の改善策

- 市立図書館と学校図書館の連携を強化するため、学校特別貸出の配送便を新設して、利用の促進を図る。
- 乳幼児から児童への発達の段階に応じた読書推進活動として、3歳児健康診査時に図書館職員が出向いて、3歳～5歳向けのブックリストを手渡し、図書館の利用を促す事業を開始する。

No. 17	事業名	子ども向け博物館教育普及活動の推進
--------	-----	-------------------

1. 基礎情報

2. 事業の概要

対応する重点課題	重点課題5:社会教育施設による学習支援の推進	学校と連携または協力して、児童生徒の学習の場を提供します。
掲載編	社会教育編	
関連目標	目標5:図書館・博物館・美術館の活動を充実させます	
関連施策	施策(13):博物館活動の充実	
担当課	博物館運営課	

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校教育で利用できる企画を開発し、教職員との共同研究を推進	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
「昔のくらし」や「移動博物館」など、学校教育に役立つ展示・企画	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用を希望する学年及び学校のさらなる拡大が必要である。 ○馬堀自然教育園の利用の拡大が必要である。 <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○希望校に対する学芸員の出前授業及び館内展示解説を実施した。 ○園内の自然観察マップを作成した。

5. 実施内容

<ul style="list-style-type: none"> ○9月16日～17日に教育指導課と協力して創意工夫の成果展を開催した。 ○12月14日～19日に「みんなの理科フェスティバル」内で、自由研究の成果展示を実施し、優秀作品に選ばれた小中学生が発表を行った。 ○学校内での使用を希望する場合、随時、資料を貸し出した。

6. 成果、効果及び課題

<p>【成果、効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中学生の発表者に対し、理科や自然への理解を含め、研究に対する達成感を与えることができた。また、小中学生が専門性を身近に感じることで学習や研究に対する意欲を高めたり、実物の資料を見ることで歴史に対する理解を深めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学年ごとの学習内容に合わせた提供資料のメニューを充実させる必要がある。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

○将来的な方向性として、欧米の主要都市にある子ども博物館のような存在を参考にして、博物館自体の在り方を改革しなければならないであろう。博物館自体の魅力が子どもの心をどう捉えることができるかという問題である。そのうえで、今後も学校と博物館との多様な連携事業を工夫し、教員側の博物館活用を想定した授業実践の展開事例を開発していくよう努めるべきである。

○児童・生徒への支援が工夫されている。今後も期待したい。

○学校教育の内容と社会教育との融合について一層望まれる。多様な事業について見直しながら、どのような連携・融合ができるかを模索してほしい。

○博物館事業として

- ・子どもに関する生活資料の歴史展があってもよい。
- ・江戸時代から近代までの間で、特定のテーマを変えながら事業を進めてみることもよいのではないか。
- ・教育美術に関わる事業も重要であろう。
- ・体験的事業がもう少し存在してもよいであろう。
- ・海をテーマにした事業について多様な角度から展開してもよいであろう。

8. 今後の改善策

○指導主事との連携を密にして、学校教育と博物館の行う社会教育との連携を深める。

○子ども向けの歴史企画展の検討を行う。

○子ども向け海洋学連続講座を開催する。

○学校との連絡を密にして、学校ニーズを把握する。

No. 18	事業名	美術館展覧会の充実
--------	-----	-----------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題5:社会教育施設による学習支援の推進
掲載編	社会教育編
関連目標	目標5:図書館・博物館・美術館の活動を充実させます
関連施策	施策(14):美術館活動の充実
担当課	美術館運営課

2. 事業の概要

国内外の近代・現代美術を中心とした展覧会、多数の所蔵作品の紹介、及び集客効果の高い企画展など、幅広いジャンルを対象とした展覧会を開催することで、多くの人々に優れた美術作品と出会い、親しみ、感動を得る場を提供します。

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
企画展	計画	年6回開催	年6回開催	年6回開催	年6回開催
	実績	年6回開催	年6回開催	年6回開催	年6回開催
所蔵品展及び谷内六郎館収蔵作品の展示	計画	年4回開催	年4回開催	年4回開催	年4回開催
	実績	年4回開催	年4回開催	年4回開催	年4回開催

4. 前回の課題及び改善点

<p>【前回の課題】</p> <p>○28年度に引き続き、外国人の観覧者を意識した取組を検討する必要がある。</p> <p>○現在も行っているように博物館や図書館との連携をし、より効果的にお互いの館の活動をPRしていく方法を模索していく。</p> <p>【改善点】</p> <p>○外国人の観覧者を意識した取組を検討し、美術館のホームページなどを利用して、積極的な情報発信を図った。</p> <p>○博物館、図書館各施設と、予算計上の段階から開催事業についての情報共有を図った。</p>

5. 実施内容

<p>○企画展では、「デンマーク・デザイン展」、「美術をめぐる日本の海」、「ぼくとわたしとみんなのtupera tupera 絵本の世界展」、「没後40年 伊藤久三郎展」、「青山義雄展」を開催し、多くの方に優れた美術に触れる機会を提供することができた。</p> <p>○所蔵品展・谷内六郎館はそれぞれ年4回開催し、所蔵する作品をテーマをたてて紹介した。特に平成29年度は開館10周年にあたり、これまで応援して下さった方々への感謝をこめたテーマを設定した。前年度に年間を通じて来館者から好きな作品を選んで投票してもらった市民投票の結果を反映させた。</p> <p>○外国人へのPRとしては、これまで企画展の度に国際交流課が市内在住の外国人向けに発行している英語版情報誌「What's New in Yokosuka」(隔月発行)への企画展概要を掲載していたが、あわせて美術館ホームページにも掲載している。</p> <p>○生涯学習課を中心にして、美術館、博物館、図書館、生涯学習センターとで会議を定期的に行い、お互いの館の活動をPRしていく方法を検討した。</p> <p>○図書館との連携として、「美術をめぐる日本の海」編んだ～わーど展:編み師203gow)に関連して児童図書館発行ブックリスト『どの本よもうかな? 第100号深海探検:もうひとつの宇宙へ』(平成29年6月)を発行、配布した。ブックリスト関連絵本・図鑑100冊の企画展示が図書館で行われた。また学芸員が図書館に赴き、講演会を開催した。</p> <p>○生涯学習センターとの連携として、第41回 横須賀市市民大学 特別講座「マティスと青山義雄」として、学芸員が赴き、講師を務めた。</p>

6. 成果、効果及び課題

【成果、効果】

- 観覧者数は、年間観覧者数11万8千人を超えた。
- 外国人の来館状況は、1,461人で、前年度比2.5%増である。

【課題】

- 引き続き、博物館や図書館、生涯学習センターと連携し、活動のPRを行っていく必要がある。
- 企画展を年6回、所蔵品展を年4回開催し、観覧者数10万人を達成しているが、今後も新しく充実した企画に取り組み、外国人の観覧者も含めて適切な情報発信を行っていく必要がある。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

- 外国人の来館者(旅行者等)はSNS等の情報を活用して行動している。広報をはじめとした情報発信の在り方に、こうした動向を効果的に利用する工夫が求められる。学校教育との関係からは、観光・文化をテーマした総合学習の推進などはあまり考案されておらず、今後の積極的な展開に期待したい。
- 美術館活動の推進は、それなりに政策効果が生じていると捉えたい。
- さらなる外国人へのサービスを充実させていくことが必要である。
- 引き続き、さらなる教育普及活動の推進を発展させたい。

8. 今後の改善策

- 引き続き、外国人の来館者を含めて情報発信を効果的に行う方法を模索していく。その一つとして、現在のホームページを近い将来スマートフォン対応とさせるために、内容、方法を検討していく。
- 博物館や図書館、生涯学習センターと連携し、情報交換を密に行っていくほか、相互の活動の推進、PRを図っていく。

No. 19	事業名	美術館教育普及活動の推進
--------	-----	--------------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題5:社会教育施設による学習支援の推進
掲載編	社会教育編
関連目標	目標5:図書館・博物館・美術館の活動を充実させます
関連施策	施策(14):美術館活動の充実
担当課	美術館運営課

2. 事業の概要

美術への理解を深め、美術館に対して親しみを感じられるように美術館活動基本方針の5つの柱「知的好奇心の育成と充足」「福祉活動の展開」「学校との連携」「市民との協働」「子どもたちへの美術館教育」に基づく教育普及活動を行います。特に、学校等と連携して子どもたちの鑑賞教育を中心とした教育普及事業を充実させます。

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
美術館活動の基本方針に基づくワークショップ、講演会など	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
学校との連携による教育普及事業	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

4. 前回の課題及び改善点

【前回の課題】

- 福祉的な活動における広報面が課題である。
- 学校連携は、教員との継続的な信頼関係が重要である。
- ボランティアの活動についての、モチベーションの維持が課題である。

【改善点】

- 市内の養護学校、点字図書館及び放課後等デイサービスにチラシ配布等の協力を依頼し、福祉的な教育普及活動を積極的に周知した。
- 教員向けの美術館活用講座を4回実施し、学校現場のニーズの把握に努めた。
- ボランティアによる所蔵品展ギャラリートークの実施日・時間等を検討し、実施日を増やした。

5. 実施内容

- 美術館活動の基本方針である5つの柱（「知的好奇心の育成と充実」、「福祉活動の展開」、「学校との連携」、「市民との協働」、「子どもたちへの美術館教育」）に基づき、ほぼ例年並みの45事業を実施した。この事業の平成29年度の延べ開催日数は192日、参加者数は約7,300人（小学校美術鑑賞会参加者3,150人を含む）である。
- 大人向け講演会と子ども向けワークショップの両領域を融合させ、海の広場で開催した「tupera tuperaとビューティフルハミングバードの絵本ライブ」を行った。
- 福祉活動の一環として行った「話して、触って、つくって楽しむ美術館」では、立体コピー機による触察教材を制作し、視覚障害者と晴眼者が一緒に美術作品を鑑賞する取組を行った。
- 教員向けの美術館活用講座を平成29年度から新たに始めた。
- 美術館の年中行事として定着している海の広場を使ったボランティアによるイベントを年3回行った。

6. 成果、効果及び課題

【成果、効果】

○「tupera tuperaとビューティフルハミングバードの絵本ライブ」は、展覧会関連事業としては異色の試みだったが、注目度が高く、387人の参加者を得た。

○「話して、触って、つくって楽しむ美術館」では、視覚障害者や盲学校教員のほか、一般の参加者も加わり、いずれの参加者にとっても新しい体験となった。美術館としても、教材の完成度や、プログラム面での課題を検証する貴重な機会となった。

○ボランティアによるイベントは天候にも恵まれ、3回で合計1,300人以上の参加者を得ることができた。また、ギャラリートークボランティアの活動では、トークの実施日を増やしたことで、各ボランティアの活動頻度の偏りが少なくなり、トークの参加者も前年から約2割増加(449人)するなど、一定の効果が見られた。

【課題】

○昨年度に続き、子どもたちの発達段階や、小中学生各学年の指導要領に合った鑑賞教育の研究及び鑑賞プログラムの作成を進めていき、また、学校との関係を今後とも発展させられるよう、教員向けプログラムを継続的に実施していく必要がある。

○子ども向けの事業の参加者数は例年、安定しているが、対象年齢や内容について、今後も新しい内容に積極的に取り組み、家族層や幼児及び生徒の期待に応えられるよう努める必要がある。

○福祉的な活動について、平成29年度の実績を生かし、視覚障害者のための鑑賞プログラムの充実に、継続的に取り組む。また、点字図書館や障害福祉課等、市の関連部署と連携し、美術館の取組について広く知ってもらえるよう努める必要がある。

○ボランティア活動が活発化し、来館者及び観覧者からの支持も大きくなっている一方で、メンバーの高齢化による負担感の増大が懸念される。平成29年度は、経費的な問題で、新規ボランティアの募集を控えたが、活動の発展のため、新規募集を行う必要がある。

7. 学識経験者等の意見

(学識経験者の意見)

○デザイン思考を取り入れた問題解決的な(美術)授業、市民と協働したワークショップの展開などは、今後ますます重視される市民啓発活動であるとともに学社連携の教育活動でもある。各学校での図画工作、美術あるいは総合学習等が学校内から校外地域に出かけて展開するダイナミックな学習活動が望まれる。しかし現状においては相当に困難さを伴うことも明らかである。教師の側から積極的にアートの専門家、関係者たちと協働作業を進める授業づくりに挑戦する姿が生まれることを願っている。

○教育普及活動について地道に事業の展開がされていると見受けられる。また、多様な試みがなされていることを評価したい。

○この美術館の状況、成果について、市民に一層情報提供していくことが重要であろう。

○今後とも質量ともにバランスのとれた事業を期待する。

○美術館が市民に認められ、そして広く利用されることを期待するのは当然である。そのためにも、多様な市民を対象にどのように展開していくのかについて努力していると見受けられる。

8. 今後の改善策

○学校現場及び教員による美術館活用の促進に向け、教員向け講座をはじめとする情報提供を積極的に行い、働きかけを継続していく。

○今後も、事業ごとの対象設定を的確に行い、個別のニーズをきめ細やかに汲み上げつつ、事業に反映させていく。また、その積み重ねによって、引き続き多様な事業展開を図っていく。

○福祉的な活動については、点字図書館や障害福祉課等、市の関連部署との連携を進め、内容を充実させるとともに、当該サービスを必要とする方への周知に一層努める。

○ボランティア一人一人の負担を軽減するため、新たな参加者を募る。また、そのための経費を確保する。

○教育普及活動に関する市民への情報提供は、事前の広報に偏りがちで、成果を市民に向けて情報提供する機会は少ないのが実情である。SNSのほか毎年刊行している年報等を有効に活用し、より広く興味を喚起するような情報提供に努める。



目

標

指

標

○ 点検・評価報告書の見方（目標指標）

- 1 目標指標（学校教育編）
- 2 目標指標（社会教育編）
- 3 目標指標（スポーツ編）

○点検・評価報告書の見方(目標指標)

学校教育編・社会教育編・スポーツ編の3編に分かれています。

3 目標指標(スポーツ編)

スポーツ編の各目標の施策・事業を展開する上で参考とする指標について、実績値から達成状況を測ります。

各編の各目標の達成状況を測り、施策・事業を展開する上で参考となる指標名を掲載しています。

指標 4	学校施設開放の利用人数 (体育館など)
概要	学校の体育館などの開放施設の利用人数から、地域におけるスポーツ活動の状況を測ります。
関連目標	目標2:だれもが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる機会を充実させます
関連施策	施策(6)スポーツ施設の整備と円滑な管理運営の推進
担当課	スポーツ課

目標値は、平成29年度における本指標の目指すべき値を設定しております。

※目標値は22～24年度の最高値を切り上げた値

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(人)	/			1,447,000
実績(人)	1,412,991	1,441,405	1,372,384	1,358,263
摘要	校庭の改修工事や天候により利用人数の影響を受けることや各団体チームを構成するメンバー数の減少傾向がみられるため利用実績が減ったと考えられる。			

補足等があれば、記載しています。

目標値に対する平成29年度実績について記入をしています。

目標値に対する平成29年度の実績をグラフで表しています。



1 目標指標(学校教育編)

学校教育編の各目標の施策・事業を展開する上で参考とする指標について、実績値から達成状況を測ります。

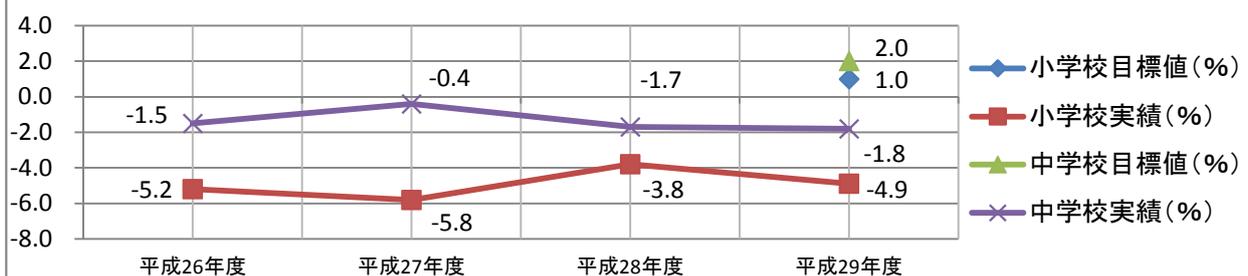
指標 1	教科の指導内容の定着状況
概要	全国学力・学習状況調査(小学校6年生、中学校3年生)(注8)における調査対象教科の合計平均正答率と全国平均を比較することから、教科の指導内容の定着状況を測ります。
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
関連施策	施策(1):教育活動の充実
担当課	教育指導課

※目標値は調査年度の全国平均との比較

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校目標値(%)				1.0
小学校実績(%)	-5.2	-5.8	-3.8	-4.9
全国(%)	66.2	63.9	63.9	64.2
横須賀市(%)	61.0	58.1	60.1	59.3
中学校目標値(%)				2.0
中学校実績(%)	-1.5	-0.4	-1.7	-1.8
全国(%)	64.4	61.9	62.1	65.6
横須賀市(%)	62.9	61.5	60.4	63.8

摘要

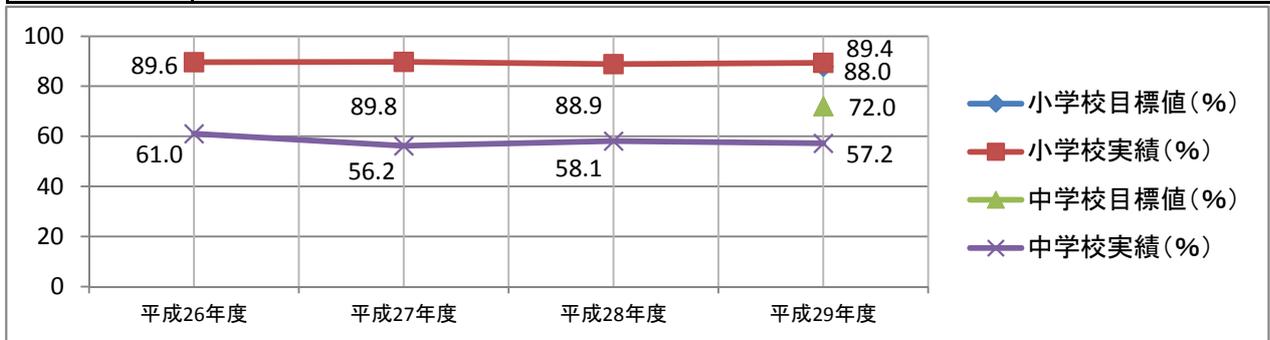
目標が全国学力・学習状況調査の国語・算数(数学)を合わせ、その平均の数値としたものであり、学力について総体的な見方をしていることで、その課題がどこにあるのかといったことがわかりにくいことが一つの要因と考えられる。また、全国学力・学習状況調査においては、各地区の差が縮まっており、全体的に水準が上がっている中で、その平均を大きく超える目標は達成が困難であるという側面がある。横須賀市の課題として、小学校低学年の段階で学習内容の定着に課題があるということ、また、学習状況に課題のある児童生徒が少なくないということが課題であると明らかになっており、その課題に合わせた目標設定が必要である。



指標 2	1カ月に1冊以上本を読む児童生徒の割合
概要	市立小中学校児童生徒の1カ月に本を1冊以上読む割合から、子どもの読書活動が効果的に推進されているかを測ります。
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
関連施策	施策(1):教育活動の充実
担当課	教育指導課

※目標値は平成18年～23年度の最高値を切り上げ

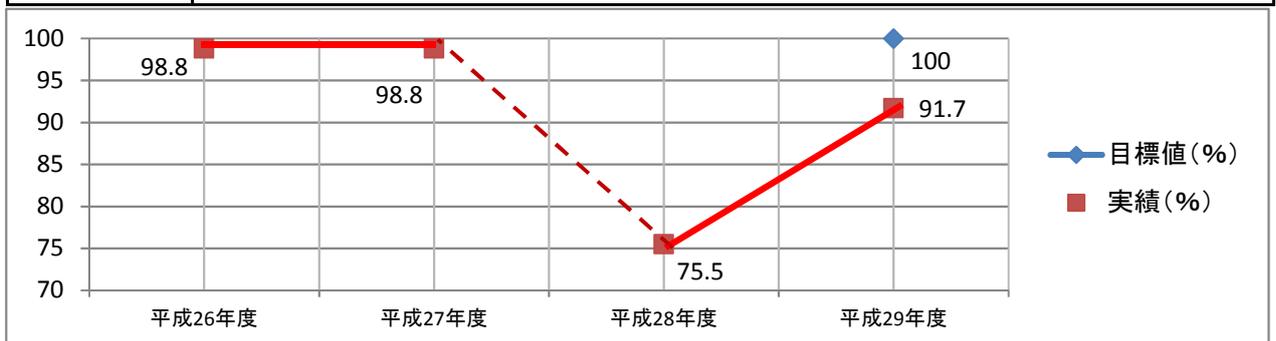
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校目標値(%)				88.0
小学校実績(%)	89.6	89.8	88.9	89.4
中学校目標値(%)				72.0
中学校実績(%)	61.0	56.2	58.1	57.2
摘要	中学校の生活の多忙化、趣味の多様化等が背景にあると考えられている。授業時間中の活用も十分にできていない現状がある。			



指標 3	いじめ解消率
概要	市立小中学校で、年間に発生したいじめを解消した割合から、いじめへの対応の成果を測ります。
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
関連施策	施策(2):支援教育(注7)の充実
担当課	支援教育課

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(%)				100
実績(%)	98.8	98.8	75.5	91.7

概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度までの調査では、「解消しているもの」と「一定の解消が図られたが、継続支援中」を合わせた改善率をいじめの解消率として算出していた。 平成28年度の調査以降は、国の「いじめの防止等のための基本的な方針」の改定により、「いじめに係る行為が止んでいる状態が、少なくとも3カ月を目安として継続している」ことをいじめの解消と定義づけされ、神奈川県もこの定義に基づいて実施することになった。「いじめの解消の定義」に基づき判断した結果、解消と判断できない事案が多くなった。 平成29年度はいじめ解消率は91.7%と、前年度より16.2ポイント増加した。各学校が「いじめの解消の定義」を理解し、児童生徒への指導や指導後の見守り、保護者への対応を丁寧に行えるようになってきたため、解消率が上昇したと考えられる。 今後は、早期の解消に向けて、学校は「いじめはどの学校でも、どのクラスにも、どの子にも起こりうる」という基本的な考え方に立ち、いじめの初期の段階で迅速かつ丁寧に対応することが必要である。さらに、いじめが解消したとみなした後も、引き続き慎重に関係の児童生徒の様子を見守っていくことが必要である。
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

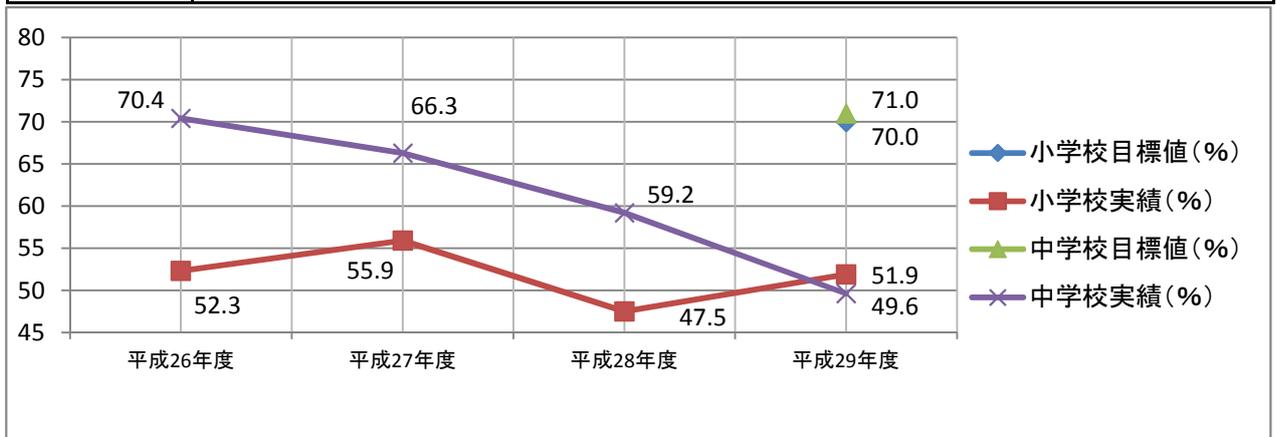


指標 4	不登校児童生徒の学校復帰改善率
概要	学校に復帰した人数と状態の改善が見られた人数の合計の、全不登校(注3)児童生徒数に対する割合から、不登校対策の成果を測ります。
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
関連施策	施策(1):支援教育の充実
担当課	支援教育課

※目標値の小学校は、22～24年度の最高値を切り上げ、中学校は、25年度末の目標値を継続

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校目標値(%)				70.0
小学校実績(%)	52.3	55.9	47.5	51.9
中学校目標値(%)				71.0
中学校実績(%)	70.4	66.3	59.2	49.6

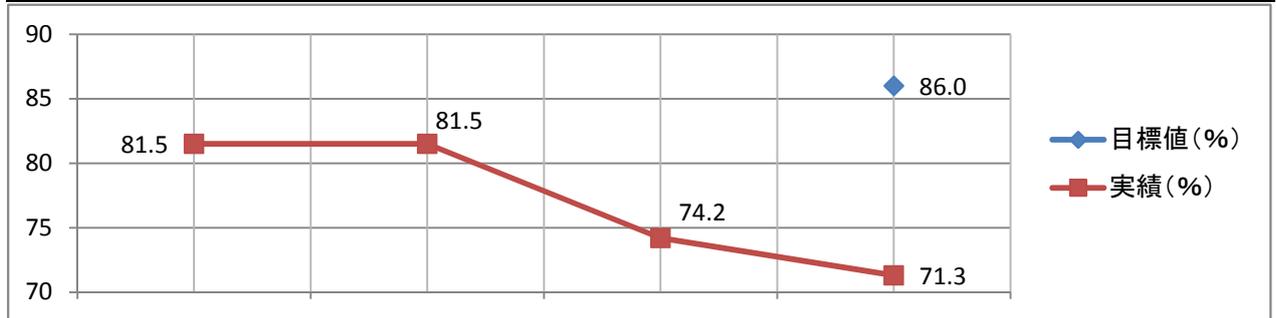
概要	<p>・平成29年度、横須賀市・県全体の小学校の改善率は微増であるが、小中学校全体で見ると、全国・県全体ともに学校復帰改善率は下がっている。下がっている要因の一つとして、平成28年9月の「不登校児童生徒への支援の在り方について」の通知を踏まえ、不登校を問題行動と捉えず、環境によって誰もが起こり得ることとし、「学校に登校する」という結果を目標にするのではなく、将来の社会的自立に向けて、家庭や関係機関等と連携し、多様な支援をじっくり行うようになったことが考えられる。</p> <p>・改善率には表れていないが、横須賀市では、学校への登校は難しいものの、相談教室や児童相談所、福祉、医療関係等の学校外のリソースや、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、相談員等からの支援を受けている児童生徒の割合は増えており、学校と外部リソースとの連携や、学校内に於けるリソースを活用した支援は進んでいる。</p>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



指標 5	英語への興味・関心
概要	横須賀市外国語教育に関する調査において児童(小学校6年生)が、外国語活動の学習が「好き」「どちらかと言えば好き」と肯定的回答をした合計の割合から、英語への興味・関心の状況を測ります。
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
関連施策	施策(3):国際教育の推進と英語教育の充実
担当課	教育指導課

※目標値は、基準値+2%を切り上げ

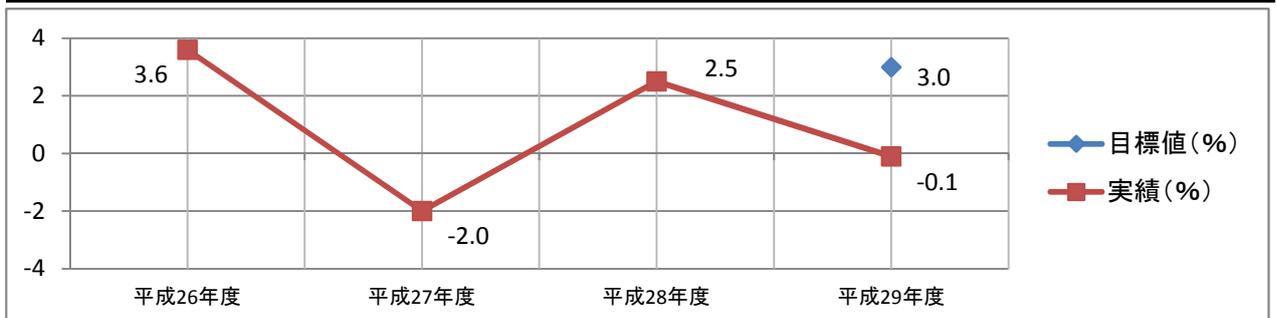
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(%)				86.0
実績(%)	81.5	81.5	74.2	71.3
摘要	以前のようなコミュニケーションを楽しむことが中心の授業から、相手意識や相互理解などの内容にも踏み込んでおり、授業に難しさを感じている児童がいると考えられる。			



指標 6	英語によるコミュニケーション能力の習得状況
概要	横須賀市学習状況調査(中学校2年生)(注26)における英語の平均正答率を目標正答率と比較することから、英語によるコミュニケーション能力の習得状況を測ります。
関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
関連施策	施策(3):国際教育の推進と英語教育の充実
担当課	教育指導課

※目標値は、調査問題作成業者が設定した調査年度の目標正答率との比較

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(%)				3.0
実績(%)	3.6	-2.0	2.5	-0.1
摘要	「聞く」「書く」については目標とする正答率を上回っている。「読む」について長文読み取りで目標値を1.3ポイント下回っており、全体的に目標値を下回る結果となっている。			



指標 7	経験年数に応じた研修の受講者による総合的な研修評価
概要	「経験年数に応じた研修」(初任者、教職1年・5年・10年・20年経験者対象)の各研修講座において、研修の受講者による総合的な研修評価(4段階)を実施し、研修の成果を測ります。
関連目標	目標2:学校の組織力や教職員の力を高めます
関連施策	施策(7):教職員の研究・研修の充実
担当課	教育研究所

※目標値は26～29年度の上昇傾向(約0.1上昇)を反映

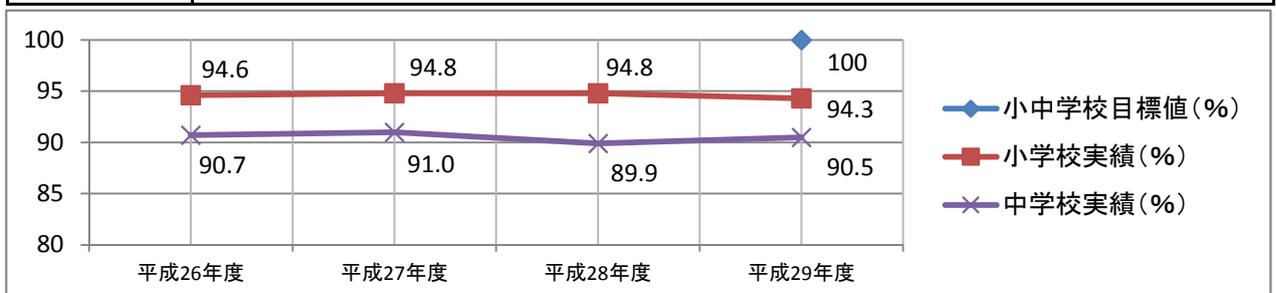
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値				3.7
実績	3.7	3.7	3.7	3.7



指標 8	朝食を毎日食べる児童生徒の割合
概要	全国学力・学習状況調査(小学校6年生、中学校3年生)(注8)における朝食を毎日食べる児童生徒の割合から、学校と家庭の連携による望ましい生活習慣の定着状況を測ります。
関連目標	目標3:学校・家庭・地域の連携を深めます
関連施策	施策(11):家庭との連携による生活・学習習慣の確立
担当課	保健体育課・学校給食担当

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校目標値(%)				100
小学校実績(%)	94.6	94.8	94.8	94.3
中学校目標値(%)				100
中学校実績(%)	90.7	91.0	89.9	90.5

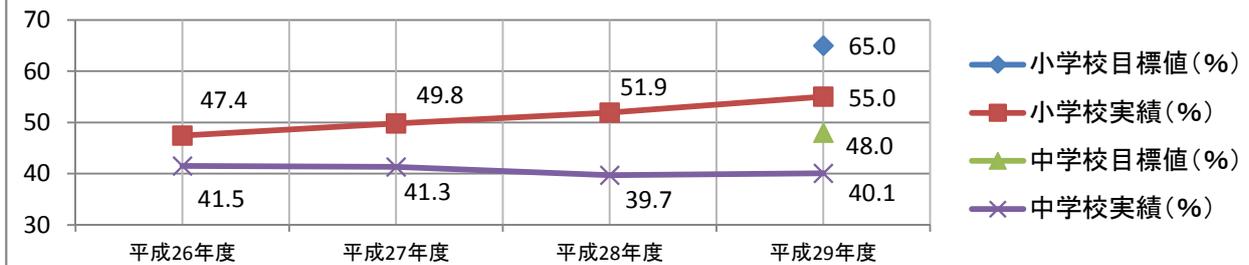
摘要 望ましい食習慣の定着に向けた保護者及び児童生徒への働きかけが足りていないことが考えられる。



指標 9	学校以外における児童生徒の学習状況（月曜日～金曜日）
概要	全国学力・学習状況調査(小学校6年生、中学校3年生)における学校の授業時間以外に1時間以上学習している児童、2時間以上学習している生徒の割合(月曜日～金曜日)から、学校と家庭の連携による望ましい学習習慣の定着状況を測ります。
関連目標	目標3:学校・家庭・地域の連携を深めます
関連施策	施策(11):家庭との連携による生活・学習習慣の確立
担当課	教育指導課

※目標値は、25年度全国平均値を参考

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校目標値(%)				65.0
小学校実績(%)	47.4	49.8	51.9	55.0
中学校目標値(%)				48.0
中学校実績(%)	41.5	41.3	39.7	40.1
摘要	学校と家庭が連携し、学習習慣の定着状況について小学校では良好な傾向が見られてきているが、小・中学校ともに目標値に届いていない。家庭学習啓発リーフレットや教育フォーラムといった形で地域・家庭への情報発信を行ってきたが、教育フォーラムについては、PTA、連合町内会等に働きかけたものの、多くの地域や保護者への啓発につながりにくかったと考えられる。			



2 目標指標(社会教育編)

社会教育編の各目標の施策・事業を展開する上で参考とする指標について、実績値から達成状況を測ります。

指標 1	学校施設開放の利用人数(和室など)
概要	学校の和室・会議室などの開放施設の利用人数で、地域活動の活性状況を測ります。
関連目標	目標1: 市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図ります
関連施策	施策(3) 学習の場の提供
担当課	生涯学習課

※目標値は22～24年度の最高値を切り上げた値

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(人)				20,000
実績(人)	16,258	17,987	14,856	13,962
摘要	管理員の確保ができず、学校図書館の開放ができない学校があった。また、今まで学校施設を利用して活動していたが、活動自体を取りやめた団体があった。			



指標 2	生涯学習センター利用者数
概要	地域に学習成果を還元できる力を備えるためには学習活動を継続することが必要です。生涯学習センターの各学習室、図書室、情報検索パソコンの利用人数から、学習活動が安定して継続されているかについて測ります。
関連目標	目標1: 市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図ります
関連施策	施策(3) 学習の場の提供
担当課	生涯学習課

※目標値は22～24年度の平均値を切り上げた値

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(人)				138,000
実績(人)	139,974	136,036	138,129	139,011



指標 3	学習情報の提供件数
概要	生涯学習センターで提供するYokosuka まなび情報(講師・サークル)、講座、施設などの学習情報の提供件数から、市民の学習活動に対する情報提供支援の状況を測ります。
関連目標	目標1:市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図ります
関連施策	施策(4) 学習情報・学習相談の充実
担当課	生涯学習課

※目標値は22～24年度の最高値を切り上げた値

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(件)				7,000
実績(件)	6,999	7,318	8,111	7,563



指標 4	レファレンス(注63) 件数
概要	図書館4館でのレファレンス件数から、図書館サービスの状況を測ります。
関連目標	目標5:図書館・博物館・美術館の活動を充実させます
関連施策	施策(12) 図書館活動の充実
担当課	中央図書館

※目標値は20～23年度の上昇傾向を反映

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(人)				33,000
実績(人)	35,427	38,534	37,544	31,873

摘要	利用者がインターネット等で資料について調べる機会が増えたと思われるため。
----	--------------------------------------



指標 5	児童書貸出冊数
概要	子ども読書活動推進事業の指標として、図書館4館、サテライト(注57)館10館および取次所4か所での児童書の貸出合計冊数から、子どもの読書活動の状況を測ります。
関連目標	目標5: 図書館・博物館・美術館の活動を充実させます
関連施策	施策(12) 図書館活動の充実
担当課	中央図書館・児童図書館

※目標値は19～23年度の上昇傾向を反映

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(冊)				519,000
実績(冊)	430,226	453,016	459,616	471,658
摘要	横須賀市全体のこどもの数が減っているため。			



指標 6	博物館来館者数
概要	博物館本館・附属施設の来館(来園)者数から、横須賀や三浦半島の自然や歴史への関心度を測ります。
関連目標	目標5: 図書館・博物館・美術館の活動を充実させます
関連施策	施策(13) 博物館活動の充実
担当課	博物館運営課

※目標値は22～24年度の最高値を切り上げた値

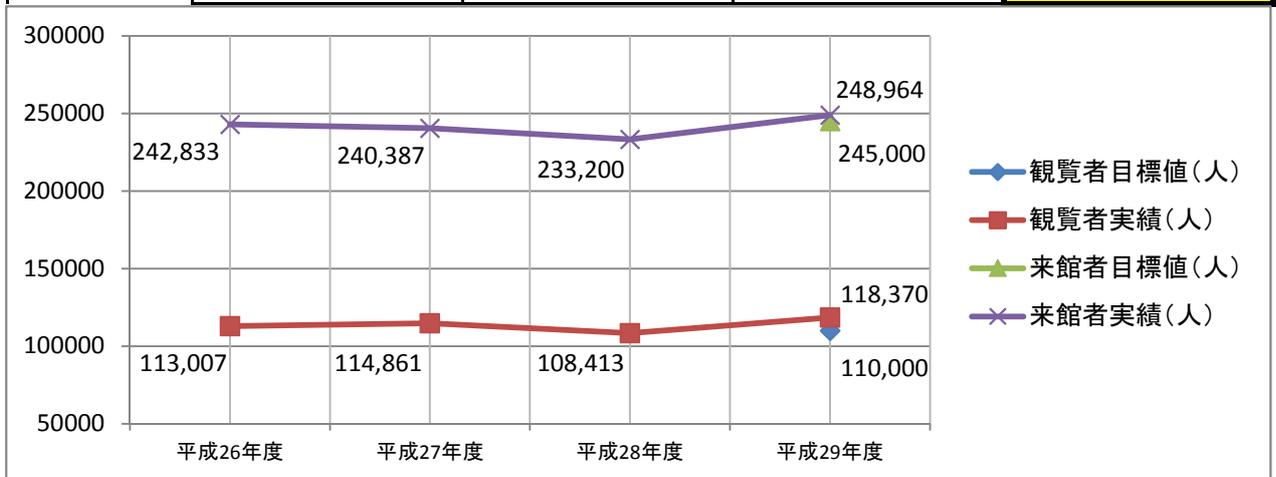
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(人)				170,000
実績(人)	175,347	191,274	193,931	222,613



指標 7	美術館展覧会観覧者数 美術館来館者数
概要	美術館で開催する展覧会の観覧者数と美術館への来館者数から、どれだけの方が優れた芸術に触れる機会を持つことができたかを測ります。
関連目標	目標5: 図書館・博物館・美術館の活動を充実させます
関連施策	施策(14) 美術館活動の充実
担当課	美術館運営課

※観覧者目標値は開館以来の目標値10万人+1万人 ※来館者目標値は22～24年度の最高値を超える数値

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
観覧者目標値(人)				110,000
観覧者実績(人)	113,007	114,861	108,413	118,370
来館者目標値(人)				245,000
来館者実績(人)	242,833	240,387	233,200	248,964



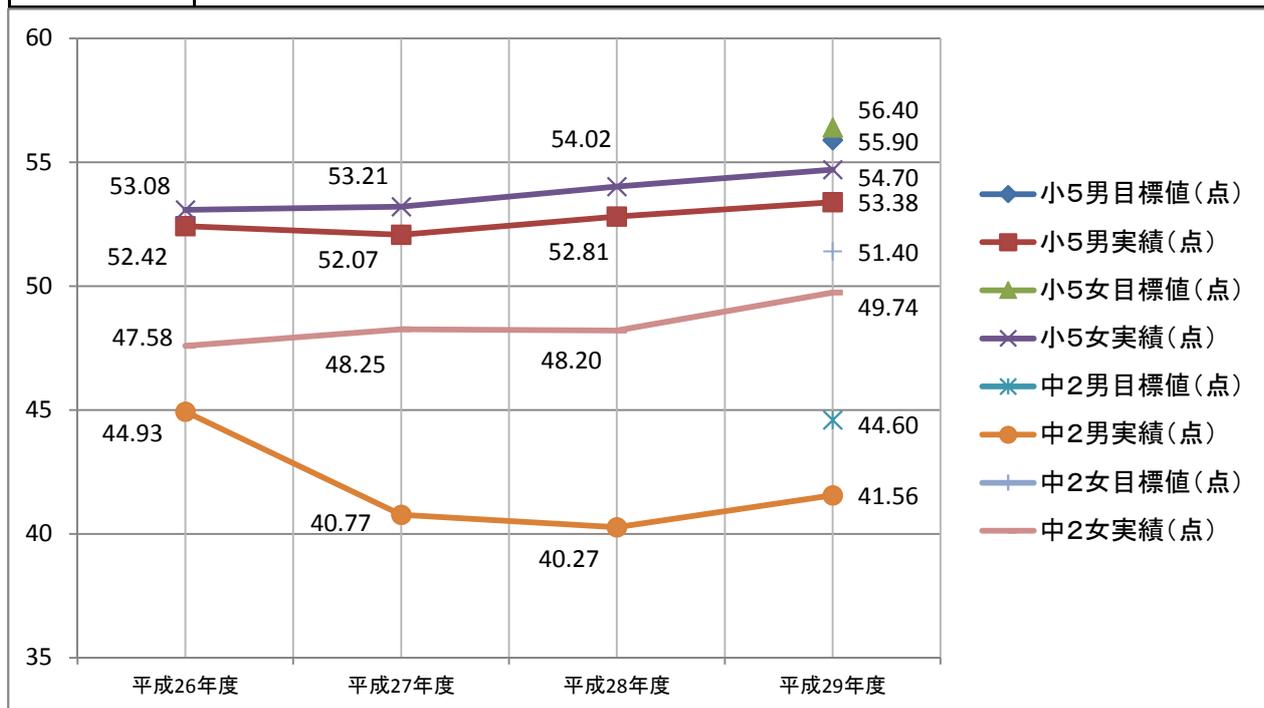
3 目標指標(スポーツ編)

スポーツ編の各目標の施策・事業を展開する上で参考とする指標について、実績値から達成状況を測ります。

指標 1	体力・運動能力調査の結果
概要	新体力テスト(注66)合計点の平均値(小学校5年生、中学校2年生)から、子どもの体力状況を測ります。
関連目標	目標1:子どもの生活習慣を改善し、体力の向上を図ります
関連施策	施策(1)生活習慣の改善および健康・体力づくりの推進
担当課	保健体育課

※目標値は22～24年度の国の最高値を切り上げた値

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小5男目標値(点)				55.90
小5男実績(点)	52.42	52.07	52.81	53.38
小5女目標値(点)				56.40
小5女実績(点)	53.08	53.21	54.02	54.70
中2男目標値(点)				44.60
中2男実績(点)	44.93	40.77	40.27	41.56
中2女目標値(点)				51.40
中2女実績(点)	47.58	48.25	48.20	49.74
概要	体力との相関関係が明らかにされている「1週間の総運動時間」や「朝食の喫食率」、「1日の睡眠時間」、「運動やスポーツに対する肯定的な捉え」に関する指標が低いことが影響していると考えられる。このような運動習慣等についても目標や指標を明確にし、課題に取り組むことで、結果として目標である新体力テスト合計点の平均値の向上が見込まれるものと考えられる。			



指標 2	市民スポーツ教室の参加人数
概要	市民スポーツ教室の参加人数から、市民の健康・体力づくりの状況を測ります。
関連目標	目標2:だれもが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる機会を充実させます
関連施策	施策(4)市民の健康・体力づくりの推進
担当課	スポーツ振興課

※目標値は22～24年度の最高値を切り上げた値

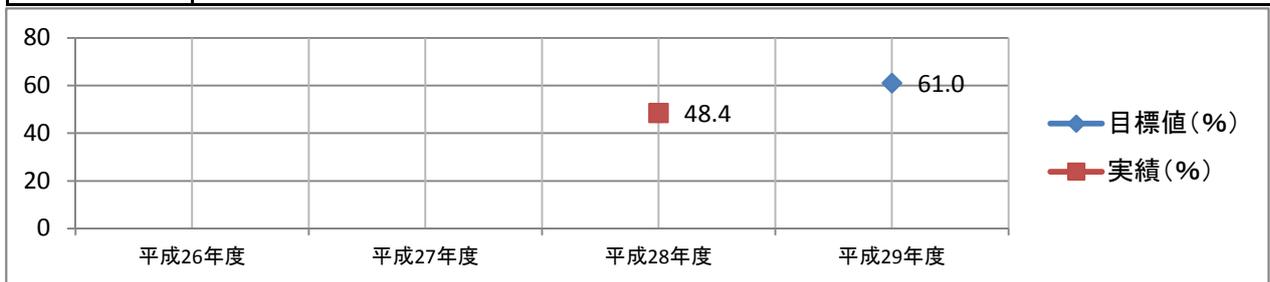
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(人)				3,500
実績(人)	3,400	3,053	3,236	2,997
摘要	満足度の高い教室内容から、大人主体の教室は継続参加される方など定着しているが、幼児・児童主体の教室は参加者の減少傾向が見られる。参加の呼びかけや教室の周知の仕方が検討課題である。			



指標 3	成人の週1回以上のスポーツ実施率
概要	成人の週1回以上のスポーツ実施率から、市民のだれもが生涯にわたりスポーツに親しむ生涯スポーツ社会の実現状況を測ります。
関連目標	目標2: だれもが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる機会を充実させます
関連施策	施策(4) 市民の健康・体力づくりの推進
担当課	スポーツ振興課

※目標値は国の32年度目標値(65%)を参考に算出

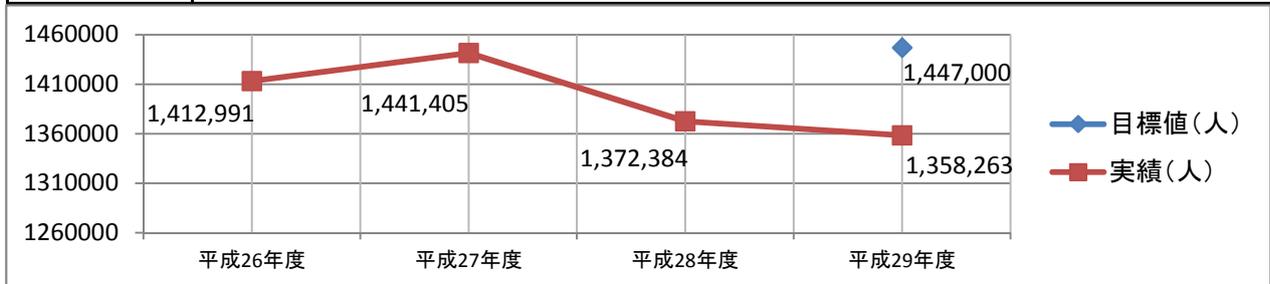
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(%)				61.0
実績(%)			48.4	
摘要	気軽に運動のできる公園や施設、安価に参加のできる教室などが不足していると考えられる。地域住民が主体となって取り組むスポーツ活動を推進する企画など新しい事業の展開が必要である。			



指標 4	学校施設開放の利用人数 (体育館など)
概要	学校の体育館などの開放施設の利用人数から、地域におけるスポーツ活動の状況を測ります。
関連目標	目標2: だれもが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる機会を充実させます
関連施策	施策(6) スポーツ施設の整備と円滑な管理運営の推進
担当課	スポーツ振興課

※目標値は22～24年度の最高値を切り上げた値

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(人)				1,447,000
実績(人)	1,412,991	1,441,405	1,372,384	1,358,263
摘要	校庭の改修工事や天候により利用人数の影響を受けることや各団体チームを構成するメンバー数の減少傾向が見られるため利用実績が減ったと考えられる。			



指標 5	体育会館施設などの利用人数
概要	体育会館の利用人数から、生涯スポーツの活動状況を測ります。
関連目標	目標2:だれもが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる機会を充実させます
関連施策	施策(6)スポーツ施設の整備と円滑な管理運営の推進
担当課	スポーツ振興課

※目標値は22～24年度の最高値を切り上げた値

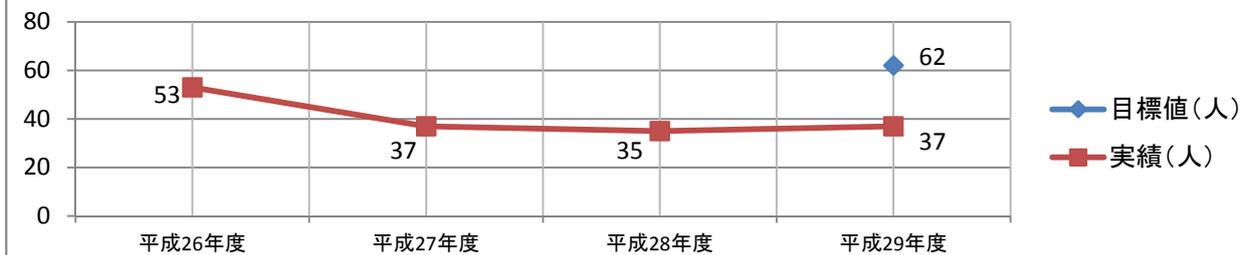
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(人)				762,000
実績(人)	787,283	824,266	842,345	875,806



指標 6	国民体育大会の出場人数
概要	本市在住、在勤、在学の方のうち国民体育大会に出場した人数から、各種スポーツ団体の競技力の状況を測ります。
関連目標	目標3: 競技者の活動を支援するとともにスポーツ愛好者の裾野を拡大します
関連施策	施策(8) 国際大会や全国大会で活躍する競技者の育成と支援
担当課	スポーツ振興課

※目標値は22～24年度の最高値

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値(人)				62
実績(人)	53	37	35	37
摘要	各種スポーツ団体による普及・強化活動により安定して出場者を輩出することができている。団体種目の参加により出場人数に変動が見られるが、引き続き各種スポーツ団体と連携して強化活動を推進する必要がある。			



◆ 参考資料

○目標・施策に基づく関連事業

- 1 目標・施策に基づく関連事業（学校教育編）
- 2 目標・施策に基づく関連事業（社会教育編）
- 3 目標・施策に基づく関連事業（スポーツ編）

○教育委員会の概要

- 1 教育委員会委員
- 2 教育委員会の動き
- 3 教育委員会会議の開催状況
- 4 教育委員会事務局等の組織図と事務分掌

○用語解説

1 目標・施策に基づく関連事業（学校教育編）における事業・行動計画実施状況

目標・施策に基づく関連事業（学校教育編）と、その事業を実施するための行動計画について、平成 29 年度の実施状況は以下のとおりです。

（学校教育編）

	総数	29 年度において計画どおり実施した数
関連事業	66	62
行動計画	165	161

1 目標・施策に基づく関連事業(学校教育編)

学校教育編の目標・施策に基づく関連事業について各事業の行動計画に対する実績を測ります。

目標1:子どもの学びを豊かにします

施策(1)教育活動の充実

【関連事業】

事業名	学力向上事業【教育指導課】【教育研究所】【教育政策担当(教育政策課・教育情報システム室)】
概要	「横須賀市学力向上推進プラン」に基づき、学力向上の取組の充実を図ります。 また、教員の授業力向上や人材育成を進めるための学校組織の活性化を推進します。
備考	※重点課題に対応する事業 40ページ参照

事業名	キャリア教育(注14)推進事業【教育指導課】				
概要	児童生徒一人一人に、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を身に付けさせるために、学校と地域及び学校間で円滑な接続を図り、キャリア教育を推進します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
横須賀市キャリア教育推進協議会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
よこすかキャリア教育推進事業事務局(横須賀商工会議所内)	計画	設置	設置	設置	設置
	実績	設置	設置	設置	設置
キャリア教育担当者会(総括教諭等学校運営推進者連絡会)	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
各校のキャリア教育情報のイントラネットへの掲載	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
小学生向け体験型教育支援プログラム	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	防災教育推進事業【教育指導課】				
概要	東日本大震災の経験から、自分及び他者の危険予測・危険回避の能力を育成するため防災教育の充実を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
防災教育指導資料集の作成・配布	計画	作成・配布	—	—	—
	実績	作成・配布	—	—	—
防災教育指導資料集の活用・実践	計画	—	実施	実施	実施
	実績	—	実施	実施	実施
防災教育に関する研修会	計画	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催
	実績	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催
防災教育推進モデル校	計画	設置	設置	設置	設置
	実績	設置	設置	設置	設置

事業名	子ども読書活動推進事業【教育指導課】	
概要	児童生徒の読書への関心や主体的な学習の力を高めるために、学校図書館機能の充実を目指し、学校図書館コーディネーター(いわゆる学校司書)等の配置や蔵書情報のデータベース化、教職員の研修の充実、市立図書館との連携を強化します。	
備考	※重点課題に対応する事業 24ページ参照	

事業名	学校人権教育推進事業【教育指導課】				
概要	人権教育の研修などの充実を図り、教員が人権尊重の理念について理解を深め、関係機関やNPO(注29)等と連携して、人権教育を推進します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人権教育研修講座	計画	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
	実績	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
人権教育指導者養成講座	計画	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
	実績	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
人権団体主催の研修会などへの参加	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	道徳教育推進事業【教育指導課】				
概要	道徳教育の研修などの充実を図り、教員が道徳教育の指導上の諸問題を研究協議するなどしてその解明を図り、指導力を向上させることにより、道徳教育を推進します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
道徳教育連携推進講座	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
道徳教育担当者会 (総括教諭等学校運営推進者連絡会)	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

事業名	食教育(注15)の推進【学校給食担当】				
概要	子どもたちが「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、生涯にわたって健全な心と身体を培っていけるよう、食教育を進めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
教職員研修会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
児童生徒、保護者、教職員の意識啓発	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	安全、安心な学校給食の提供と充実【学校給食担当】				
概要	安全、安心でおいしい学校給食を安定的に提供し、児童生徒の心身の健全な発達と食生活の改善に資するため、学校給食にかかわる諸課題に取り組み、学校給食の充実を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
保護者へのアレルギー情報の提供などの対応	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
学校給食にかかわる各種研修	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
地産地消の普及啓発	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
学校給食用食器の改善	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	(仮称)横須賀給食弁当の実施【学校給食担当】				
概要	中学校で行っているパン・弁当の注文販売であるスクールランチ(注30)に、教育委員会の管理栄養士が小学校給食をアレンジした献立の弁当を取り入れます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
(仮称)横須賀給食弁当	計画	試行	実施	実施	実施
	実績	試行	中止	—	—
(計画と実績が異なる場合の理由) 平成27年度から中学校の昼食のあり方について検討を開始したため、平成27年度に当該事業を中止した。(平成28年度に中学校完全給食を実施する方針が決定。)					

事業名	喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する教育の推進【保健体育課】				
概要	喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する教室を開催し、薬物乱用などが心身の健康に及ぼす影響について、児童生徒の理解を深めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する教室	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

事業名	教育課程研究会(注31)の実施【教育指導課】				
概要	各教育課程研究会を通して、教育課程(注11)の実施に伴う指導上の諸問題を研究協議し、その解明を図り、教員の指導力の向上に資するとともに、学校教育の改善及び充実を目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
幼稚園教育課程研究会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
小学校教育課程研究会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
中学校教育課程研究会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
高等学校教育課程研究会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

事業名	幼児教育充実事業【教育指導課】				
概要	市立幼稚園2園の「幼児教育センター的な役割」を強化し、その施設や機能を生かして子育て支援を充実させます。また、幼児期における教育課題に取り組んだ成果を市内に発信するとともに、療育相談センターなどと連携して障害のある子どもを受け入れる仕組みをつくり、市立幼稚園2園が「幼稚園教育のモデル的な役割」を担えるようにします。このような取組に加え、私立幼稚園、市立・私立保育所と連携して本市幼児教育の充実を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
子育て支援教室	計画	検討	検討	開催	開催
	実績	検討	検討	開催	開催
公開保育・研究発表	計画	年2回実施	年2回実施	年2回実施	年2回実施
	実績	年2回実施	年2回実施	年2回実施	年2回実施
障害のある子どもの受け入れ	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
幼稚園教育課程研究会を活用した私立幼稚園、市立・私立保育所との連携	計画	実施	充実	充実	充実
	実績	実施	充実	充実	充実

事業名	横須賀総合高等学校教育改革事業【教育政策担当(教育政策課)】				
概要	開校(平成15年)より10年を迎えた市立横須賀総合高等学校の今後の在り方を検討し、教育改革を進め、横須賀唯一の市立高校として特色ある学校教育の充実を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
横須賀市立高等学校教育改革検討委員会	計画	開催	—	—	—
	実績	開催	—	—	—
答申の実現に向けた取組	計画	答申を受けて検討	検討・実施	検討・実施	検討・実施
	実績	答申を受けて検討	検討・実施	検討・実施	検討・実施

事業名	教育施策調査研究事業【教育政策担当(教育政策課)】				
概要	教育の充実を目指して、教育の現状把握や教育課題の解決を図るための調査・研究を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
各種調査・研究	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	芸術鑑賞会の開催【教育指導課】				
概要	児童がよこすか芸術劇場・横須賀美術館で、優れた演奏や作品を鑑賞する機会を設け、豊かな心を育てることを目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
オーケストラ鑑賞会(5年生)	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
美術作品鑑賞会(6年生)	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

事業名	子どものための音楽会の開催【教育指導課】				
概要	子どもがよこすか芸術劇場で、横須賀を主題とした芸術作品(組曲「横須賀」)に直接触れる機会を設けることにより、郷土を愛する心を育てます。また、吹奏楽部の合同バンドによる演奏や小中学生の作詞・作曲による作品の演奏を聴くことにより、文化活動への関心及び意欲の向上を目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
子どものための音楽会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

事業名	児童生徒研究推進事業【教育研究所】				
概要	小中理科研究会と連携し、児童生徒の自主的な研究を集めて発信することにより、児童生徒の探究心を向上させるとともに、子どもの言語活動の充実を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
研究集録	計画	発行	発行	発行	発行
	実績	発行	発行	発行	発行

事業名	児童生徒指導行事事業【教育指導課】【支援教育課】				
概要	児童生徒の研究・作品などを発表する場を設けることにより、児童生徒一人一人の学習意欲、創作意欲の向上を目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
児童生徒書写作品展	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
小学生創意くふう展	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
中学校吹奏楽発表会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
児童生徒造形作品展	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
中学生創造アイデアロボットコンテスト	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
中学校主張大会	計画	開催	—	開催	—
	実績	開催	—	開催	—
中学校演劇発表会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
読書感想画展	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
本を楽しもう展	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
ふれあい作品展	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
読書感想文コンクール	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
読書感想画コンクール	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
学校文集	計画	発行	発行	発行	発行
	実績	発行	発行	発行	発行
作詞・作曲入選集	計画	発行	発行	発行	発行
	実績	発行	発行	発行	発行
読書感想文集	計画	発行	発行	発行	発行
	実績	発行	発行	発行	発行

事業名	文化部各種大会派遣事業【教育指導課】				
概要	全国・関東大会に市内中学生、高校生の文化部優秀部員を派遣することにより、生徒が身に付けた技量を発揮することを目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
全国・関東大会参加に係る支援	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	中学校文化部指導者派遣事業【教育指導課】				
概要	専門の技術指導者を派遣し、生徒の技術習得を支援するとともに、顧問の負担軽減と部活動の活性化を目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
技術指導者	計画	派遣	派遣	派遣	派遣
	実績	派遣	派遣	派遣	派遣

事業名	高等学校文化部育成事業【教育指導課】				
概要	専門の技術指導者を派遣し、生徒の技術習得を支援するとともに、顧問の負担軽減と部活動の充実を目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
技術指導者	計画	派遣	派遣	派遣	派遣
	実績	派遣	派遣	派遣	派遣

事業名	吹奏楽部活動奨励事業【教育指導課】				
概要	中学校吹奏楽部の活動に必要な楽器の修理・更新、及び指導力の向上をねらいとした実技研修会を開催することにより、吹奏楽部の活動の充実を目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
楽器の修理・更新	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
実技研修会	計画	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
	実績	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催

施策(2)支援教育(注7)の充実

【関連事業】

事業名	支援教育(注7)推進事業【支援教育課】
概要	支援や配慮を必要とするすべての子どもの教育的ニーズに対応し、一人一人の子どもの学校生活を充実させることで、総合的な支援教育を推進します。
備考	※重点課題に対応する事業 45ページ参照

事業名	いじめ等課題解決支援事業【支援教育課】				
概要	いじめの防止、体罰の根絶、学校問題の解決を図り、児童生徒が明るい笑顔で楽しく充実した学校生活を送れることを目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
(仮称)いじめ等課題解決専門委員会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

事業名	いじめ・不登校(注3)対策事業【支援教育課】(※詳細を①～④に掲載)
概要	いじめ・不登校等の未然防止、不登校状態の改善及び学校内外での児童生徒の居場所づくりを目指し、NPO(注29)などと連携を図った活動を展開し、総合的ないじめ・不登校対策を推進します。
備考	※重点課題に対応する事業 47ページ参照

事業名	①相談員等派遣事業【支援教育課】
概要	子どもとの日常的なふれあいや相談等を通じ、いじめ等の問題行動や不登校の未然防止、早期発見、早期対応、学校内での児童生徒の居場所づくりを目指し、総合的な支援策を推進します。
備考	※重点課題に対応する事業 48ページ参照

事業名	②相談教室運営事業【支援教育課】
概要	不登校(注3)の児童生徒が通室する相談教室(注34)を市内5カ所で運営し、不登校状態にある児童生徒の支援を推進します。
備考	※重点課題に対応する事業 50ページ参照

事業名	③いじめ対策事業【支援教育課】
概要	「いじめ問題」に関して、子ども一人一人の教育的ニーズに対応する支援教育(注7)の視点でシステム作りを進めます。特に学校での児童生徒の相談窓口の設置、カウンセリングなどを中心に、いじめ暴力等の問題行動の未然防止、早期発見、早期対応を目指します。
備考	※重点課題に対応する事業 52ページ参照

事業名	④教育相談充実事業【支援教育課】
概要	いじめや不登校等のほか、学校生活における不安や悩み等を解決するための相談を充実させます。
備考	※重点課題に対応する事業 54ページ参照

事業名	日本語指導推進事業【支援教育課】				
概要	外国籍児童生徒等に初歩的な日本語の力を付けさせるなど、一人一人のニーズに応じた支援を行うことにより、児童生徒が学校生活に適應する力を付けることを目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
日本語指導員(注22)	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置
国際教育コーディネーター(注35)	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置
国際教育に係る翻訳・通訳	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

施策(3)国際教育の推進と英語教育の充実

【関連事業】

事業名	国際コミュニケーション能力育成事業【教育指導課】				
概要	市立学校（小、中、高、特別支援）にALT（注18）や外国人英語教員（FLT（注19））を配置し、児童生徒がネイティブ・スピーカー（英語を母語としている話者）と直接触れ合う時間を増やすことにより、小・中・高の12年間で、児童生徒の国際コミュニケーション能力（注20）の向上及び国際教育の充実を目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ALT (FLT配置の中学校を除く)	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置
FLT (5名を中学校・高等学校へ)	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置
横須賀イングリッシュワールド(注36)	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

事業名	高等学校国際交流支援事業【教育指導課】				
概要	オーストラリアにあるエラノラ高校及び米国海軍横須賀基地内のキニックハイスクールとの交流などを通して、横須賀総合高等学校の国際教育を推進します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
エラノラ高校との短期留学派遣(毎年) 受入(隔年)	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
キニックハイスクールとの交流	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

施策(4)情報教育の推進

【関連事業】

事業名	教員の情報活用能力の育成【教育研究所】【教育指導課】【教育政策担当(教育政策課・教育情報システム室)】				
概要	子どもの情報活用能力を育成するために、ICT(注17)活用を推進し、教員の情報活用能力(注37)及び情報モラル(注16)に関する知識・指導技術の向上を支援します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ICTの有効活用と情報活用能力の育成を意識した授業事例集	計画	充実	充実	充実	充実
	実績	充実	充実	充実	充実
発達段階に応じた情報モラルの育成に関する授業事例集	計画	作成	充実	充実	充実
	実績	一部作成	充実	充実	充実
情報活用能力の育成に関する授業モデル	計画	作成	充実	充実	充実
	実績	作成	充実	充実	充実
情報活用能力育成のための指導・助言	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
教育の情報化を推進させるためのICT機器の整備	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

施策(5)校種間連携の推進

【関連事業】

事業名	小中一貫教育(注6)推進事業【教育指導課(教育指導課及び教育政策課)】
概要	小中学校の教職員が義務教育9年間で児童生徒を育てるという意識をもち、児童生徒や地域の実態をもとに共通の教育方針を設定するなど、小中で一貫した教育の充実に取り組めます。
備考	※重点課題に対応する事業 43ページ参照

事業名	就学前教育と小学校教育の連携推進事業【教育指導課】				
概要	幼稚園・保育所と小学校との合同研修会の開催や研究組織によるカリキュラムのモデルの作成により、就学前教育と小学校教育の円滑な連携を目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
合同研修会	計画	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
	実績	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
小学校におけるスタートカリキュラム(注38)のモデル	計画	各学校の実践	各学校の実践	各学校の実践	各学校の実践
	実績	実施の検討	各学校の実践	各学校の実践	各学校の実践
就学前教育におけるアプローチカリキュラム(注39)のモデル	計画	各学校の実践	各学校の実践	各学校の実践	各学校の実践
	実績	各学校の実践	各学校の実践	各学校の実践	各学校の実践

事業名	就学前児童学校給食交流体験事業【学校給食担当】				
概要	就学前児童に、学校給食の体験と小学校在校生との交流の機会を提供することにより、小学校生活に対する不安を軽減し、期待感を高めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校給食交流体験	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

目標2: 学校の組織力や教職員の力を高めます

施策(6) 学校運営改善の充実

【関連事業】

事業名	学校評価推進事業【教育指導課(教育指導課及び教育政策課)】
概要	学校が学校評価を適切に実施し、教育活動や学校運営の充実・改善を図ることができるよう、学校評価の推進に努めます。
備考	※重点課題に対応する事業 38ページ参照

事業名	学校支援員派遣事業【支援教育課】				
概要	校長経験者などを支援員として配置し、緊急時や各学校の要請に応じて、市立学校に派遣し、全教員を対象とした指導力の向上や学級改善に努めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校支援員	計画	配置	配置	配置	配置
	実績	配置	配置	配置	配置

施策(7) 教職員の研究・研修の充実

【関連事業】

事業名	人材育成を促進する教職員研修体系の構築【教育研究所 他】				
概要	求められる教師像に基づき、優れた人材を育成する教職員研修の仕組みと内容を構築します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
新しい研修体系	計画	充実	充実	充実	充実
	実績	充実	充実	充実	充実

事業名	基本研修や専門研修の実施【教育研究所 他】				
概要	教育公務員としての職務遂行能力や専門的課題解決能力などを高める研修内容を充実させます。また、研修内容の活用や還元について工夫します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
研修体系に基づく研修	計画	充実	充実	充実	充実
	実績	充実	充実	充実	充実

事業名	経験の浅い教員を対象にした研修の充実【教育研究所】				
概要	授業力、学級経営力など実践的な内容の研修の充実と、校内における組織的な人材育成の充実を目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
研修体系に基づく研修	計画	充実	充実	充実	充実
	実績	充実	充実	充実	充実

事業名	理科センター(注40)の充実【教育研究所】				
概要	専門機関、市立高等学校、小中学校理科研究会との連携を図り、基礎的な観察・実験など、小・中・高等学校の授業に対応できるように、理科センターの充実を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
授業研究	計画	充実	充実	充実	充実
	実績	充実	充実	充実	充実
研修	計画	充実	充実	充実	充実
	実績	充実	充実	充実	充実

事業名	教員のICT(注17)活用研修の充実【教育研究所】				
概要	教員のICT活用指導力を高めるため、ICTの活用方法や情報セキュリティ(注41)について、研修の内容を充実させます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
集合研修	計画	充実	充実	充実	充実
	実績	充実	充実	充実	充実
訪問研修	計画	充実	充実	充実	充実
	実績	充実	充実	充実	充実

事業名	選択研修の推進【教育研究所】				
概要	教職員の経験年数の節目に応じた力量を形成するために、また、教職員としての自己研さんを積むために、選択研修の幅を広げ、充実させます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
選択研修	計画	充実	充実	充実	充実
	実績	充実	充実	充実	充実

事業名	「よこすか教師塾」の実施【教育研究所】				
概要	横須賀市で教師になりたいという情熱を持った人材を発掘し、採用後、学校で即戦力として活躍できる人材を育成するため「よこすか教師塾」を継続して開設します。教員志望の学生を対象とした「よこすか教師未来塾」と、市立学校勤務の臨時的任用職員、非常勤職員を対象とした「よこすか教師希望塾」で構成します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
よこすか教師未来塾	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
よこすか教師希望塾	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	カリキュラムセンター(注42)機能の充実【教育研究所】				
概要	市内の教員が作成した指導案、授業に役立つ教具などを収集し、カリキュラムセンター機能を充実させ、教員の授業研究や教材研究を支援します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
教科ごとの図書資料の整備	計画	充実	充実	充実	充実
	実績	充実	充実	充実	充実
教材教具・指導案の紹介	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	研究会(注27)による教育課題研究の充実【教育研究所】				
概要	学校における教育実践のさらなる充実のために、他課及び研究会(注43)と連携して実践的・実証的な研究に取り組みます。また、研究の成果を学校に発信し、教育課題の解消、教職員の指導力向上を目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
教育課題の検討	計画	検討	検討	検討	検討
	実績	検討	検討	検討	検討
教育課題の解決に向けた研究会	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

施策(8)学校における校内研究・研修への支援の充実

【関連事業】

事業名	学校委託研究への指導・助言の充実【教育指導課】				
概要	教員の指導力向上に向け、校内研究や授業研究を通して、指導主事(注24)が指導・助言を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校委託研究における校内研究・授業研究での指導・助言	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	研究委託事業【教育指導課】				
概要	研究会(注43)及び学校に研究を委託し、研究を通じて、教員一人一人の資質や指導力を向上させることを目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校及び研究会への研究の委託	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
指導主事の派遣	計画	派遣	派遣	派遣	派遣
	実績	派遣	派遣	派遣	派遣

事業名	人材育成推進支援【教育研究所】				
概要	横須賀市教職員人材育成プランに基づき、集合研修、校内研修、自己啓発などを通して、学び続ける教師の育成を目指します。また、研修の場の充実、学校を訪問しての研修など総合的な指導・助言を図ります。				
備考	※重点課題に対応する事業 56ページ参照				

施策(9)教員が子どもと向き合う環境づくりの推進

【関連事業】

事業名	校務支援システム(注44)の活用推進【教育研究所】				
概要	成績管理などの事務処理を効率化し、教員が今まで以上に子どもと向き合う環境をつくるため、校務支援システムの活用を推進します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
校務支援システム	計画	運用	運用	運用	運用
	実績	運用	運用	運用	運用
教員の校務在宅接続システム(注45)の導入	計画	検討	検討	検討	検討
	実績	検討	検討	検討	検討

事業名	子どもと向き合う環境づくりの推進【教育政策担当(教育政策課)】				
概要	子どもと向き合う時間を確保するために、事務的な業務の効率化を図る手立てを講ずるなど、学校と教育委員会が一体となって取り組むための方策について検討会議などにおいて検討し、教員が子どもと向き合う環境づくりに取り組みます。				
備考	※重点課題に対応する事業 58ページ参照				

事業名	学校法律相談事業【支援教育課】				
概要	複雑な法律問題への対処方法について、校長及び幼稚園長が弁護士から指導・助言を得ることで、問題の早期解決を図り、学校が学習指導や児童生徒指導など本来の業務に専念できるようにします。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
校長及び幼稚園長からの要請に基づく、担当弁護士(注46)との法律相談の場の設定	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

目標3:学校・家庭・地域で連携を深めます

施策(10)開かれた学校づくりの充実

【関連事業】

事業名	「学校へ行こう週間」の実施【教育指導課】				
概要	全ての市立学校が学校公開期間（学校へ行こう週間）を設け、保護者や地域住民に学校の様子を身近に感じてもらい、学校に対する理解と支援を一層深めることを目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校へ行こう週間	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	「輝け！よこすかの子どもたち(市民向け広報紙)」の発行【教育政策担当(教育政策課)】				
概要	市民に向けて、学校の取組や学校での子どもたちの様子、教育委員会の取組を「輝け！よこすかの子どもたち」を通して発信します。				
備考	※重点課題に対応する事業 26ページ参照				

施策(11)家庭との連携による生活・学習習慣の確立

【関連事業】

事業名	家庭との連携による生活習慣、学習習慣の確立 【教育指導課】【支援教育課】【保健体育課】【学校給食担当】				
概要	児童生徒の保護者に、啓発のためのリーフレットを配布するなど、児童生徒の望ましい生活習慣、学習習慣の確立を目指します。				
備考	※重点課題に対応する事業 34ページ参照				

施策(12)地域教育力の活用の充実

【関連事業】

事業名	学校いきいき事業【教育指導課】				
概要	学校と保護者・地域との連携や校種(注12)間の連携を一層図ることにより、地域で子どもを育てていく体制を構築することを目指します。				
備考	※重点課題に対応する事業 27ページ参照				

施策(13)放課後等児童対策の推進

【関連事業】

事業名	放課後等児童対策の推進【教育政策担当(教育政策課)】				
概要	児童が安心して過ごせる場として、放課後や休業日などの学校の活用を他部局と連携して進めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学童クラブの小学校の使用	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

目標4:教育環境を整備し、充実させます

施策(14)学校の適正規模・適正配置の推進

【関連事業】

事業名	学校規模・配置適正化事業【教育政策担当(教育政策課)】				
概要	平成19年度に策定した「横須賀市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」の見直しも含めた今後の適正規模(注49)や配置の在り方について、保護者、関係団体の代表者、学校関係者などで構成する市立小中学校適正配置審議会に諮問します。審議会から受けた提言を基に検討を行い、学校の適正化を進めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市立小中学校適正配置審議会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	未開催	開催	開催	開催
基本方針の見直し	計画	—	検討	検討	検討
	実績	—	検討	検討	—
(計画と実績が異なる場合の理由) 基本方針の見直しについては、平成29年1月20日に基本方針を改定しているため。					

施策(15)就学支援などの充実

【関連事業】

事業名	就学奨励扶助事業【支援教育課】【保健体育課】【学校給食担当】				
概要	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に、学用品費、修学旅行費、学校給食費などの就学援助費を支給するとともに、医療費などを援助します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
就学援助費	計画	支給・援助	支給・援助	支給・援助	支給・援助
	実績	支給・援助	支給・援助	支給・援助	支給・援助

事業名	奨学金支給事業【支援教育課】				
概要	経済的理由により就学が困難な本市在住高校生に奨学金を支給します。また、奨学生の実態把握に努め、より効果的な制度の運用について検討を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
奨学金	計画	支給	支給	支給	支給
	実績	支給	支給	支給	支給

施策(16)学校の安全・安心の推進

【関連事業】

事業名		学校の施設整備・維持管理【学校管理課】			
概要	教育環境の向上を図るために、各種営繕工事を行うとともに、避難所として使用される学校施設の安全対策として、非構造部材の耐震化を進めます。また、学校施設を適正かつ良好な状態に維持するために、各種設備の保守点検や清掃業務などを行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
施設整備業務	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
維持管理業務	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名		学校事故等緊急時の体制づくり【保健体育課】			
概要	学校管理下における不慮の事故などへの初期対応を適切に行うため、教職員を対象とした応急手当普及員(注50)講習会や心肺蘇生法実技研修講座、アナフィラキシー(注51)対応研修を実施します。また、市立学校などに配備しているAED(自動体外式除細動器)を適切に管理します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
応急手当普及員講習会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
心肺蘇生法実技研修講座	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
アナフィラキシー対応研修	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
心肺蘇生法実技練習用人形及びAED練習器の貸し出し、更新	計画	更新・貸出	貸出	貸出	貸出
	実績	更新・貸出	貸出	貸出	貸出
AEDの管理	計画	更新・管理	管理	管理	管理
	実績	更新・管理	管理	管理	管理

事業名		市立学校用防災備蓄品整備事業【総務課】			
概要	平成24年度に整備した非常食・保存水などの学校用防災備蓄品の保存(使用)期限満了に伴う更新を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市立学校用防災備蓄品の更新	計画	—	—	—	更新
	実績	—	—	—	更新

施策(17) 学校施設・設備の充実

【関連事業】

事業名	学校トイレ改修事業【学校管理課】				
概要	児童生徒が快適に利用できるように、臭いや汚れの解消、また明るさに配慮した改修工事を進めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校トイレ改修	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

施策(18) 学校緑化の推進

【関連事業】

事業名	校庭の芝生化事業【学校管理課】				
概要	校庭の砂塵の飛散防止や児童の怪我の予防、及び体力の向上などを目的に、小学校の校庭の一部を芝生化します。維持管理にかかる負担や経費などを継続的に検証し、また学校の意向を考慮して実施します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
校庭の芝生化	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	一部実施	一部実施
(計画と実績が異なる場合の理由) 実施を希望する学校がなかったため、平成29年度は新規実施校は無し。 平成27年度までに実施した9校の維持管理を行った。					

2 目標・施策に基づく関連事業（社会教育編）における事業・行動計画実施状況

目標・施策に基づく関連事業（社会教育編）と、その事業を実施するための行動計画について、平成 29 年度の実施状況は以下のとおりです。

（社会教育編）

	総数	29 年度において計画どおり実施した数
関連事業	53	51
行動計画	165	163

2 目標・施策に基づく関連事業(社会教育編)

社会教育編の目標・施策に基づく関連事業について各事業の行動計画に対する実績を測ります。

目標1:市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図ります

施策(1)多様な学習の機会の提供

【関連事業】

事業名	市民大学事業【生涯学習課】				
概要	市民の高度で多様な学習要求に対応し、教養を高め、能力を伸ばし、生涯を通じた自己実現を図るための講座と現代的課題、地域課題などの社会的に学習する必要がある講座を各年度とも50講座以上提供します。また、子どもを対象とした市民大学講座や生涯学習センターから離れた地域のコミュニティセンター(注52)、大学などの機関を活用した講座を実施します。さらに、学びを通じてつながりをつくり、学習活動の継続や地域活動へのきっかけをつくる講座など、多様な講座の提供をしていきます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市民大学講座(前期・後期・夏期)	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
子ども対象講座「ジュニアカレッジ」	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
地域の大学・研究機関などとの連携講座	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
コミュニティセンター出前講座	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
課題(防災・健康・環境等)対応、地域理解、職業能力向上、一般教養などの講座	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

事業名	生涯学習の啓発事業【生涯学習課】				
概要	生涯を通じて学習することの意義や社会教育について、市民に理解を得るとともに、主体的に学ぶ意欲を喚起するため、ホームページや講座、イベントなどを通して生涯学習の啓発を行います。また、市民の生涯学習に関する意識や学習ニーズの調査を行い、生涯学習事業の企画等に活用します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
生涯学習の意義や社会教育に関するホームページでの啓発	計画	検討・準備	実施	実施	実施
	実績	検討・準備	実施	実施	実施
まなびかんまつり・講演会などのイベントにおける生涯学習の啓発	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
生涯学習の啓発を行うポスターなど	計画	作成	作成	作成	作成
	実績	作成	作成	作成	作成
生涯学習に関する市民アンケート調査(横須賀市教育アンケート)	計画	—	—	作成・実施	分析
	実績	—	—	作成・実施	分析

事業名	学習機会の提供【生涯学習課 他】				
概要	生涯学習を始めるきっかけを作る事業をはじめ、生涯を通じた自己の充実や生活の向上のための学習、「人づくり」や「まちづくり」の学習、地域に関する学習、社会の要請に基づく学習など多様な学習機会（講座・講演・イベント・ワークショップなど）を提供していきます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
自己の充実や生活向上を図るための学習機会	計画	提供	提供	提供	提供
	実績	提供	提供	提供	提供
人づくり・まちづくりに関する学習機会	計画	提供	提供	提供	提供
	実績	提供	提供	提供	提供
地域課題(防災・健康・環境等)対応など社会の要請に基づく学習機会	計画	提供	提供	提供	提供
	実績	提供	提供	提供	提供

事業名	高齢者や青少年など各世代に対応した事業の提供【生涯学習課 他】				
概要	高齢者や青少年など各世代で生じる課題に基づく学習及び世代間の交流を図るための事業など、多様な学習機会を関係部局とともに提供していきます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
青少年の体験活動・ボランティア活動などの青少年対象事業	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
子どもの保護者などを対象とする講座	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
高齢期の準備に対応する講座	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
高齢者を対象とする講座	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
異世代間のコミュニケーションを図るための講座	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

事業名	学習サークル支援事業【生涯学習課 他】				
概要	社会教育施設(注4)などの趣味的な講座とカルチャーセンターなどの講座との根本的な違いは、地域活動につなげていくために、グループ化を図ることです。生涯学習センターやコミュニティセンター(注52)で実施する多彩な講座の終了時にサークル化を推進します。サークルの育成を通して、主体的に活動し、地域課題を解決していく市民サークルが増えていくように支援するとともに、さらに各施設でサークルの協議会組織が行う地域のための活動を支援します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学習機会提供後のサークル組織化	計画	推進	推進	推進	推進
	実績	推進	推進	推進	推進
サークルの育成	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
サークルの連絡協議会の活動支援	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

施策(2)「人権教育・啓発」の推進

【関連事業】

事業名	人権教育啓発事業【生涯学習課】				
概要	人権に関わる講座・講演会を充実させ、人権教育・啓発を推進します。講演会については毎年開催とし、講座については4つの分野において、人権課題の焦点を絞りながら、内容の充実を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人権を考える講演会	計画	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催
	実績	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催
同和問題を考える講演会	計画	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催
	実績	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催
子どもと人権講座	計画	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
	実績	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
暮らしの中の人権を考える講座	計画	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催
	実績	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催
歴史からみる人権講座	計画	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
	実績	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
人権セミナー	計画	年5回開催	年5回開催	年5回開催	年5回開催
	実績	年5回開催	年5回開催	年5回開催	年5回開催
人権団体主催の研修会などへの参加	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	人権学習推進事業【生涯学習課】				
概要	コミュニティセンター(注52)、各学校PTA、その他学習グループなどからの人権に関わる学習会開催の要請に基づき、人権学習の出前教室を実施し、人権教育を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人権学習の出前教室	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

施策(3)学習の場の提供

【関連事業】

事業名	学校施設等の開放事業【生涯学習課】				
概要	市立学校の施設を地域団体に開放し、社会教育の普及及び青少年の健全な育成を図ります。各学校の管理状況が許す限りにおいて、利用状況を勘案しながら開放の拡大を検討します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
和室・学校図書館などの施設の開放	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
養護学校施設の開放	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
ゆうゆう坂本相談教室施設の開放	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	生涯学習センター運営管理事業【生涯学習課】				
概要	市民の生涯学習振興を図るとともに社会教育事業も実施する本市の生涯学習推進の拠点施設として、社会教育の専門性を有する指定管理者が適正な管理運営を行うことで、市民の学習活動を支援します。指定管理者の管理運営として、施設管理、学びの場の提供、利用の促進、市民大学、文化・生涯学習情報収集提供、学習相談、学習成果の地域活用の事業を実施します。また、公民館機能ともいえる本市の課題の解決につながる講座の実施、講座後のグループ化支援を行うほか、学習成果を地域に生かす事業を行います。教育委員会と指定管理者が協力して、生涯学習社会の構築を目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指定管理者による管理運営	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
指定管理者に対する指導・助言・監督・評価	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
人づくり、まちづくりに関する事業	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
文化財保護・啓発に関する事業	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
教育委員会と指定管理者との事業協力	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	コミュニティセンター(注52)の運営管理【生涯学習課 他】				
概要	地域に最も身近な施設であるコミュニティセンターにおいて、学習のための利用や社会教育に関する学習機会の提供事務を市民部に委任し、各行政センターなどが事業を行います。家庭教育学級(注59)や高齢者学級などの実施協力を要請します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学習室などの施設の提供及び利用の促進や図書館と連携した図書室運営	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
家庭教育、高齢者学級などの社会教育事業	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	生涯学習センターなどの専門性向上【生涯学習課 他】				
概要	生涯学習センターとコミュニティセンター(注52)の運営管理を充実させ、社会教育事業を行う職員(生涯学習センター指定管理者及びコミュニティセンター職員を含む)に対し、社会教育研修を実施する他、文部科学省、神奈川県教育委員会などが実施する研修会に職員を派遣し、専門的資質の向上を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
生涯学習センターなどの専門性向上	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
新規採用職員研修	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
社会教育事業を実施する職員の専門性向上を図る研修	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
社会教育主事(注60)などの専門職員の専門性向上のための外部研修	計画	参加	参加	参加	参加
	実績	参加	参加	参加	参加
生涯学習センターとコミュニティセンターの合同職員研修	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	社会教育施設(注4)などの相互連携【中央図書館】【博物館運営課】【美術館運営課】【生涯学習課 他】				
概要	生涯学習センター、図書館、博物館、美術館などの本市の社会教育施設やコミュニティセンターのネットワークを強化し、事業連携を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
各施設の事業への博物館・美術館学芸員、図書館司書、社会教育主事などの派遣	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
各施設間の事業連携	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

施策(4) 学習情報・学習相談の充実

【関連事業】

事業名		学習情報収集・提供事業【生涯学習課】			
概要	市民が主体的に学習活動を行えるように、生涯学習センターで、講師、サークル、学習施設、講座・イベントなど、文化・生涯学習に関する多様な情報の収集・提供を充実させます。また、情報提供事業のさらなる周知を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
生涯学習情報の収集・提供事業の普及啓発	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
Yokosuka まなび情報(講師・サークル情報)	計画	収集・提供	収集・提供	収集・提供	収集・提供
	実績	収集・提供	収集・提供	収集・提供	収集・提供
登録講師情報冊子・登録情報紙	計画	発行	発行	発行	発行
	実績	発行	発行	発行	発行
講座・イベントなどの学習機会の情報	計画	収集・提供	収集・提供	収集・提供	収集・提供
	実績	収集・提供	収集・提供	収集・提供	収集・提供
文化・生涯学習情報紙	計画	発行	発行	発行	発行
	実績	発行	発行	発行	発行
公共施設検索システム(施設ナビ)登録情報	計画	充実	充実	充実	充実
	実績	充実	充実	充実	充実
生涯学習センター情報コーナー	計画	運営	運営	運営	運営
	実績	運営	運営	運営	運営
民間学習情報	計画	収集・提供	収集・提供	収集・提供	収集・提供
	実績	収集・提供	収集・提供	収集・提供	収集・提供

事業名		広報活動の充実【生涯学習課】			
概要	講座やイベントの参加者アンケートなどを活用して市民ニーズを十分に把握し、情報を必要としている市民に、必要な情報を確実に提供します。また、報道機関や市広報紙を有効に活用して効果的に生涯学習に関する情報を市民に提供します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
効果的な情報提供活動	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
報道機関の有効活用	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
市広報紙の有効活用	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	生涯学習に係る学習相談事業【生涯学習課】				
概要	学習上の問題の解決、主体的な学習を継続するには、何を学習したらよいかなど、相談者自らが答えを導き出すために学習相談員が助言します。また、市民活動支援施設などと連携し、情報共有を図り、市民に適切な情報を提供します。コミュニティセンター(注52)などでも学習相談を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学習相談員による生涯学習センターの学習相談	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
学習相談員の専門性向上	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
イベントなどにおける学習相談会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
各種市民活動支援施設との連携	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
他施設における学習相談の支援(出張学習相談等)	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	「横須賀市生涯学習ホームページ」の充実【生涯学習課】				
概要	現在の生涯学習のホームページを充実させ、社会教育の各施設のイベントやお知らせを一つのページで閲覧できるように検討する他、生涯学習の必要性や生涯学習社会構築に向けてアピールするページなど、見やすく分かりやすいホームページにします。また、情報の更新をスムーズに、漏れなく行えるようにします。インターネットによる市民の学習ニーズ調査の実施について調査・回答方法や新たな形態等を含め検討します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
生涯学習(社会教育)のホームページ	計画	検討・準備	公開	公開	公開
	実績	検討・準備	公開	公開	公開
生涯学習メールマガジン	計画	検討	検討・準備	配布	配布
	実績	検討	検討・準備	修正変更	—
インターネットによる学習ニーズ調査	計画	検討・準備	実施	実施	実施
	実績	検討・準備	実施	実施	実施
(計画と実績が異なる場合の理由) 定期的な情報を配信するメールマガジンでは必ずしも常に最新の情報を提供することができないため、平成28年度から、よりタイムリーな情報発信と若年層を含めた多くの市民に気軽に閲覧していただくことが可能なすかりぶフェイスブック・市ツイッター(SNS)の活用に変更し実施した。また、メールマガジンの配布には予算措置が必要であり、費用対効果の面においてもSNSの方がより有効と判断し当初の計画を変更し、実施した。					

目標2: 学びの成果が生かせる社会を目指します

施策(5) 学びの成果を地域に生かす活動の支援

【関連事業】

事業名	登録講師の学習成果の地域還元事業【生涯学習課】				
概要	学習で身に付けた知識や技術を地域に生かす活動を支援するため、Yokosuka まなび情報に登録する活動経験の少ない講師に研修、相互評価を伴う講座などを行い、講師デビューを支援します。主体的な活動と活動の継続を推進するためのスキルアップ講座を実施します。また、スキルアップ講座の中で経験を積んだ講師についても支援していきます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学習成果を地域に生かす意義や講師活動に関する研修会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
登録講師の力量向上を図るための相互評価を伴う講座	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
講座企画に関する指導・助言及び講師デビュー講座	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
主体的な活動や活動の継続を図るための指導・助言及びスキルアップ講座	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
講師活動の経験を積んだ登録講師の資質向上の支援	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	講座企画運営ボランティア事業【生涯学習課】				
概要	生涯学習センターで実施する講座の企画運営を行うボランティアの養成及び育成を行い、その成果を発揮する場として、生涯学習センターにおいて、市民と協働して学習機会を提供します。ボランティアが経験を積み、様々な講座の企画運営ができるようになることを目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
講座企画運営ボランティアの育成	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
ボランティアによる講座運営の補助	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
講座企画運営ボランティアとの共同企画	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
新たな講座企画運営ボランティア養成講座	計画	検討	検討	検討	検討
	実績	検討	検討	検討	検討

事業名	学習成果地域活用の普及啓発事業【生涯学習課】				
概要	より良い地域をつくるため、学習成果を主体的に社会に還元し、社会全体の教育力向上を図る「知の循環型社会(注53)」に向けた啓発を行います。また、新たな学習成果を活用するための仕組みづくりについても検討します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学習成果地域活用(知の循環型社会)啓発事業	計画	検討	実施	検討	実施
	実績	検討	実施	検討	実施
新たな学習成果の活用の仕組みづくり	計画	検討	実施	実施	実施
	実績	検討	実施	実施	実施

施策(6)学びの成果を評価する仕組みづくりの検討

【関連事業】

事業名	学習成果の地域還元を評価する仕組みづくりの検討【生涯学習課】				
概要	学習成果を地域のために還元する重要性を認識した上で、地域で講師活動を行うYokosuka まなび情報登録講師を評価します。神奈川県と連携し、各種資格の検定試験情報を提供するとともに学習成果が社会的に評価され、認証や顕彰されるための新たなシステムについて検討します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
Yokosuka まなび情報登録講師デビュー事業修了者の公表	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
登録講師デビュー事業修了者の新たな評価方法	計画	実施・検討	実施・検討	実施・検討	実施・検討
	実績	実施・検討	実施・検討	実施・検討	実施・検討
学習成果の地域還元の顕彰制度	計画	検討	検討	検討	検討
	実績	検討	検討	検討	検討
学習成果の認証システム	計画	実施・検討	実施・検討	実施・検討	実施・検討
	実績	実施・検討	実施・検討	実施・検討	実施・検討
学習成果の社会的効用性の向上、活用促進の支援	計画	検討	検討	検討	検討
	実績	検討	検討	検討	検討
神奈川県生涯学習ホームページとの連携による検定試験情報の提供	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

目標3:家庭や地域における教育力の向上を図ります

施策(7)「学社連携・融合」事業の推進

【関連事業】

事業名	学校支援ボランティア・コーディネーター導入の検討【生涯学習課】
概要	地域の人々が、社会教育で学んだ成果を学校教育に生かし、学校の教育活動を充実させるための学校支援ボランティアの導入を検討します。さらに、学校と地域がより密接な連携をするための橋渡し役となる、学校支援コーディネーター(注61)の導入も併せて検討します。このことにより、保護者及び地域の人々が連携し、ボランティアとして学校を支援する活動を推進し、学校及び地域の活性化を図ります。
備考	※重点課題に対応する事業 29ページ参照

施策(8)学校・家庭・地域の連携強化による家庭教育力の向上

【関連事業】

事業名	家庭教育講演会の開催【生涯学習課】
概要	保護者に対する学習の機会、情報の提供及び家庭教育の支援のため、家庭教育講演会を実施し、保護者の意識向上を目指します。
備考	※重点課題に対応する事業 31ページ参照

事業名	PTA活動振興事業【生涯学習課】				
概要	学校・家庭・地域の連携を強化するためには、社会教育団体であるPTAの活動は重要度を増しています。そのため、横須賀市PTA協議会及び神奈川県下市立高等学校PTA連絡協議会の活動を活性化させるため、財政的支援を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
PTA活動の支援	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	横須賀市PTA協議会との事業連携の見直し【生涯学習課】				
概要	横須賀市PTA協議会との事業連携について、さらに効果的に行うため、横須賀市PTA協議会と協議・調整を図りながら、事業内容も含め見直します。このことにより学校・家庭・地域のさらなる連携強化を目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業連携	計画	検討	検討	検討	検討
	実績	検討	検討	検討	検討

事業名	家庭教育学級(注59)の開催【生涯学習課 他】				
概要	家庭が果たす役割や課題を見つめ、次世代を担う子どもの豊かな人間性や社会性を育むため、社会教育事業を委任しているコミュニティセンター(注52)と共同し家庭教育学級などの家庭教育支援事業を開催し、教育力の向上を図ります。また、PTAなどが家庭教育学級を開催する際に支援を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
コミュニティセンターと共同による家庭教育講座・家庭教育学級	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
PTAの家庭教育学級に対する支援	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	市民大学における家庭教育支援講座の開催【生涯学習課】				
概要	市民大学において、乳幼児や青少年の心理学、発達心理学など、子どもの豊かな人間性や社会性を育むために必要な高度な知識の習得や、異世代間のコミュニケーションを図るための講座など、家庭教育を支援する講座を開催します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市民大学における家庭教育の支援に関する講座	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
市民大学におけるコミュニケーション能力向上に関する講座	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

目標4:文化遺産の保存と活用を推進します

施策(9)横須賀らしい文化遺産の保存、活用・継承

【関連事業】

事業名	重要文化財の保存管理と公開活用【生涯学習課】				
概要	市内に所在する有形文化財、無形文化財、民俗文化財、史跡・名勝・天然記念物のうち、重要なものを指定して、保護・保存を図るとともに、公開・活用を図りながら市民等の文化的資質の向上を目指し、将来へ受け継いでいきます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
重要文化財指定候補の選択と調査	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
指定	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	見送り
新指定重要文化財等保存管理・公開活用計画	計画	策定	策定	策定	策定
	実績	策定	策定	策定	策定
博物館・美術館と連携した指定文化財の紹介	計画	検討	実施	実施	実施
	実績	検討・実施	実施	実施	実施
史跡東京湾要塞跡活用推進事業	計画	策定 実施	実施	実施	実施
	実績	策定 実施	実施	実施	実施
史跡保護整備事業	計画	策定 実施	実施	実施	実施
	実績	策定 実施	実施	実施	実施

(計画と実績が異なる場合の理由)
指定候補文化財所有者との調整を含め、継続審議となったため。

事業名	埋蔵文化財(注56)の保護と調査【生涯学習課】				
概要	埋蔵文化財に関するデータの見直しや更新を行い、埋蔵文化財包蔵地で計画された開発行為などと埋蔵文化財保護の協議を円滑に進めるとともに、必要な試掘確認調査及び本発掘調査を実施し、その結果を調査速報展や発掘調査報告書の刊行により公開します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
埋蔵文化財分布地図と地名表	計画	随時更新	随時更新	随時更新	随時更新
	実績	随時更新	随時更新	随時更新	随時更新
埋蔵文化財保護のための協議	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
試掘確認調査・本発掘調査	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
発掘調査速報展	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
文化財調査報告書	計画	刊行	刊行	刊行	刊行
	実績	刊行	刊行	刊行	刊行

事業名	市民団体との協働による文化遺産の活用【生涯学習課】				
概要	市内各地には、その地域に根差した文化遺産があります。その保存・活用は、地域の市民団体と協働することで、いろいろな手法をとることができ、より幅の広い効果が期待できます。地域力向上のためにも市民団体との連携を強化し、文化遺産の保存、活用、継承を推進します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市民団体との協働による文化遺産の活用	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
文化遺産の保存・活用に関する情報共有	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
文化財保存・公開事業への支援	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	学校教育との連携の強化【生涯学習課】				
概要	文化財整理室における発掘調査出土品の展示と解説、市内各学校の要望に応じて発掘調査の出土品やその他実物の資料を使った授業、史跡見学などの屋外学習などの支援及び民俗芸能（注55）の体験など、郷土横須賀の歴史や伝統文化を学ぶ機会を提供します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
文化財整理室の公開・活用出土品を活用した授業の支援	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	よこすかの文化財などの展示事業【生涯学習課】				
概要	生涯学習センターにおいて、通年でよこすかの文化財などのパネル展示（展示内容は適宜、入れ替えを実施）を行い、市民に文化財などの周知を図るとともに文化財保護意識の啓発を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
文化財などのパネル展示による啓発	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

施策(10)近代化遺産の調査と保護・活用の推進

【関連事業】

事業名	近代化遺産(注62)の調査と保存・活用【生涯学習課】				
概要	市内に所在する近代化遺産・近代遺跡については、横須賀市史や神奈川県調査報告書の刊行により基礎資料が整ってきました。今後は、それらの保存状況や現況の詳細調査を行い、文化財指定による保存と活用を推進します。また、消滅していくものについては記録保存のための調査を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
調査及び調査報告	計画	作成	作成	作成	作成
	実績	作成	作成	作成	作成
記録保存のための調査	計画	随時実施	随時実施	随時実施	随時実施
	実績	随時実施	随時実施	随時実施	随時実施

事業名	旧横須賀製鉄所・東京湾要塞跡に関する資料の収集と保存・公開【生涯学習課】				
概要	平成27年度に鋳入れ式から150周年を迎える旧横須賀製鉄所とその後の横須賀造船所・横須賀海軍工廠に由来の近代造船資料及び東京湾要塞を構成する砲台跡に関わる資料を収集し、公開・活用を検討します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
近代化遺産に関わる資料	計画	収集	収集	収集	収集
	実績	収集	収集	収集	収集
収集資料のデータ	計画	作成	作成	作成	作成
	実績	作成	作成	作成	作成
保存・活用計画	計画	策定	策定	策定	策定
	実績	策定	策定	策定	策定

施策(11)伝統文化の保存と継承の推進

【関連事業】

事業名	民俗芸能(注55)・伝統文化の保護と継承【生涯学習課】				
概要	横須賀市民俗芸能保存協会加盟団体と協調して、民俗芸能の保護と継承の推進を図ります。また、指定重要無形文化財(注54)・指定重要無形民俗文化財及び国選択無形民俗文化財については映像記録を作成したので、広く公開活用していきます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
民俗芸能保存協会加盟各団体の情報交換及び協議	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
保存に貢献した会員に対する感謝状の贈呈	計画	—	実施	—	実施
	実績	—	実施	—	実施
民俗芸能の映像記録の活用	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	民俗芸能大会、民俗芸能地域公開事業の開催【生涯学習課】				
概要	民俗芸能の周知啓発及び指導者・後継者育成のために民俗芸能大会ならびに民俗芸能地域公開事業を開催します。 なお、民俗芸能大会は横須賀市民俗芸能保存協会加盟10 団体と招待団体の出演、地域公開事業は同協会加盟団体の一部の出演で開催します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
開催計画	計画	策定	策定	策定	策定
	実績	策定	策定	策定	策定
民俗芸能大会	計画	—	開催	—	開催
	実績	—	開催	—	開催
民俗芸能地域公開事業	計画	開催	—	開催	—
	実績	開催	—	開催	—

目標5: 図書館・博物館・美術館の活動を充実させます

施策(12) 図書館活動の充実

【関連事業】

事業名		図書館資料の収集、整理、保存【中央図書館】			
概要	資料収集基準に基づき、市民ニーズに即した資料及び地域特性を活かした資料を収集し、利用しやすい整理と将来にわたって有益な資料の保存に努めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
集中選書によるバランスのとれた資料の収集	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
旧海軍資料等地域特性と密接に関わる資料の収集	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
資料の適切な修理・保存	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名		図書館情報サービス事業【中央図書館】			
概要	図書館とコミュニティセンター（注52）図書室等のサテライト（注57）拠点を結んだネットワークシステムの円滑な運用を行い、全市域に図書館サービスを提供していきます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ネットワークの円滑な運用	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	レファレンス(注63)と情報提供の充実【中央図書館】				
概要	レファレンスと情報提供の充実を図り、図書館の活用を提案していきます。また、社会環境の変化による市民ニーズを把握しながら、電子書籍（注58）の導入や、資料の電子化に取り組む等、今後の図書館のあり方についても検討していきます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
レファレンスと情報提供	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
『読書週間』等に合わせたの行事開催	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
情報発信	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
図書館資料の電子化	計画	検討	検討	導入検討	導入
	実績	検討	検討	導入検討	導入

事業名	子ども読書活動推進事業【中央図書館】【児童図書館】				
概要	子どもたちを取り巻く家庭・地域・学校などと連携し、子どもの読書活動を推進するための様々な事業を実施します。				
備考	※重点課題に対応する事業 60ページ参照				

施策(13)博物館活動の充実

【関連事業】

事業名	展示の充実及び付属施設の運営と調査研究事業の推進【博物館運営課】				
概要	常設展示の充実、特別展示・企画展示の開催、馬堀自然教育園・天神島臨海自然教育園・天神島ビジターセンター・ヴェルニー記念館の運営と、資料の収集・保存及び調査研究事業を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
特別展示、企画展示、トピックス展示	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
天神島臨海自然教育園・ビジターセンターの運営の推進	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
資料の収集及び調査研究事業の推進	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	近代歴史資料の調査と保存・活用【博物館運営課】				
概要	横須賀製鉄所など市内に所在する近代歴史資料の調査研究、資料の収集を行い、保存、公開、活用を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
近代歴史資料の調査研究	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
近代歴史資料の収集と保存	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
近代歴史資料の特別展示、常設展示の更新、講座などによる活用	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	博物館教育普及活動の推進、学習機会の提供【博物館運営課】				
概要	生涯を通じた自己の充実や生活の向上のための学習機会を提供します。歴史や自然に関する講座、自然観察会、夏休み体験学習などの教育普及活動を、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象として、博物館の各施設を利用した講義と現地での野外学習などを通じて実施します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
三浦半島の身近な自然に関する講座、自然観察会など	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
横須賀の歴史・民俗に関する講座、野外学習など	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
指定を受けた仏像などの文化財や史跡を広く市民に紹介する行事	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
自然環境や歴史認識に関する教養講座	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
夏休み企画、触れる展示、クイズラリーなど子ども向け行事や、理科好き、歴史好きな児童生徒“博士の卵”を育てる企画	計画	作成と開催	作成と開催	作成と開催	作成と開催
	実績	作成と開催	作成と開催	作成と開催	作成と開催

事業名	博物館による学習機会の支援事業【博物館運営課】				
概要	環境教育、環境学習、郷土史研究などを支援し、事業連携を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
関係部局や学校などが実施する講座や授業の支援、連携	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
市民団体が実施する講座や授業の支援	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

事業名	子ども向け博物館教育普及活動の推進【博物館運営課】
概要	学校と連携または協力して、児童生徒の学習の場を提供します。
備考	※重点課題に対応する事業 62ページ参照

事業名	自然誌資料歴史資料の保存と活用【博物館運営課】				
概要	約60年にわたり博物館に蓄積されてきた自然誌資料、歴史資料を適切に保管し、整理するとともに、調査研究報告書、資料集等に報告し、展示・講座などで広く市民に公開します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
資料の虫害・カビ害を防ぐための調査及び薰蒸	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
調査研究報告書、資料集などの発行	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
展示、各種講座などによる活用	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

事業名	地域研究を基盤とした博物館の専門性の向上【博物館運営課】				
概要	市民、学校、他部局等からの要望に適切に対応でき、最新の情報を蓄積し発信できるよう博物館の地域研究を核にした専門性をさらに高めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
地球科学、植物、動物、昆虫、考古、歴史、近代建築史、民俗それぞれの専門性の向上と、市民の多様な学習活動への対応の充実	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	博物館の広報活動の充実【博物館運営課】				
概要	来館者、来園者へのアンケート等により利用者の実態を把握して博物館の教育普及活動を広く市民に周知するシステム作りを検討し、実施します。また、平成25年度にシステムが更新されるホームページによる広報活動をさらに充実させます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者の実態把握と効果的な情報提供活動	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
報道機関、市広報の有効活用	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
ホームページの充実	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

施策(14)美術館活動の充実

【関連事業】

事業名	美術館展覧会の充実【美術館運営課】				
概要	国内外の近代・現代美術を中心とした展覧会、多数の所蔵作品の紹介、及び集客効果の高い企画展など、幅広いジャンルを対象とした展覧会を開催することで、多くの人々に優れた美術作品と出会い、親しみ、感動を得る場を提供します。				
備考	※重点課題に対応する事業 64ページ参照				

事業名	美術館教育普及活動の推進【美術館運営課】				
概要	美術への理解を深め、美術館に対して親しみを感じられるように美術館活動基本方針の5つの柱「知的好奇心の育成と充足」「福祉活動の展開」「学校との連携」「市民との協働」「子どもたちへの美術館教育」に基づく教育普及活動を行います。特に、学校等と連携して子どもたちの鑑賞教育を中心とした教育普及事業を充実させます。				
備考	※重点課題に対応する事業 66ページ参照				

事業名	美術品の収集、保存、活用【美術館運営課】				
概要	収集方針に基づき、積極的な収集活動を行い、所蔵作品の充実を図ります。また、所蔵作品のデータベース化を進め、広く情報発信を行うほか、所蔵作品の修復等を行い、市民の文化的財産を未来へ伝えます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
美術品収集活動の推進	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
所蔵作品情報の発信	計画	検討	検討	準備	実施
	実績	検討	検討	準備	実施
所蔵作品の修復等管理	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	「市民に親しまれる美術館」を目指した活動の推進【美術館運営課】				
概要	地域の人々や他部局、異業種との連携を強め、「市民に親しまれ、利用される美術館」を目指した活動を行います。また、ホームページやSNS（注64）を活用し、市民や横須賀を訪れる人々に積極的な情報発信を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
近隣地域などと連携した活動	計画	検討実施	実施	実施	実施
	実績	検討実施	実施	実施	実施
生涯学習課・博物館と連携した指定文化財の紹介	計画	検討	実施	実施	実施
	実績	検討	実施	実施	実施
インターネットを利用した情報発信	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	美術館維持整備事業【美術館運営課】				
概要	周囲の豊かな自然とその風景に調和した美術館の維持整備を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
中長期修繕計画に基づく維持整備事業	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	美術館10周年記念事業【美術館運営課】				
概要	開館10周年を記念し、より多くの人々が美術館を楽しみ、身近に感じられるよう、展覧会等の記念事業を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
美術館10周年記念事業	計画	検討	検討	検討・準備	実施
	実績	検討	検討	検討・準備	実施

3 目標・施策に基づく関連事業（スポーツ編）における事業・行動計画実施状況

目標・施策に基づく関連事業（スポーツ編）と、その事業を実施するための行動計画について、平成 29 年度の実施状況は以下のとおりです。

（スポーツ編）

	総数	29 年度において計画どおり実施した数
関連事業	23	22
行動計画	52	51

3 目標・施策に基づく関連事業(スポーツ編)

スポーツ編の目標・施策に基づく関連事業について各事業の行動計画に対する実績を測ります。

目標1:子どもの生活習慣を改善し、体力の向上を図ります

施策(1)生活習慣の改善及び健康・体力づくりの推進

【関連事業】

事業名	児童生徒健康・体力向上推進事業【保健体育課】
概要	市内全体の児童生徒の健康体力、運動習慣の状況について把握します。それぞれの調査結果を検証、対策について検討し、それぞれの調査結果や相関関係を児童生徒および保護者に提供します。
備考	※重点課題に対応する事業 36ページ参照

施策(2)体育・健康教育の充実

【関連事業】

事業名	学校体育授業サポート事業【スポーツ振興課】				
概要	学校からの要望に応じて、市スポーツ推進委員（注65）を学校体育授業のサポーターとして派遣します。事前に安全管理や救急法などについての研修を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
必要な知識などの研修会	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
学校体育授業サポーター	計画	派遣	派遣	派遣	派遣
	実績	派遣	派遣なし	派遣	派遣

事業名	新体力テスト(注66)測定員養成事業【スポーツ振興課】				
概要	学校からの要望に応じて、市スポーツ推進委員を新体力テスト測定員として派遣します。事前に測定員研修を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
測定員研修	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
新体力テスト測定員	計画	派遣	派遣	派遣	派遣
	実績	派遣	派遣	派遣	派遣

施策(3)運動部活動の活性化

【関連事業】

事業名	運動部活動指導者派遣推進事業【保健体育課】				
概要	市立中学校運動部活動活性化のために、指導の困難性、内容に危険度のある競技種目を中心に指導者を派遣して、生徒のニーズに応えるとともに、顧問の負担軽減と、部活動の活性化を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
運動部活動指導者	計画	派遣	派遣	派遣	派遣
	実績	派遣	派遣	派遣	派遣

事業名	全国大会出場などへの支援事業【保健体育課】				
概要	市立横須賀総合高等学校に対し、部活動指導者の派遣などを行い、技術向上、レベルアップを図り、全国大会出場を目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
運動部活動検討委員会及び部会	計画	設置・検討	検討	検討	検討
	実績	設置・検討	検討	検討	検討
運動部活動指導者	計画	派遣	派遣	派遣	派遣
	実績	派遣	派遣	派遣	派遣
運動部活動強化のための備品購入	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

目標2:だれもが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる機会を充実させます

施策(4)市民の健康・体力づくりの推進

【関連事業】

事業名	市民スポーツ教室事業【スポーツ振興課】				
概要	広く市民に対して、スポーツを通しての健康づくり、スポーツの習慣化、スポーツの基礎技術の習得を目的として、市民スポーツ教室を実施します。併せて、教育アンケートを実施し、市民のニーズやスポーツ実施率などを把握します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市民スポーツ教室ガイド	計画	作成	作成	作成	作成
	実績	作成	作成	作成	作成
実施内容の見直し	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
市民スポーツ教室運営に関する打ち合わせ会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
市民スポーツ教室の全面運営委託化	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
教育アンケート	計画	—	検討	実施	実施
	実績	—	検討	実施	実施

事業名	学区体育振興会(注67)育成事業【スポーツ振興課】				
概要	地域住民の身近な場所でスポーツ振興を実施している学区体育振興会について、少子化や地域コミュニティのつながりの希薄化などの課題を踏まえ、より効果的に運営するため、活動範囲の検討・組織員の資質の向上なども視野に入れて、在り方を検討します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学区体育振興会の在り方	計画	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
	実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施

施策(5)市民が主体となる活動の支援

【関連事業】

事業名	総合型地域スポーツクラブ(注5)育成事業【スポーツ振興課】
概要	いつでも、どこでも、いつまでも、より多くの人が生涯を通してスポーツやレクリエーションを楽しめる地域コミュニティである総合型地域スポーツクラブを育成します。
備考	※重点課題に対応する事業 32ページ参照

施策(6)スポーツ施設の整備と円滑な管理運営の推進

【関連事業】

事業名	学校体育施設開放奨励事業【スポーツ振興課】				
概要	地域の青少年団体やスポーツ団体などにスポーツやレクリエーションの場として、学校体育施設を開放し、健全な余暇利用を促進します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校開放運営委員会への支援	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
学校開放運営委員会の在り方	計画	検討	検討	検討	検討
	実績	検討	検討	検討	検討

事業名	体育会館運営方法の検討【スポーツ振興課】				
概要	市民がスポーツに親しむ機会をより有効的に提供するため、体育会館指定管理者（注68）と協力し、体育会館施設の運営方法を検討するとともに計画的な施設整備を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
体育会館利用方法	計画	検討	検討	検討	検討
	実績	検討	検討	検討	検討
体育会館整備計画	計画	随時更新	随時更新	随時更新	随時更新
	実績	随時更新	随時更新	随時更新	随時更新

施策(7)スポーツ情報提供の充実

【関連事業】

事業名	横須賀市スポーツ行政に関するホームページの充実【スポーツ振興課】				
概要	ホームページ「スポーツ元気アップ横須賀」を公開し、掲載内容を充実させます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ホームページ「スポーツ元気アップ横須賀」	計画	公開	公開	公開	公開
	実績	公開	公開	公開	公開

事業名	広報よこすか掲載内容の充実【スポーツ振興課】				
概要	スポーツ関係の各種イベント、行事の開催記事を広報よこすかに掲載する他、手軽にできるニュースポーツなどの企画記事も積極的に掲載し、市民のスポーツに対する関心を高めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
広報よこすか(適宜掲載)	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	マスコミへの情報提供の充実【スポーツ振興課】				
概要	スポーツ関係の各種イベント、行事の開催記事を積極的に報道機関に周知し、市民のスポーツに対する関心を高めます。また、市外にも情報発信を行い、交流人口によるスポーツイベントなどの活性化を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
地元放送局	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
新聞、タウン誌など	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	スポーツ・レクリエーションマップの充実【スポーツ振興課】				
概要	スポーツ・レクリエーションマップ（市が保有するスポーツ・レクリエーション施設や運動公園などの場所、実施可能なスポーツの種目、遊具などを地図上に明示し、だれもが簡単に調べることができるマップ）のさらなる充実を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
スポーツ・レクリエーションマップ	計画	検討・改訂	検討・改訂	検討・改訂	検討・改訂
	実績	検討・改訂	検討・改訂	検討・改訂	検討・改訂

目標3: 競技者の活動を支援するとともにスポーツ愛好者の裾野を拡大します

施策(8) 国際大会や全国大会で活躍する競技者の育成と支援

【関連事業】

事業名	各種大会選手派遣支援の推進【スポーツ振興課】				
概要	本市から国際大会や全国大会に出場する選手に報奨金などを交付することにより、選手の負担軽減と代表選手としての意識の高揚を図ります。また、県内駅伝大会に本市代表選手団を派遣し、スポーツを通じて他都市との交流を深めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
国際大会及び全国大会出場者への報奨金	計画	交付	交付	交付	交付
	実績	交付	交付	交付	交付
県内駅伝大会への選手派遣	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
国民体育大会壮行会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

施策(9) ホームタウンチームなどとの連携強化

【関連事業】

事業名	よこすかドリーム・スポーツプロジェクト推進事業【スポーツ振興課】				
概要	本市のホームタウンチームである、横浜DeNAベイスターズ、横浜F・マリノス、東芝ブレイブサンダースなどのトップレベルのスポーツ選手・コーチ達と直接授業で共に体を動かし触れ合うことで、子どもに夢と感動を与え、スポーツへの関心を高めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校訪問授業	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
スポーツイベントへの参画	計画	依頼	依頼	依頼	依頼
	実績	依頼	依頼	依頼	依頼

施策(10)各種スポーツ団体への協力と支援

【関連事業】

事業名	各種スポーツ団体支援の推進【スポーツ振興課】				
概要	各種スポーツ団体の育成、選手育成と競技力向上、スポーツ愛好者の裾野拡大のため、各種スポーツ団体を支援し、本市体育・スポーツの振興を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
各種スポーツ団体への支援(市体育協会・市レクリエーション協会・市スポーツ少年団・学区体育振興会(注67))	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
各種大会への支援	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
選手強化事業への支援(東京オリンピック・パラリンピックへ向けたジュニア選手の育成を含む)	計画	検討・実施	実施	実施	実施
	実績	検討・実施	実施	実施	実施
国民体育大会選手強化事業への支援	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施

事業名	各種競技大会開催、支援の推進【スポーツ振興課】				
概要	市民に広く親しまれている競技大会を主催し、主管団体への支援を進めていくことで、地域のスポーツ振興及び市民の健康体力増進、競技力向上を図ります。また、各種競技を通じて、青少年の心身の健全育成を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
横須賀市少年野球大会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
市民駅伝競走大会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
三浦半島県下駅伝競走大会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	中止
(計画と実績が異なる場合の理由) 三浦半島県下駅伝競走大会は、近年の交通事情の変化により、従来の体制では選手の安全確保が難しく、走路員の増員やコース変更の検討などの安全対策準備が必要なため、開催を見送った。					

事業名	各種スポーツ団体の自立化事業【スポーツ振興課】				
概要	現在、各種スポーツ団体の事務局がスポーツ課内に置かれており、本市スポーツ振興のための側面的支援を行っていますが、生涯スポーツ社会の実現のためには、団体が自立して活動を行うことが重要です。そこで、各種スポーツ団体の在り方を検討し、自立化のために必要な支援を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
各種スポーツ団体の運営の在り方	計画	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
	実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施

施策(11)スポーツ指導者の育成と確保

【関連事業】

事業名	スポーツ指導者育成交流事業の推進【スポーツ振興課】				
概要	スポーツ推進審議会の中に指導者育成連携強化委員会を設け、スポーツ指導者の育成研修会と交流会を実施します。実施に当たっては、スポーツを気軽に楽しみたい人や健康増進を目的として、運動・スポーツを行いたい人に対応できる指導者を育成、連携強化を図ります。また、地域の実態や住民のニーズに対応した指導者の資質を高めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指導者育成連携強化委員会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
育成研修会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
交流会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催

事業名	横須賀市スポーツ指導者協議会などとの連携強化【スポーツ振興課】				
概要	地域のために、スポーツを通して健康体力づくりを目指している横須賀市スポーツ指導者協議会などとの連携強化を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市民スポーツ教室への講師派遣	計画	依頼	依頼	依頼	依頼
	実績	依頼	依頼	依頼	依頼
市民スポーツ教室運営に関する打ち合わせ会(再掲)	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	開催
スポーツイベントへの役員派遣	計画	依頼	依頼	依頼	依頼
	実績	依頼	依頼	依頼	依頼

事業名	市スポーツ推進委員(注65)育成事業【スポーツ振興課】				
概要	市スポーツ推進委員に対する普通救命講習会、各種スポーツ研修会などの実施体制を含めた育成方法を検討します。また、近年、欠員が生じている状況を踏まえ、人数や推薦方法、職務などについても検討します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市スポーツ推進委員の在り方	計画	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
	実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施

事業名	神奈川県スポーツリーダーバンク利用促進事業【スポーツ振興課】				
概要	指導者の育成と確保により小学校や中学校の体育・スポーツ指導、スポーツ教室への講師派遣など広範囲のスポーツ指導のニーズに応えられるように、神奈川県スポーツリーダーバンクへの登録、利用を促進します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
登録利用促進	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	実施
市独自制度の導入	計画	検討	検討	検討	検討
	実績	検討	検討	検討	検討

教育委員会の概要

1 教育委員会委員

平成 29 年 11 月 28 日現在

職 名	氏 名	任 期	備考
教 育 長	にい くら きとし 新 倉 聡	H 29. 8. 1 ~ H 32. 7. 31 (1 期目)	H 29. 8. 1 教育長就任
委 員 (教育長職務代理者)	あら かわ ゆみこ 荒 川 由美子	H 29. 11. 28 ~ H 33. 10. 31 (2 期目)	H 29. 11. 28 教育長職務代理者就任
委 員	み 三 うら ひろたろう 三 浦 溥太郎	H 26. 12. 23 ~ H 30. 12. 22 (3 期目)	
委 員	こ やなぎ しげ ひで 小 柳 茂 秀	H 28. 3. 1 ~ H 31. 10. 31 (1 期目)	
委 員	さわ だ ま ゆみ 澤 田 真 弓	H 28. 12. 25 ~ H 32. 10. 31 (1 期目)	

2 教育委員会の動き（平成29年度）－ 主 催 行 事 －

平成 29年			
3.11～6.4	自然・人文博物館企画展示「横須賀製鉄所の同窓生」	10.9	よこすかスポーツフェスタ2017
4.4～29.3.30	市民大学事業(年間56講座)	10.9	市民レクリエーション大会
4.15	第66回横須賀市中学校総合体育大会総合開会式	10.14	第49回小学校児童陸上記録大会
4.16～29.3.31	美術館 教育普及事業	(雨天中止)	
4.19～5.1	本を楽しもう展(北下浦・西コミュニティセンター、南図書館)	10.21	第34回横須賀市中学校女子駅伝競走大会
4.28～6.25	美術館「デンマーク・デザイン展」	10.21	第68回横須賀市中学校男子駅伝競走大会
4.29～30.3.23	自然・人文博物館 教育普及事業	7.22	人権を考える講演会
4.23～5.5	子ども読書の日関連行事「マジックショー」ほか	10.30～11.17	文化財速報展
5.3～5.7	国重文「三浦半島の漁撈用具」公開	10.30～11.13	歴史からみる人権講座(3回)
5.13	第42回小学校児童相撲大会	10.28	読書週間関連行事「落ち葉の季節の演奏会」ほか
5.14	市民レクリエーション大会	12.16～30.4.8	自然・人文博物館特別展示「なつかしの道具展～遊んで学ぶ博物館～」
5.24	横須賀市学校保健会定期総会	11.3～11.5	国重文「三浦半島の漁撈用具」公開
5.26～6.21	図書館課題解決コーナー「労働問題」	11.18～12.24	美術館「没後40年 伊藤久三郎展」
7.4～7.20	子どもと人権講座(3回)	11.19	児童サービス講座
6.16～6.30	教科書用図書展示会	11.19	第33回横須賀民俗芸能大会
6.25	第7回ソフトバレーボール大会	11.11～11.13	手づくり絵本展
7.8～8.27	美術館「美術でめぐる日本の海展」	11.11	第35回表現運動・ダンス発表会
6.12～6.13	小学校5年生芸術鑑賞会	11.25	生涯現役フォーラム
7.15～10.1	美術館「第2期所蔵品展 特別展示 203gow 編んだ～わーど展」	12.1	第51回小学校児童ボール運動大会
6.24	不登校をともに考える会～ハートフルフォーラム～	12.1～12.5	児童生徒ふれあい作品展
7.15～8.27	自然・人文博物館 夏休み企画	3.9	文化財見学会
7.15～11.5	自然・人文博物館企画展「実物のない展示会～自然科学と二次資料～」	12.9	児童サービス講座
7.25～8.23	夏季休業期間中実施研修講座	12.6～12.22	人権セミナー(5回)
7.29～7.30	中学校演劇発表会	12.9	人権を考える講演会
7.23	第30回学区対抗児童ミニバスケットボール大会	12.10	第72回市民駅伝競走大会
7.30	第58回学区対抗児童ソフトボール大会	平成 30年	
8.4～30.3.31	ABCプラン	1.5～1.9	読書感想画展
8.5～8.7	第64回横須賀市少年野球大会	1.11～1.29	第70回児童生徒造形作品展
8.11	中学生創造アイデアロボットコンテスト	1.13	就労支援のための合同学習会
8.8～8.9	リーダーズキャンプ	1.16～1.20	文化財保護ポスター市内応募作品展
8.21	子どものための音楽会	1.25	同和問題を考える講演会
9.9～11.5	美術館「ぼくとわたしとみんなの tupera tupera 絵本の世界展」	1.19～1.23	児童生徒書写作品展
9.3	第57回学区対抗成人バレーボール大会	1.27	生涯現役セミナーin衣笠
9.3	第57回学区対抗成人ソフトボール大会	1.26～2.21	図書館課題解決コーナー「日本の古典芸能」
2.15～30.3.8	講座企画運営(ボランティア)養成講座(4回)	2.7	横須賀市学校保健大会
9.16～9.17	小学生創意くふう展	2.10	横須賀市スポーツ表彰式
9.29～10.25	図書館課題解決コーナー「美術入門」	2.10～4.15	美術館「青山義雄展 きらめく航跡をたどる」
10.1	中学生主張大会	2.23～3.7	暮らしの中の人権を考える講座(2回)
7.16	児童サービス講座	2.17～2.18	千代ヶ崎砲台跡発掘調査見学会
		3.21	YOKOSUKA English World

3 平成29年度における会議の開催状況

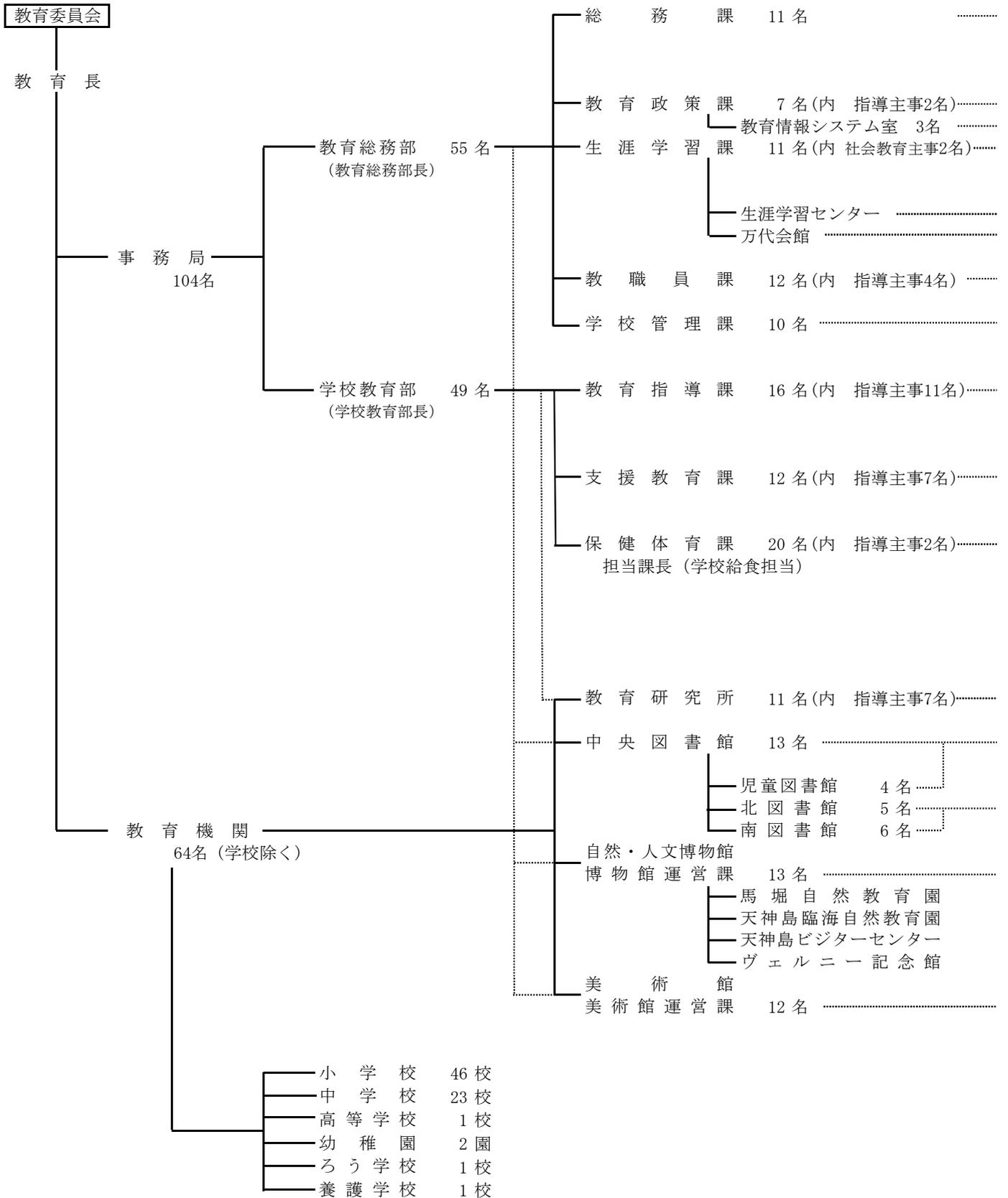
会議名称	番号	件名
4月定例会 4月21日	13	平成30年度横須賀市立横須賀総合高等学校の入学者の募集及び選抜要綱について
	14	平成30年度使用教科用図書採択基本方針について
	15	教育委員会事務局等事務分掌規則中改正について
	16	生涯学習センター指定管理者選考委員会委員の委嘱等について
	17	横須賀市立学校学期制検討委員会委員の委嘱等について
	18	教育長の臨時代理による事務の承認について（教育委員会事務局等事務分掌規則中改正）
	19	教育長の臨時代理による事務の承認について（横須賀市立小中学校適正配置審議会委員の委嘱等）
	20	教育長の臨時代理による事務の承認について（横須賀市支援教育推進委員会委員の委嘱等）
	21	教育長の臨時代理による事務の承認について（横須賀市いじめ等課題解決専門委員会委員の委嘱等）
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定史跡東京湾要塞跡保存活用計画の策定について（生涯学習課） ・平成29年度横須賀市学力向上推進プランについて（教育指導課） ・平成28年度学力向上推進委員会の答申について（教育指導課） ・中学校完全給食実施に向けた検討状況について（学校給食担当） ・学校給食費の公会計化について（学校給食担当） ・横須賀美術館企画展「デンマーク・デザイン」の開催について（美術館運営課） ・横須賀美術館美術品評価委員会開催結果について（美術館運営課）
5月定例会 5月19日	22	教育職員手当等支給規則中改正について
	23	横須賀市学校給食運営審議会規則制定について
	24	平成29年度横須賀市一般会計補正予算教育委員会関係議案の提出について
	25	国指定史跡東京湾要塞跡整備委員会委員の委嘱等について
	26	横須賀市学力向上推進委員会委員の委嘱等について
	27	横須賀市教科用図書採択検討委員会委員の委嘱等について
	28	横須賀市子ども読書活動推進計画改定検討委員会委員の委嘱について
		報告事項
6月定例会 6月30日	29	横須賀市立小中学校適正配置審議会委員の委嘱等について
	30	学校職員の人事について
		報告事項
7月定例会 7月21日	31	中学校完全給食の実施方式について
	32	市立中学校教諭の処分内申について
	33	教育委員会委員の人事について
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度市立小・中学校学習状況調査の結果の概要について（教育指導課）
7月臨時会 7月26日	34	平成30年度使用小学校教科用図書の採択について
	35	平成30年度使用中学校教科用図書の採択について
	36	平成30年度使用高等学校教科用図書の採択について
	37	平成30年度使用特別支援学校及び特別支援学級教科用図書の採択について
	38	平成30年度使用小学校特別の教科道徳教科用図書の採択について
8月定例会 8月25日	39	平成29年度横須賀市一般会計補正予算教育委員会関係議案の提出について
	40	横須賀美術館運営評価委員会委員の委嘱について
	41	教育長の臨時代理による事務の承認について（横須賀市学力向上推進委員会委員の任命等）
	請2	教育委員会の市立諏訪幼稚園保護者に対する説明についての請願
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の点検・評価結果について（教育政策担当） ・教職員の勤務実態調査について（教育政策担当） ・国指定史跡東京湾要塞跡整備基本計画の策定について（諮問）（生涯学習課） ・（公財）横須賀市生涯学習財団の経営状況報告について（生涯学習課） ・損害賠償専決処分について（保健体育課） ・中学校全国・関東大会出場選手激励会について（保健体育課） ・中学校完全給食実施に向けた検討状況について（学校給食担当） ・第3次横須賀市子ども読書活動推進計画の策定について（中央図書館） ・損害賠償専決処分について（博物館運営課）

会議名称	番号	件名
		・横須賀美術館企画展「ぼくとわたしとみんなのtupera tupera 絵本の世界展」の開催について（美術館運営課）
9月定例会 9月15日	42	平成30年度横須賀市立幼稚園の園児募集要項制定について
	43	平成30年度横須賀市立ろう学校幼稚部及び高等部普通科の幼児及び生徒募集要項制定について
	44	共同調理場の用地について
	45	横須賀市学校給食運営審議会委員の委嘱等について
	報告事項	・平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要について（教育指導課） ・全国・関東大会結果報告について（保健体育課） ・中学校完全給食実施に向けた検討状況について（学校給食担当）
10月定例会 10月25日	46	横須賀市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則中改正について
	47	横須賀市立ろう学校及び養護学校の管理運営に関する規則中改正について
	48	平成30年度横須賀市立横須賀総合高等学校に入学する生徒の募集人員について
	報告事項	・横須賀市教育振興基本計画第3期実施計画（素案）について（教育政策担当） ・中学校完全給食実施に向けた検討状況について（学校給食担当） ・図書館の臨時休館について（中央図書館） ・平成28年度横須賀美術館運営評価報告書について（美術館運営課）
11月定例会 11月17日	49	生涯学習センターの指定管理者の指定議案の提出について
	50	平成29年度横須賀市一般会計補正予算教育委員会関係議案の提出について
報告事項	・ALT外国語指導助手派遣業務事業者選定について（教育指導課） ・第29回全日本高校デザイン・イラスト展の受賞報告について（教育指導課） ・第61回日本学生科学賞神奈川県作品展の結果報告について（教育指導課） ・第18回全国中学生創造ものづくり教育フェアinかながわの結果報告について（教育指導課） ・第3次横須賀市子ども読書活動推進計画（素案）について（中央図書館） ・中学校完全給食実施に向けた検討状況について（学校給食担当） ・給食費の公会計化に伴う額の決定について（学校給食担当） ・事務事業等の総点検「見直し計画（案）」について 準要保護者の認定方法（就学援助制度）の見直し（支援教育課） ・第7回横須賀市児童生徒ふれあい作品展の開催について（支援教育課） ・学校事故について（経過報告）（保健体育課） ・横須賀市中学校駅伝競走大会の開催結果について（保健体育課） ・災害共済給付金請求事務に係る事故について（保健体育課） ・横須賀市立学校学期制検討委員会の答申について（教育指導課）	
12月定例会 12月15日	51	給食費の額について
報告事項	・横須賀市立学校学期制検討委員会の答申を受けての教育委員会の方針等について（教育指導課） ・横須賀市表現運動・ダンス発表会の開催報告について（保健体育課） ・中学校完全給食実施に向けた検討状況について（学校給食担当）	
1月定例会 1月19日	報告事項	・横須賀市教育振興基本計画第3期実施計画（原案）について（教育政策担当） ・平成30年度入学生中学校の学校選択制における申込み結果について（教育政策担当） ・中学校の学校選択制の中止について（教育政策担当） ・損害賠償専決処分について（保健体育課） ・平成29年度横須賀市児童生徒体力・運動能力、運動習慣等調査報告について（保健体育課）
2月定例会 2月7日	1	横須賀市スポーツ推進計画の策定に係る意見照会について
	2	横須賀市教育振興基本計画第3期実施計画の策定について
	3	第3次横須賀市子ども読書活動推進計画の策定について
	4	平成29年度横須賀市一般会計補正予算教育委員会関係議案の提出について
	5	平成30年度横須賀市一般会計予算教育委員会関係議案の提出について
	6	市立高等学校及び市立幼稚園の教育職員並びに市立中学校の任期付教育職員の給与等に関する条例中改正議案の提出について
	報告事項	・学力向上推進委員会の答申について（教育指導課） ・平成30年度指導の目標と重点について（教育指導課） ・中学校完全給食実施に向けた検討状況について（学校給食担当） ・第61回日本学生科学賞作品展結果報告について（教育指導課） ・第18回全国中学生創造ものづくり教育フェア結果報告について（教育指導課） ・第23回関東吹奏楽アンサンブルコンテスト結果報告について（教育指導課）
3月定例会 3月14日	7	教育委員会事務局等事務分掌規則中改正について
	8	図書館条例施行規則中改正について
	9	教育委員会の所管に係る公文書管理規程中改正について
	10	市立学校公文書管理規程中改正について
	11	教育委員会事務局等事務分掌規則施行上の留意事項について中改正について
	12	社会教育委員の委嘱について

会議名称	番号	件名
	13	教育長の臨時代理による事務の承認について（横須賀市教育振興基本計画第3期実施計画の一部改正）
	14	教育長の臨時代理による事務の承認について（教育職員手当等支給規則中改正）
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校業務改善に向けてについて（教育政策担当） ・ 市立学校敷地内除染土砂の移設完了について（学校管理課） ・ 学力向上推進プランについて（教育指導課） ・ 「横須賀版キッズウィーク」の取り組みについて（教育指導課） ・ 横須賀市支援教育推進プランについて（支援教育課） ・ 体育的活動における安全対策について（保健体育課） ・ 中学校完全給食実施に向けた検討状況について（学校給食担当） ・ 公益財団法人横須賀市学校給食会の解散について（学校給食担当） ・ 横須賀市の児童生徒の読書実態調査集計結果について（中央図書館） ・ 読書感想画展について（教育指導課） ・ JENESYS2017による市立横須賀総合高校生徒のシンガポール派遣について（教育指導課） ・ 全国大会結果報告について（保健体育課）
3月臨時会	15	学校職員の人事について
3月20日	16	市立中学校教諭の処分内申について
3月臨時会	17	教育委員会専決規程中改正について
3月28日	18	（仮称）横須賀市学校給食センター基本計画の策定について
	19	共同調理場の整備・運営に係る事業手法について
	20	教育長の臨時代理による事務の承認について（図書館条例施行規則中改正）

4 教育委員会事務局等の組織図と事務分掌（平成30年4月1日）

(1) 組織図



- ○ 教育委員会の秘書・会議、規則・訓令等の審査・公布令達、組織、学校職員以外の職員の任免・給与その他人事、特別職員(学校関係職員を除く)、儀式・表彰、教育行政に関する相談、文書事務の総括、公印の管理、事務局等の予算執行の調整、予算経理手続き、学校事務用品・教材教具の調達等、学校備品の整備、他の執行機関等との連絡、他部間・部内の事務事業の調整・連絡、他部・部内の他課の主管に属しない事務に関する事
- ○ 教育政策の方針、教育施策の調整、学校建設の長期計画の策定、学校の設置・廃止、教育統計・調査、通学区域、広報
- ○ よこすか教育ネットワークの管理運営
- ○ 生涯学習の調査・計画、生涯学習に係る情報の収集・提供、生涯学習の啓発・普及、文化財の保護と活用、成人教育、人権教育・人権啓発の推進、学校施設(体育施設を除く)の開放、社会教育関係団体・文化財関係団体の指導育成、生涯学習財団、図書館・博物館・美術館との連絡、万代会館の管理、生涯学習センター、万代基金の管理
- ○ 公益財団法人横須賀市生涯学習財団が指定管理者となり、社会教育事業を含む生涯学習推進事業を実施
- ○ 市民の教養・文化事業の普及、万代会館の使用許可

- ○ 学級編制、学校職員の定数・配置、学校職員の人事・免許状・研修・健康管理・福利厚生、学校医等の公務災害補償、学校職員団体との交渉、学校職員安全衛生委員会
- ○ 学校施設の建設計画、学校用地の確保、学校施設の整備計画、学校財産の管理、学校施設の維持管理、学校施設の営繕工事

- ○ 教育課程(特別支援教育、学校保健及び学校体育を除く)の指導助言、児童生徒の学習指導及び進路指導、学校運営の調整
学校における人権教育、校外行事・教材選定の承認、教育課程の研究委託、教科用図書、学則、授業料・保育料等、市立高等学校生徒・市立幼稚園園児の募集、通学路、学校評議員、教育研究所との連絡、部内の事務事業の調整及び連絡、部内の他課の主管に属しない事務に関する事
- ○ 支援教育に係る総合調整、学齢児童生徒の就学、幼児・児童・生徒の入学・転学・退学手続き、特別支援教育の教育課程の指導助言、児童指導及び生徒指導、学校及び学級経営の支援、教育相談、外国籍児童生徒等の支援、就学の奨励及び援助、奨学金の支給、私立学校(幼稚園を除く)の助成、交通遺児奨学基金の管理、就学支援基金の管理
- ○ 児童生徒の健康管理、学校の環境衛生、学校保健及び学校体育の教育課程の指導助言、独立行政法人日本スポーツ振興センターとの連絡、学校災害の見舞金、児童生徒の健康の保持増進及び体力の向上、体育及び保健体育の準教科用図書、学校体育の研究委託、学校水泳プールの運営、学校体育団体の育成、社会体育行事の開催支援、学校における食育、学校給食の献立の作成・物資の調達、学校給食の衛生管理、学校給食施設及び設備の維持管理、給食費、中学校完全給食の実施

- ○ 教育に関する専門的・技術的事項の調査研究、教育関係職員の研修等、教育の情報化推進、教育図書その他の資料、その他教育研究所業務
- ○ 図書館事業の計画・調整、図書館資料、団体貸出し・コミュニティセンター図書室等用図書、視聴覚資料及び電子資料、図書館行事、図書館事業の広報及び啓発、子ども読書活動の推進、その他図書館業務
- ○ 図書館資料、その他図書館業務

- ○ 博物館事業の計画・調整、博物館資料の保存・管理、博物館資料の収集・調査研究、展示・講演会等、市民等による展示等・調査研究・資料保存・管理についての指導助言、学術研究団体等の指導育成、博物館資料の利用、博物館事業の広報、その他博物館業務

- ○ 美術館事業の計画及び調整、美術館資料の保存及び管理、美術館資料の収集及び調査研究、展覧会、講演会等、美術に関する教育普及、美術館資料の利用、美術館事業の広報、美術品等取得基金の管理、その他美術館業務

◆用語解説

No	用語	解説
注1	規範意識	ある物事に対しての是非や善悪を判断、評価したり、行動したりするときによりどころとなる価値の基準（法律、ルール、道徳、集団の慣習など）が規範であり、それに対する価値意識やそれに従おうとする態度。
注2	学社連携・融合	学校教育と社会教育の連携・融合のこと。学社連携は一方が計画・提案し、提案された側が協力・支援する。これに対し、学社融合は双方が一体となって計画、実施する。
注3	不登校	何らかの心理的・情緒的・身体的・社会的要因や背景によって登校しない、または、登校できない状況が年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたものを不登校として扱っている。
注4	社会教育施設	社会教育の活動によって、人々の学習活動を支援する施設。生涯学習センター・公民館・図書館・博物館・美術館・青少年教育施設などがある。
注5	総合型地域スポーツクラブ	①子どもから高齢者まで（多世代）、②様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、③技能の高低や障害の有無などに関わらずそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ。
注6	小中一貫教育	通学区域を共にする小中学校が、子どもや地域の実態をもとに共通の教育方針を設定して、9年間を通じた教育課程を工夫し、「学びの系統性・連続性」を重視した、小中教職員が協働して行う教育。
注7	支援教育	子ども一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援を図ることにより、個々の子どもの「生きる力」を育む教育のこと。
注8	全国学力・学習状況調査	全国の児童（小6）生徒（中3）の学力・学習状況を把握するための調査。調査結果を国の教育施策の策定や学校における指導の充実等に役立てることがねらい。
注9	スクールカウンセラー	校内体制の中で、児童生徒、保護者、教職員に対して、心理に関する専門的見地からカウンセリングやアセスメント、コンサルテーション等を行う。
注10	ふれあい相談員・登校支援相談員	いじめや不登校といった問題を未然に防ぐことや、早期発見、早期対応を行うために、校長や教職員と連携して児童生徒、保護者からの相談を受ける。横須賀市では、小学校（ふれあい相談員）、中学校（登校支援相談員）に配置している。

注 11	教育課程	学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を児童生徒の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した各学校の教育計画。
注 12	校種	学校の種類のこと。市立学校には、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（養護学校・ろう学校）の5種類がある。
注 13	学校評議員	学校の職員以外の者で教育に関する理解および識見を有し、校長の推薦により教育委員会が委嘱した者。校長の求めに応じ、学校運営に関して意見を述べることができる。
注 14	キャリア教育	児童生徒がこれからの人生を歩む上で、職業を選択し、働くことの意義を考え、価値観を形成できるよう指導する教育のことで、単なる職業体験とは異なる。
注 15	食教育	学校教育における食育。食育とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てること。生きる上での基本であって、知育、徳育および体育の基礎となるべきもの。
注 16	情報モラル	情報を扱う上で、必要な考え方や態度。
注 17	I C T	Information and Communication Technology（情報通信技術）の略。コンピュータで情報の生成・加工・保存などを行ったり、離れたコンピュータ同士で情報のやりとりをしたりするための技術。
注 18	A L T	Assistant Language Teacher（外国語指導助手）の略。児童生徒が英語で積極的にコミュニケーションをとり、外国の文化や習慣、考え方などを学んだりするための指導助手。
注 19	F L T	Foreign Language Teacher（外国人英語教員）の略。A L T と異なる点は、指導助手ではなく英語教員として、英語指導の資格を有し、単独による授業や評価を行うことができる。本市、独自の名称。
注 20	国際コミュニケーション能力	語学（英語）への関心や習得を通して、さまざまな場面において積極的に英語でコミュニケーションをとり、価値観・文化の違う人との関わりの重要性を認識し、幅広い視野で物事を捉えることができる能力。
注 21	介助員	学校で教育活動に支障を来す事態が生じたときに、教育活動の一層の充実を図るために配置する非常勤職員および臨時職員。主な役割として、児童生徒の身辺処理の介助、校内・校外活動の介助、危険防止のための安全確保などの業務を、校長の指示に従い、行う。

注 22	日本語指導員	帰国・外国籍など、外国につながる子どもに、日本語の初歩的な読み書きや話し方の指導や生活適応や家庭との連絡指導などを行う非常勤職員。
注 23	スクールソーシャルワーカー	不登校や親からの虐待などの問題を抱える子どもに対し、家庭や福祉機関に働きかけて解決に努める社会福祉などの資格を持った非常勤職員。
注 24	指導主事	教育委員会事務局に置かれる専門職員。教職員に対して専門的な助言と指導を与えることを任務とする。
注 25	学力向上 サポートティーチャー	個別の学習指導や少人数での補習などを行う教員免許を有する非常勤職員。
注 26	横須賀市学習状況調査	市立小中学校の児童（小5）生徒（中2）の学習状況を把握するための調査。調査結果を市としての必要な施策の策定、各学校における指導の工夫改善などに生かしている。
注 27	研究会	教育委員会が委託した研究課題について、横須賀の教育の実態把握や、学校教育に役立つ研究、資料の収集や作成、教材開発などを行う組織。市内小・中学校の教員と指導主事で構成されている。
注 28	教師力アップ	本計画における教師力アップとは、授業力や児童生徒指導力といった教師個人の専門的な力量を高めるだけでなく、教師が組織の一員としての意識を高め、学校が協働性、同僚性を高めることをイメージしている。
注 29	NPO	政府や企業などではできない社会的な問題に、非営利で取り組む民間団体。
注 30	スクールランチ	市立中学校で行っているパン・弁当の注文販売。複数種類あるメニューの中から、当日の朝、生徒が選択して注文する。
注 31	教育課程研究会	学習指導要領で示された教科などの内容や指導方法について、全ての教員が参加して実践的に研究する本市教育委員会主催の研究会。主に、6月は授業提案、8月は文書提案を行っている。
注 32	小中学校スーパーバイザー	支援教育課所属の心理職。主な業務は、小学校ふれあい相談員・中学校登校支援相談員のコンサルテーション、相談員合同研修会の企画・運営のほか、相談支援チームの「巡回相談」に参加し、心理的な視点から、子どもの見立てや支援のアドバイスを行う。また、学校で重篤な事件事故が起きた際の緊急対応として、被害の拡大防止を目的に、心のケアや家庭に関する支援を行う。

注 33	フリースクール	民間の団体が運営する学校教育制度の外にある教育機関。不登校の子どもたちが多く通っている。子どもの自由・自主性・個人差などに配慮し、各機関独自の活動を行う。
注 34	相談教室	学校の敷地内や敷地外に設置している不登校の児童生徒が通室する機関。社会的自立を目標に、個別活動と小集団活動を組み合わせたプログラムを実施している。
注 35	国際教育コーディネーター	小中学校に通う帰国・外国籍など外国につながる子どもの教育的ニーズのアセスメントを行い、必要な支援のコーディネートや学校の支援体制に対して助言を行う非常勤職員。
注 36	横須賀イングリッシュ ワールド (Yokosuka English World)	市立小学校の児童が、学校外においてネイティブスピーカー（市内のALTおよびFLT、米海軍基地内の小学生）と様々な活動を通して、コミュニケーション能力の素地を養う英語イベント（市立小学校5・6年生対象）。
注 37	情報活用能力	情報を収集・整理して、相手に分かりやすく伝える力。
注 38	スタートカリキュラム	小学校第1学年入学当初において、子どもが時間的、空間的なゆとりの中で、人間関係を豊かに広げながら小学校生活に適応していかれるように、就学前教育との接続の観点から、複数の教科を組み合わせることで総合的に学習ができるような合科的な指導を行うなどの視点を持って編成するカリキュラム。
注 39	アプローチカリキュラム	卒園を間近に控えた年長時の後半に、小学校に入学してからの教科などの学習や集団での生活に子どもが適応できるよう、関わり合い、助け合い、伝え合いなど、仲間と交流する協同的な活動場面を積極的に位置付けることを視点として編成するカリキュラム。
注 40	理科センター	理科教育に関する指導力の充実に図り、施設設備の共同利用により、科学教育の振興に資することを目的とする場。本市においては、教員の研修、授業実践に関わる教材・資料の作成配布、施設設備の共同利用、その他理科教育の振興に関することを行っている。
注 41	情報セキュリティ	コンピュータや紙文書などに記録された情報が外部に漏えいしたり、破壊・改ざんされたりすることのない安全な状態にしておくこと。
注 42	カリキュラムセンター	学校の教育目標を達成するために、編成した計画に基づいた教育実践を収集・発信する場。
注 43	研究会	教職員による任意の研究組織。授業づくりや教材研究などについての研究に取り組み、研究発表会や研究紀要の作成により、その成果を還元している。

注 44	校務支援システム	児童生徒の学籍管理、出欠席の記録、成績処理などの学校業務を効率化させるためのコンピュータシステム。
注 45	校務在宅接続システム	教員が自宅のパソコンから教育委員会のコンピュータに接続し、学級通信や教材などを作成することができる仕組み。
注 46	担当弁護士	横須賀市教育委員会が、法律相談業務を実施するため委託契約を結んだ弁護士。
注 47	横須賀子どもスタンダード	小学校における児童指導の指針。義務教育9年間のうち、小学校においてどのような子どもを育てていくのか等、目指す子ども像を具体的に示したもの。
注 48	学校教育支援ボランティア	学校が行う教育活動に協力・支援するボランティア。具体的には、地域や関係機関、学生の方々など。
注 49	適正規模	学校における学級数によるメリット・デメリットを考慮して、より高い教育効果が得られると考えられる規模。「横須賀市立小・中学校の適正規模および適正配置に関する基本方針改定版」では、12～24 学級を適正規模として位置付けている。
注 50	応急手当普及員	消防機関による応急処置技能の普及を支援し、救命講習を教授する人、またはその資格。
注 51	アナフィラキシー	皮膚、呼吸器、消化器、循環器、神経など、複数の臓器にあらわれる全身性かつ重度なアレルギー反応。原因となる物質の摂取、皮膚への接触などにより引き起こされる。
注 52	コミュニティセンター	地域コミュニティ活動の中核となり、地域活動、文化活動やスポーツ活動などに市民が自主的に活用する場。本市においては、旧地域自治活動センターと旧公民館からなり、主に旧公民館で学習の場および各種講座や教室などの社会教育事業を定期的に行っている。
注 53	知の循環型社会	平成 20 年 2 月に文部科学省所管の中央教育審議会からの答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について ～知の循環型社会の構築を目指して～」において表現された。概要としては、学習成果を学習者自らが主体的に社会に還元することにより、学校・家庭・地域などにおける課題を解決し、地域社会全体の教育力の向上を図ることができる社会。

注 54	重要文化財 (重要無形文化財)	建造物・美術工芸品などの有形文化財のうち、文化的・学術的に重要なものを国および地方公共団体が法・条例で指定した文化財。ただし、教育振興基本計画では便宜上、有形文化財に限らず、無形文化財・文化財・史跡名勝天然記念物も含めて広く重要文化財として表現している。
注 55	民俗芸能	一つの地域社会の中で、そこに住む人々が住民自らの手で伝承してきた演劇、舞踊、音楽など。人々の生活に関わってきたため、その地域の特性・個性が反映されやすい。
注 56	埋蔵文化財	土地に埋蔵されている文化財（主に遺跡や遺物）。
注 57	サテライト	「本体から離れて存在するもの」を表す言葉としてよく使われる。ここでは図書館から離れた拠点施設の意味で使用している。
注 58	電子書籍	従来の紙とインクを利用した印刷物ではなく、文字や図画等をデジタル化し、パソコンや携帯電話等で読める形にしたもの。インターネットなどを通じての配信・閲覧が可能。
注 59	家庭教育学級	家庭における教育力の向上や充実のために、保護者などを対象に行う学習の場。
注 60	社会教育主事	都道府県および市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的教育職員。職務は、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える。また、学校が社会教育関係団体、地域住民その他の関係者の協力を得て教育活動を行う場合には、その求めに応じ、必要な助言を行うことができるとされる。
注 61	学校支援コーディネーター	学校と地域の連携による学校の教育活動がより円滑に推進するよう、学校のニーズと地域の情報を調整する学校と地域の橋渡し役の人。
注 62	近代化遺産	幕末から第二次世界大戦期までの間に建設され、日本の近代化に貢献した産業・交通・土木などの遺産。
注 63	レファレンス	必要な資料や情報を必要な人に、的確に案内すること。
注 64	SNS	ソーシャルネットワークサービスの略。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の Web サイト。フェイスブック、ツイッターなど。
注 65	市スポーツ推進委員	本市におけるスポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対し、スポーツにおける実技の指導やその他スポーツに関する指導および助言を行う者。非常勤職員として横須賀市が委嘱している。定数は 322 名。

注 66	新体力テスト	文部科学省が定めた国民の体力・運動能力を調査するために実施するテスト。
注 67	学区体育振興会	当該小学校区内の住民に対しスポーツ振興活動を行う団体。主に健民運動会や球技大会・各種レクリエーション大会などを実施している。
注 68	体育会館指定管理者	地方自治法第 244 条の 2 第 3 項に基づき、市に代わって公の施設の管理を行う民間事業者等。本市の体育会館に関しては、スポーツコミュニティよこすかが管理を行っている。

横須賀市教育委員会の点検・評価についてのご意見

横須賀市教育委員会の点検・評価報告書について、ご意見等ありましたらお寄せください。いただいたご意見等につきましては、今後の事業推進や来年度の報告書作成にあたって参考とさせていただきます。

◆ **どの項目についてのご意見等ですか。**（*該当する番号に○をしてください。複数可）

- 1 「重点課題に対応する主な事業について」（20～67 ページ）
- 2 目標指標について（68～87 ページ）
- 3 「目標・施策に基づく関連事業（学校教育編）について」（90～114 ページ）
- 4 「目標・施策に基づく関連事業（社会教育編）について」（116～139 ページ）
- 5 「目標・施策に基づく関連事業（スポーツ編）について」（140～151 ページ）
- 6 点検・評価方法について
- 7 その他

◆ **ご意見等の内容をお書きください。**

.....

.....

.....

.....

.....

.....

◆ **ご意見等につきましては、次のいずれかの方法でお寄せください。**

- 郵送 : 〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地 本館 1 号館 6 階
横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育政策課
- FAX : 046-822-6849（本シートをそのまま FAX してください。）
- メール : sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp
（件名を「横須賀市教育委員会の点検・評価について」としてください。）

◆ **差し支えなければ、ご意見いただいた方の属性についてご記入ください。（任意）**

【住所】 市内 ・ 市外

【年齢】 20 歳未満 ・ 20 代 ・ 30 代 ・ 40 代 ・ 50 代 ・ 60 代 ・ 70 代以上

横須賀市教育委員会

(担当 教育委員会事務局教育総務部教育政策課)

〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地

TEL:046-822-9751

FAX:046-822-6849

E-mail: sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp